

平成 30 年度第 2 回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

平成 30 年 7 月 23 日(月) 14 時～

加西市役所 5 階会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員等出席者の紹介

4 議事

平成 29 年度事業の評価検証

(1) 第 1 回部会 外部評価（2 次評価）の進め方

(2) 第 1 回部会 外部評価（2 次評価）の実施 ※ 3 部会での検討

5 その他

6 閉 会

【次回開催予定】

第 3 回 平成 30 年 8 月 21 日(火) 14:00～ 市役所 5 階会議室

※ 平成 29 年度事業の評価検証 等

平成 30 年度 第2回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

氏 名	団 体 名 等	役 職	備 考
久米澤 稔	連合兵庫北播地域協議会	副議長	
杉本 建人	加西商工会議所	専務理事	副会長
杉山 武志	兵庫県立大学環境人間学部	准教授	会長
高見 千里	女性農業者	—	
武貞 綾香	保護者会	—	(欠席)
辰巳 浩輝	北条金融協会	会長	
谷勝 公代	加西市連合婦人会	会長	
辻田 聡信	加西市地域おこし協力隊	隊員	(欠席)
瀧脇 英義	加西市区長会	副会長	
森 信弘	神戸新聞社	北播総局加西支局長	
吉田 英樹	加西市連合 P T A	副会長	(欠席)
吉田 廣	加西市老人クラブ連合会	会長	

■市担当者（説明員）

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
西岡 義信	都市整備部長
高井 勝正	生活環境部長
河原 浩申	地域振興部長
奥隅 一博	健康福祉部長
山本 和孝	総務部長
繁中 一也	教育部長

■事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
森井 和喜	ふるさと創造部長
藤後 靖	ふるさと創造部人口増政策課長
後藤 伸嘉	ふるさと創造部人口増政策課係長
菅生 綾子	ふるさと創造部人口増政策課主任
岩野 裕之	ふるさと創造部人口増政策課主任
大西 弘晃	ふるさと創造部人口増政策課主事
小山 映	ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員

第 1 回部会 外部評価（2次評価）実施要領

1 外部評価（2次評価）の進め方

部会での検討（90分）

① 市民の視点から各施策について別紙「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。

評価方法は、施策毎の1次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄にSからDを書き込んでいく。

（総合評価基準の目安）

総合評価基準		説明	目標数値の達成度 単年(H29)の数値目安
S	目標を大きく上回って達成	計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている	130 以上
A	目標を上回って達成	計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている	110～129
B	目標を達成	計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている	90～109
C	目標を下回っている	計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない	70～89
D	目標を大きく下回っている	計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない	69 以下

② 各施策に対する意見・提案等のコメントを出していく。

2 部会の編成

部会名	対象政策	担当委員	事務局	説明員
①人づくり ・産業部会	政策 01 明日を担い 未来へつなげる人づくり	杉本副会長	岩野主任 小山専門員	教育委員会 繁中部長 地域振興部 河原部長
	政策 02 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり	谷勝委員 湊脇委員		
	政策 03 地域の豊かさと元気を 取り戻す産業づくり	吉田英樹委員		
②まちづくり ・暮らし部会	政策 04 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	吉田廣委員	藤後課長 菅生主任	健康福祉部 奥隅部長 都市整備部 西岡部長
	政策 05 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり	高見委員 辻田委員		
	政策 06 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり	森委員		
③環境 ・地域経営部会	政策 07 自然環境の保全と 特色ある景観づくり	杉山会長	森井部長 後藤係長 大西主事	総務部 山本部長 生活環境部 高井部長
	政策 08 循環型社会をめざす 生活環境づくり	久米澤委員		
	政策 09 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西	武貞委員		
	政策 10 健全な行財政運営の確立	辰巳委員		

平成29年度

総合計画施策評価一覧

(サンプル)

【進捗状況】…①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】…S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】…S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】…①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】…S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

各指標に対する実績を【評価シート】から転記

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	主管部課		自己評価(1次評価)										市民会議意見(2次評価)	
				部名	課名	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	総合評価	最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
							区分	単年(H29)	最終(H32)				H29取組状況	課題と今後の取組			
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	教育委員会	生涯学習課	②	B	84	74	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(九会小・泉小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校託送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。また、市制50周年の記念イベントが多数開催されたため、市民会館の利用者数が大幅に増加し、加西市文化祭の参加人数も増加しました。	公民館主催講座の受講者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきていますが、自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進んでいる為、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、連携・協力の推進を図りながら、地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。			
		2		教育委員会	生涯学習課	②	B	53	35	C	②						
		3		教育委員会	図書館	②	A	100	92	B	②						
		4		ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	120	120	B	②						
		5	5-83	教育委員会	総合教育センター	②	S	140	140	A	②						
1	主体的な青少年活動	1		教育委員会	総合教育センター	②	B	86	60	B	②	B	市内の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サマツリ・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教育の企画「お化け屋敷大作戦」や「ご来光のつどい」を実施し、多くの参加者がありました。	各種団体との交流は定着していますが、青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少しています。会員数が増加し活動が活性化できるよう、進学や就職により団体を離れた後も再加入し活動できるような情報提供を含む声掛けや、新規メンバーの獲得に繋がる広報活動が必要です。			
		2		教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②						
1	地域で楽しめる体力づくり	1		ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	97	96	B	②	B	アラジスタジアムやぜんぼうグリーンパーク各種設備などの体育施設の修繕を行い利用者の利便性を向上させました。また、環太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催し、昨年に引き続き、予定よりも多くの方に参加してもらえました。	体育施設の利用人数向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催することや、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要となっています。また、老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要となっています。			
		2		ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	36	32	D	②						
		3		ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	113	96	A	②						
1	出会いを求める若者の応援	1	1-17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	80	80	B	②	B	10月より出逢いサポートセンターを民間事業者へ委託して開設し、加西市商工会議所青年部と連携した婚活セミナーや婚活イベントを開催しました。今後は仲人役となる「出逢いサポーター」の養成など、出逢い支援に向けた新たな事業を展開します。	出逢いサポートセンターへの登録者が一定程度増えてきたため、成婚に向けての具体的な取組が必要であり、平成30年度からは出逢いサポーターによる登録者同士のお見合いを開始します。また、職域交流について、引き続き、商工会議所と連携していきます。			
		2		ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	400	200	B	②						

1 施策ごとに評価

平成29年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延

※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			最終とりまとめ		総合評価	意見・提案等	
													H29取組状況	課題と今後の取組			
1	誰もが学べる学習環境づくり	1	5-88	5	教育委員会	生涯学習課	②	B	84	74	B	②	B	公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(九会小・泉小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校託送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。また、市制50周年の記念イベントが多数開催されたため、市民会館の利用者数が大幅に増加し、加西市文化祭の参加人数も増加しました。	公民館主催講座の受講者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきていますが、自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進んでいる為、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、連携・協力の推進を図りながら、地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。		
		2		6	教育委員会	生涯学習課	②	B	53	35	C	②					
		3		7	教育委員会	図書館	②	A	100	92	B	②					
		4		8	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	120	120	B	②					
		5	5-83	9	教育委員会	総合教育センター	②	S	140	140	A	②					
1	主体的な青少年活動	1		11	教育委員会	総合教育センター	②	B	86	60	C	②	B	市外の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サイサイまつり・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。また、今年度も加西サイサイまつりでの企画「お化け屋敷大作戦」や「ご来光のつどい」を実施し、多くの参加者がありました。	各種団体との交流は定着していますが、青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少しています。会員数が増加し活動が活性化するよう、進学や就職により団体を離れた後も再加入し活動できるような情報提供を含む声掛けや、新規メンバーの獲得に繋がる広報活動が必要です。		
		2		12	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	60	B	②					
1	地域で楽しめる体力づくり	1		13	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	97	96	B	②	B	アラジスタジアムやぜんぼうグリーンパーク各種設備などの体育施設の修繕を行い利用者の利便性を向上させました。また、環太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催し、昨年に引き続き、予定よりも多くの方に参加してもらえました。	体育施設の利用人数向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催することや、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要となっています。また、老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要となっています。		
		2		14	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	36	32	D	②					
		3		15	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	113	96	A	②					
1	出合いを求める若者の応援	1	1-17	17	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	80	80	B	②	B	10月より出逢いサポートセンターを民間事業者へ委託して開設し、加西市商工会議所青年部と連携した婚活セミナーや婚活イベントを開催しました。今後は仲人役となる「出逢いサポーター」の養成など、出逢い支援に向けた新たな事業を展開します。	出逢いサポートセンターへの登録者がある程度増えてきたため、成婚に向けての具体的な取組が必要であり、平成30年度からは出逢いサポーターによる登録者同士のお見合いを開始します。また、職域交流について、引き続き、商工会議所と連携していきます。		
		2		18	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	400	200	B	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	最終とりまとめ	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		H29取組状況
2	5	特色ある教育	1	5-82	19	教育委員会	総合教育センター	②	A	100	33	B	B	<p>小中連携教育が積極的に推進されるよう、引き続き、小中合同研修会や相互授業参観、さらには、小小もしくは小中の合同授業や合同交流会を実施しました。4中学校に最新の教育用ICT機器を配備し、情報教育の環境整備を行いました。</p> <p>また、北条高校活性化協議会を実施主体に河合塾や兵庫教育大学の学生を講師としたアフタースクールゼミを受講者の学力に応じたよりきめ細やかな学習支援を行いました。</p>	<p>小学校外国語の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための研修を充実させます。また、特別支援教育においては、校内支援体制のさらなる充実や切れ目のない支援体制の整備に向けて、市内の資源を活用し各関係機関との連携をさらに進めていきます。</p> <p>また、国公立大学の合格者数の増加を目指すため、基礎コースを全体的な学力底上げの受け皿としつつ、受験コースをより受験に特化した内容のものとし、生徒確保及び活性化を進めていきます。</p>	B		
			2		20	教育委員会	学校教育課	②	A	100	86	B						②
			3		21	教育委員会	教育総務課	②	A	100	67	B						③
			4		22	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B						②
			5		23	教育委員会	学校教育課	②	A	100	80	B						②
			6	5-86	24	教育委員会	総合教育センター	②	S	113	113	B						②
			②					A	100	100								
			7	5-85	25	教育委員会	学校教育課	②	A	100	33	B						②
8	5-87	26	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	143	126	A	②								
2	6	安全安心で潤いのある学校	1	5-84	27	教育委員会	教育総務課	③	—	—	100	B	①	B	<p>富合小学校北校舎のトイレの整備、善防中学校のプール濾過装置更新、加西中学校のプール改築、泉中学校のプール塗装改修、加西特別支援学校プール設備改修を行いました。また、南部学校給食センター改築工事の実施設計を作成しました。</p>	<p>昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。また、単独調理場施設が、建設より28年を経過しており、南部学校給食センターの早期完成により統合することが必要です。</p>	B	
								③	—	—	100							
								③	—	—	100							
			2		28	教育委員会	教育総務課	②	B	17	8	C	②					
			3		29	教育委員会	教育総務課	②	A	100	0	B	②					
2	7	地域に開かれた学校づくり	1	6-93	31	教育委員会	学校教育課	②	A	100	95	B	B	<p>引き続き、各校で地域の方々をゲストティーチャーとして招き、「生きる力」の育成とふるさと意識の醸成に努めました。小学校外国語活動においても、新たに地域人材の活用をはじめました。</p> <p>また、学校や地域の実態に合わせ、様々な工夫をしながら、オープンスクールを実施しています。</p>	<p>地域と連携を深め、学校として希望する内容を指導できる人材の発掘・確保に努めます。また、学校が地域の交流の場となることが期待される中、コミュニティールームの設置やオープンスクール実施にあたり、内容を充実させ、地域住民への周知方法を検討し、地域に信頼される学校づくりに繋げていきます。</p>	B		
			2		32	教育委員会	総合教育センター	③	—	—	100	B						①
			3		33	教育委員会	学校教育課	②	B	83	67	C						②

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	最終とりまとめ	総合評価	意見・提案等	
																	H29取組状況
3	8 裾野の広い農業の育成	1	4-65	35	地域振興部	農政課	②	A	100	33	B	②	B	裾野の広い農業を育成するため、「かさい農業塾」の開催、特産品普及推進、市民農園の整備、新規就農の受け入れ促進、法人化を検討する組織との協議、認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速等を行い、JA兵庫みらいが特産化を目指すアスパラガスは、取り組み初年度として7生産者が参画しました。また、「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパス誘致についての検討を行いました。	各機関と連携して継続した取り組みにするための関係者どうしの結び付き強化やブランド化・特産化については、規模拡大と共に品質の均一化が大きな課題となります。また、全国的なPRを行うため、関係機関一丸となった体制づくりや雇用の安定化に向けた指導ノウハウの蓄積及び法人化を推進するための支援策が必要です。		
			3-60				②	S	150	150							
		2	2-46	36	地域振興部	農政課	②	S	150	100	B	②					
			3-62				②	B	72	61							
		3	2-47	37	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②					
			4-249				②	S	111	100							
		4	2-50	38	地域振興部	農政課	②	S	300	300	S	②					
			5-177				②	S	150	150							
5		39	地域振興部	農政課	②	S	177	104	S	②							
6		40	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②							
7	2-48	41	地域振興部	農政課	②	B	0	0	C	②							
8	3-59	42	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	—	—	D	②							
3	9 地域資源を活用した産業振興	1	4-66	43	地域振興部	農政課	②	B	80	60	C	②	B	整備手法等について、県関係課と協議し、整備対象となる土地の地権者に対する説明会や個別交渉を行いました。農業振興地域の除外などの産業団地造成に必要な環境整備を進めるため、県関係課と協議しました。既存工場が立地する「繁昌町国道372号沿道地区」について、市街化区域編入を行いました。土地の有効利用促進を図るため、「横尾南部地区」の都市計画変更(用途地域)を行いました。また、市内企業の拡張支援について、市街化調整区域の産業促進を図るため、「鶴野飛行場跡地東部産業拠点地区」、「鶴野上町産業集積地区」及び「東高室次世代へのまちづくり産業立地促進地区」において、地区計画制度の活用・地元説明を行いました。	民間事業者による開発も含め、引き続き、様々な整備手法等について検討するとともに、県関係課と協議します。また、地権者に対して個別交渉を続けるとともに、各工区の土地交渉状況を報告します。引き続き、産業団地造成に必要な環境整備を進めるとともに、基本設計等の事務手続きを行います。また、市内企業の拡張支援について、特別指定区域制度及び地区計画制度を活用し、地域の実情に沿った適切な制度の選択による規制緩和に取り組みます。		
		2		44	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②					
		3	2-52	45	地域振興部	産業振興課	②	B	98	93	A	②					
		4	3-57	46	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	92	80	C	③					
							②	B	93	76							
		5		47	地域振興部	産業振興課	②	S	102	98	B	②					
		6	4-67	48	地域振興部	産業振興課	②	B	98	93	C	②					
		7	2-39 4-68	49	都市整備部	都市計画課	②	未確定	—	—	B	②					
		8		50	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	C	②					
9	3-56	51	地域振興部	産業振興課	②	S	102	98	B	②							
3	10 加西に住んで働ける就労支援	1	2-37	53	地域振興部	産業振興課	②	B	97	93	B	②	B	兵庫県、大阪府、京都府の市内出身者の多い14大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めるとともに、兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、求職者の就職支援に取り組んだほか、女性や社会的弱者に対する相談体制を充実しました。また、出産や子育てのために未就業の女性講座の経費の一部を助成する制度を実施しました。その他、UJターン者の支援として交付しているUJターン促進補助金について、問い合わせが多く、申請者も昨年度より増加しました。	大学訪問や様々な媒体によって、中小企業の人材確保のため市内企業のPRIに努めます。また、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、新たな定住促進施策を立案していきます。子育て就職支援補助制度の利用を図るため、さらに周知を図り、女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討します。UJターン促進補助金については、補助金額が年々大きくなっているため、事業の効果検証を行いながら、制度の改正等について検討していく必要があります。		
							②	B	95	84							
		2		54	地域振興部	産業振興課	②	B	88	81	C	②					
		3	2-34	55	地域振興部	産業振興課	②	S	105	98	B	②					
							②	B	95	84							
		4	2-38	56	地域振興部	産業振興課	②	B	0	0	C	③					
		5	2-32	57	地域振興部	産業振興課	②	B	88	70	C	②					
		6	2-33	58	地域振興部	産業振興課	②	S	102	92	B	②					
		7	2-36	59	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	87	48	B	②					
		8	2-41	60	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	140	140	B	②					
②	B						77	62									
9	2-42	61	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	20	20	C	②							
10	2-45	62	地域振興部	産業振興課	②	S	120	86	B	②							
3	11 加西らしい観光サービス	1		63	教育委員会	生涯学習課	②	S	142	113	B	②	B	五百羅漢石仏が県指定文化財に指定されたほか、埋蔵文化財整理室の常設展示替え(青野原俘虜収容所)や加西市歴史文化基本構想の策定、青野原俘虜収容所調査・史料調査を実施しました。また、加西らしい観光サービスの提供として、観光まちづくり協会と連携し、絵本列車やウォークイベントなど様々なイベントを実施し、SNSによる情報拡散件数も増加しました。	平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」に基づき、今後は包括的な文化財の指定を進め、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進します。「かさいまちあそび」では加西市の魅力を発見する新たなプログラムの発掘と体験交流プログラムづくりに取り組む団体の育成を行います。		
		2		64	教育委員会	生涯学習課	②	S	213	160	B	②					
		3	3-58	65	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	84	67	B	②					
							②	S	132	79							
		4		66	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	86	B	②					
		5	2-51 6-92	67	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	52	44	C	②					
		6	3-54	68	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	S	250	100	A	②					
7	3-55	69	ふるさと創造部	人口増政策課	①	A	—	—	D	②							

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了
 【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。
 【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている
 【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止
 【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)						
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	最終とりまとめ	総合評価	意見・提案等					
																	H29取組状況		課題と今後の取組		
4	12	魅力ある中心市街地の形成		71	総務部	管財課	②	S	—	50	B	②	B	永年遊休地として管理してきた旧消防署跡地について、商業施設の建設用地として売却が完了しました。西高室土地区画整理事業は、積極的な販売促進活動により、保留地71区画中70区画を販売しました。また、宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積は、平成29年度は5件の補助を行い、市街化区域内の低未利用地の流動化の促進を図りました。空き家・空き店舗の活用について、2か所のモデル拠点が完成しました。	東南住宅跡地は、丸山バイパス等隣地開発状況をふまえ売却方法を検討します。旧庁舎については、近隣において、今秋にホテル開業が予定されており、今後の周辺土地利用の需要を考慮しながら、宅地に限らない効果的な活用方法を検討します。空き家・空き店舗の活用について、2か所のハード面の整備が完了しましたが、建物を維持しながら運営する主体が自走できるよう行政や地域住民等の協力が不可欠であるため、引き続き運営支援を行います。また、今後チャレンジショップと滞在施設の異なるモデル拠点を2か所整備する予定です。						
					都市整備部	都市計画課	②	S	140	84	A	②									
					都市整備部	都市計画課	②	B	20	20	C	②									
					4	74	地域振興部	産業振興課	②	B	87	87						C	②		
									②	B	0	0									
									②	B	0	0									
									②	B	33	13									
					4-77	76	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	240	240						S	②		
					1-25	77	都市整備部	都市計画課	①	A	—	—						C	②		
					7・8	1-27	78	ふるさと創造部	人口増政策課	③	S	151						151	A	①	
					9	1-28	79	ふるさと創造部	人口増政策課	③	B	98						98	B	②	
10	4-74	80	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	—	200	S	②											
11	4-78	81	都市整備部	都市計画課	②	S	163	87	A	②											
4	13	周辺地域の定住促進		83	ふるさと創造部 地域振興部	ふるさと創造課 きてみて住んで課	②	B	0	0	B	②	B	空き家対策について、ふるさと創造会議の新たな交付金制度の中で、選択課題解決加算を創設しました(H30年度から運用開始)。また、人口増政策課で「移住・定住係」が新設され、移住相談会、電話、窓口、メールなどによる移住に関する相談の窓口を一本化できました。宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しのほか加西インター周辺について有効な土地利用に向けて関係課と協議しました。鶉野飛行場跡地では環境周辺整備や空がつなぐまち・ひとづくり交流事業により、鶉野ミュージアムの建物及び展示施設の基本設計を行いました。また、情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めるため、大阪や神戸などへの出張移住相談会に計5回参加しました。	市内全域での空き家の基礎調査を行った上で、利活用可能な空き家を対象に支援策を検討します。加西インター周辺の土地利用について、ほ場整備事業との整合を踏まえた土地利用計画を検討するとともに、産業団地造成に必要な環境整備を進めるほか、鶉野飛行場跡地では国の地方創生推進交付金(先駆タイプ)の再申請を行うとともに、同交付金の結果を踏まえた同地域の利活用を検討します。						
							②	S	180	108											
							②	S	133	80											
							①	A	—	—											
				2	85	都市整備部	都市計画課	②	A	100	40	B						②			
				3	1-26 1-30	86	地域振興部	産業振興課	②	S	185	148						B	②		
									②	B	82	70									
				4	4-75	87	都市整備部	都市計画課	②	S	—	100						B	②		
				5	3-53	88	都市整備部	都市計画課	②	A	100	50						B	②		
6	89	都市整備部	都市計画課	②	B	83	83	B	②												
7	1-24	90	都市整備部	都市計画課	②	B	78	39	C	②											
8	1-29	91	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	0	0	D	④											
9	2-35	92	地域振興部	きてみて住んで課	②	S	167	167	A	②											
4	14	公共交通網の構築		93	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	125	92	B	②	B	コミバスの利用者に対する交通調査を行い、利用状況の調査・分析を実施し、地域公共交通網形成計画を策定するとともに、地域主体型交通検討のためのアンケート調査を一地区で実施し、導入検討に向けた支援を行いました。また、公共交通を使ったモニターツアーの実施や北条町駅、法華口駅および車両内のWiFi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。	地域公共交通網形成計画に定める目指すべき公共交通サービスの構築に向け施策を進めます。また、広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入の推進、市内の施設情報などの充実、老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。コミバス利用者の新規開拓として特に子育て世帯への利用促進を行います。						
							②	B	89	86											
				4	1-1 4-71	94	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	125							92	B	②	
									②	B	89							86			
				5	4-69	96	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	89							86	C	②	
7・8	1-1 4-69 4-71	97	ふるさと創造部	人口増政策課	②	S	125	92	B	②											
					②	B	89	86													
4	15	住みよい住環境		99	都市整備部	都市計画課	②	A	100	95	B	②	B	都市公園等の計画的な管理と保全を行うため、指定管理者を活用した適切な公園管理、施設の経年劣化に対処した修繕の適時実施し、また、丸山総合公園において、都市再生整備事業交付金を活用し、大型遊具2基等を設置しました。また、道路の整備、橋梁の補修、河川の維持等に取り組みました。史跡の計画的整備および活用を図るため、塚塚古墳整備の実施設計を行いました。	都市公園等については指定管理者と協働し、利用者数の更なる増加に向けての取り組みや、遊具等施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についての検討を進めます。道路・河川の整備や橋梁の修繕等を計画的に進めます。また、史跡整備・活用について、史跡整備基本計画に従い、順次、史跡整備を実施します。						
					2	教育委員会	生涯学習課	②	A	100	25							B	②		
					3	4-70	101	都市整備部	土木課	②	B							29	11	C	②
										②	S							108	29		
					4	102	都市整備部	土木課	②	B	99							96	B	②	
					5	103	都市整備部	土木課	②	S	108							56	A	②	
					6	104	都市整備部	土木課	②	S	150							86	C	②	
7	105	都市整備部	土木課	②	B	50	20	C	②												

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	H29取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		総合評価
5	16 社会参加を通じた生きがいづくり	1		107	教育委員会	生涯学習課	②	S	119	112	A	②	B	年々高齢者学級の受講者数は増加しています。運営委員会の自主運営で事業を実施したり、企画に参画するなど、活性化が進んでいます。高齢者についてはシルバー人材センターへの活動助成、ホームページによる積極的な情報発信、介護予防リーダー養成講座や生活支援サポーター養成講座の実施等を通して、また障がい者については障がい者サロン事業への助成、就労支援員との連携による就労支援・定着支援や庁内バザーを通して、高齢者や障がい者の社会参加や生きがいづくりの支援に取り組みました。	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元気塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保が難しくなっています。高齢者の活用とともに、多様化するニーズに応える運用が求められます。養成講座受講者が活動を継続して行っていくためのスキルアップ・フォローアップを定期的に行っていく必要があります。障害者雇用については、企業に対して一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行うとともに、特別支援学校の生徒の進路指導についても支援していきます。			
		2		108	健康福祉部	長寿介護課	②	B	86	76	C	②						
		3		109	健康福祉部	長寿介護課	②	B	79	63	C	②						
		4		110	健康福祉部	地域福祉課	②	S	104	98	A	②						
		5		111	健康福祉部	地域福祉課	②	S	103	90	B	②						
		6	3-61	112	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	—	—	D	②						
5	17 ことごとからだの健康づくり	1	5-80	113	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	B	93	78	B	②	B	がん検診無料クーポンの配布と未受診者の勧奨を行ったほか、特定健診の無料化を実施し、老人会と連携した受診促進を行ったため、約5%の受診率の向上に繋がりました。 また、健幸ポイント事業の参加者数が1,000人となり、県立フラワーセンターの入園や北条鉄道の利用をポイント付与対象に加えたほか、ウォーキングイベントなどのポイント付与イベントも充実させ、健康づくりの環境整備を進めました。	継続してがん検診の受診啓発を行うとともに新たにおたふくかぜ任意予防接種費用の一部助成を開始します。 食育の推進について、加西市第2次食育推進計画をもとに、現状に応じた取り組みを実施していきます。 また、平成30年度中に自殺対策計画の策定を予定しており、全庁的な取り組みとして、庁内横断的に、関係者との連携・協働によりさらに対策を推進していきます。			
							②	S	134	122								
							②	B	98	75								
		2	1-2	115	健康福祉部	健康課	②	A	—	—	B	②						
							②	A	—	—	C	②						
		3		116	健康福祉部	健康課	②	A	—	—	C	②						
							②	B	77	72								
		4		118	健康福祉部	健康課 国保医療課	②	S	110	104	B	②						
		5		119	健康福祉部	健康課	②	B	98	85	C	②						
6		120	健康福祉部	健康課	②	S	118	106	A	②								
7		121	健康福祉部	健康課	②	S	155	132	B	②								
					②	B	81	97										
					②	A	100	116										
8	1-19	123	健康福祉部	健康課	②	S	110	93	B	②								
9	5-79	124	健康福祉部	健康課	②	S	133	100	S	③								
5	18 地域医療体制の充実	1		125	加西病院		②	S	128	103	A	②	B	信頼される病院づくりに努めるため、中学生向けの救急救命講習や住民向けの病院出前講座などを実施するとともに、循環器内科の開業医・救急向けホットラインを運用し、急変した患者さんの早期受け入れを促進しました。 地域包括ケアシステム推進部会ワーキンググループを立ち上げ、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される体制構築に向けての検討を行い、医療介護連携マップの作製及び多種職連携情報共有システムの導入、在宅医療介護連携相談室の設置を行いました。地域医療市民フォーラムを開催し、地域医療の現状や課題を共有しました。 また、加西市医師会による休日診療、加西市歯科医師会による年末年始の休日歯科診療を実施しました。	平成29年度に地域の方々と構成された、加西病院サポーターの会が結成され、病院内でのボランティア活動や院外での病院認知度向上の活動をしてもらっており、積極的に協力して親しまれる・選ばれる病院づくりを進めます。 在宅医療介護連携相談室について、医療機関等及び介護事業所へのさらなる周知に努めるとともに、医療と介護のスムーズな連携に向けて支援ができるように引き続き推進部会において医療と介護の連携のあり方について協議し、施策の具現化を図っていきます。平成27年度より開始した年末年始休日歯科診療の市民への普及啓発、また、現在の体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。			
		2		127	加西病院		②	B	87	78	C	②						
		3		128	健康福祉部	健康課 福祉企画課	②	A	100	91	B	②						
		4		129	健康福祉部	福祉企画課 健康課 長寿介護課	②	S	111	95	B	②						
		5		130	健康福祉部	健康課	②	A	100	100	B	②						
		6	1-4	131	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	—	—	D	②						

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)		
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	H29取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等		
																		H29取組状況	
6	19	地域で支え合う安心の暮らし		133	健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	S	115	104	B	B	高齢者には、第1層生活支援コーディネーターが、地域のサロン等へ出向き、地域の現状把握と必要に応じて他機関へつなぐサポートを行いました。障がい者には、日中の居場所提供となるサービスにおいて、地域活動支援センターに対して支援を行いました。また、配食サービスや移送サービスを実施するとともに、介護予防リーダー養成講座を4回(うち2回は生活支援サポート養成講座と共通)、各小学校区に1町選出しあったか声掛け作戦を実施し介護予防の普及啓発や認知症理解に努めました。	一時相談窓口が、安心して地域生活を送れるための総合的な相談窓口であることを周知していくとともに地域包括支援センターとの連携を密にしていきます。中学校園域に第二層生活支援コーディネーターを配置し相談と相談解決の一本化を図ります。また、障がい者の重度化・高齢化に伴い安心して生活し続けることができるシステム構築が必要です。配食サービスについては、民間企業や介護事業所への委託も考えます。また、移送サービスについては、公共交通施策を含めた移送サービス事業も視野に入れ利用者拡大を図ります。認知症カフェやサロンが高齢者や認知症の方だけでなく地域の様々な世代の交流の場としていくため、立ち上げたカフェ連絡会を継続し、他のカフェへの情報提供や情報共有を図るとともに小中学校とも連携を図り実施していく必要があります。	B				
					健康福祉部	長寿介護課	②	B	87	87	B							②	
					健康福祉部	長寿介護課 地域福祉課	②	B	78	78	C							③	
					健康福祉部	長寿介護課	②	B	99	76	B							②	
					健康福祉部	長寿介護課	②	B	50	13	C							②	
					健康福祉部	長寿介護課	②	A	100	100	B							②	
6	20	防犯・防災のまちづくり		139	総務部	危機管理課	②	B	85	82	C	B	防災対策について、災害時要援護者台帳を作成し、自治会・民生委員・社会福祉協議会及び消防署に配布しました。また、防災訓練・研修等を実施し、自主防災組織の育成に取り組んだほか、防犯対策では、子どもの安全を確保する取組として、登下校時の防犯パトロールを行うとともに、防犯カメラ、防犯灯の設置も行いました。	災害時要援護者が減少する一方で、指標の対象である潜在的な要援護者が増加しています。今後、福祉委員(民生委員)の協力も得ながら、支援希望の回答のない方にアプローチしていきます。自主防災訓練を実施する自主防災組織が固定化している為、実施していない地域への普及啓発を行います。	B				
					5-89	総務部	危機管理課	②	B	57	42							C	②
						総務部	危機管理課	②	S	293	205							C	②
						総務部	危機管理課	②	S	103	96							B	②
						総務部	危機管理課	②	A	100	100							B	②
						総務部	危機管理課	②	A	100	100							B	②
						総務部	危機管理課	②	B	40	40							C	②
6	21	安心できる子育て支援		147	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80	C	B	平成29年4月に加西こども園を開設しました。次いで3番目の公立認定こども園となる北条ならの実こども園が完成しました。さらに、(仮称)泉こども園の建設用地を確保するため、地権者、関係機関と交渉し、用地を取得しました。子育て支援については、相談窓口啓発カードをすべての新生児がいる家庭への訪問時と健康福祉まつり等で配布し、普及啓発を図りました。病児・病後児保育事業の利用が広がり、開設から3年目で年間利用者数600人を上回ることができました。また、子育て専用掲示板の設置、ハンドブックの配布、メール配信サービス等を活用し、子育て全般に関する情報発信の強化に努めました。	乳幼児健診について、平成30年度より新生児聴覚検査の助成も開始となるため、検査後異常があった場合早期に支援を行います。また、発達支援を必要とする園児数が年々増加しており、加配職員の確保が厳しい状況であります。丁寧な関わりがもてる環境を整えるため、引き続き職員の確保と育成に努めていきます。ファミリーサポートクラブ活動について、現在は協力会員の協力により、利用者の要望にほぼ対応できる体制になっていますが、今後は新たな要望にも対応できるよう普及啓発により協力会員の増加を図ります。	B				
					1-6	健康福祉部	健康課	②	B	86	85							B	②
					1-6	教育委員会	こども未来課	②	B	67	80							B	②
						健康福祉部	地域福祉課	②	S	254	159							A	②
					1-23	教育委員会	こども未来課	②	B	81	81							C	②
					1-22	教育委員会	こども未来課	②	A	100	86							B	②
					1-12	教育委員会 (ふるさと創造部)	こども未来課 (人口増政策課)	②	A	100	100							B	②
					1-7			②	B	—	—							B	②
					1-13	教育委員会	こども未来課	②	S	156	125							A	②
					1-21	健康福祉部	地域福祉課	②	B	92	88							C	②
					1-18	健康福祉部	国保医療課	②	A	100	98							B	②
					1-3	健康福祉部	健康課	②	S	155	93							S	②
					1-5	健康福祉部	地域福祉課	②	A	—	—							B	②
					1-8	地域振興部	産業振興課	②	S	270	270							A	②
					1-9	健康福祉部	地域福祉課	②	B	0	0							D	②
					1-10	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	—	—							C	②
					1-11	教育委員会	こども未来課	①	—	—	—							C	③
					1-14	教育委員会	こども未来課	②	S	1397	466							A	②
					1-15	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	99	88							B	②
1-16	ふるさと創造部	人口増政策課	②	B	68	59	C	②											

平成29年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)			市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		総合評価	最終とりまとめ				総合評価	意見・提案等			
									H29取組状況	課題と今後の取組							
7-22	自然と共生する里地里山づくり	1		167	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②	B	自然と共生する里地里山づくりのため、住民参加による地域の里山整備を支援し10団体に対し補助金を交付しました。ため池の改修は、事業着手(三口町、坂本町、田谷町)5池、調査設計(西笠原町、下若井町)3池を実施しています。 あびき湿原では来場者より要望が多いため、市と県が補助を行い、あびき湿原内に保存会がバイオトイレを設置しました。また、保全活動を推進するため、ソフト面の支援を行いました。 また、兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業として、夏休みに「環境ものづくりと光る鉱物を見るバスツアー」を実施しました。	耕作放棄地の解消と農地の有効利用について、果樹就農希望者による耕作放棄地の再整備を検討します。 あびき湿原だけでなく、他の地域の自然資源についても保全・活用を推進する仕組みが必要となっています。他地域の自然環境を把握するため、平成30年度より動植物生態調査の検討に入ります。 兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業では、毎回、参加希望者が参加希望人数を大幅に超過し、抽選となっています。子ども対象だけでなく、中高生、大人まで、様々な層に知的関心をもって頂く企画の検討・工夫に取組みます。		
		2		168	地域振興部	農政課	②	A	100	100	B	②					
		3		169	生活環境部	環境課	②	A	100	100	B	②					
		4		170	地域振興部	農政課	②	A	100	53	B	②					
		5		171	地域振興部	農政課	②	S	141	132	A	②					
		6		172	地域振興部	農政課	②	S	122	113	A	②					
7-23	加西の風土を活かした景観づくり	1		173	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	A	100	70	C	②	B	市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化するため、北はりまサイクルマップの作成、加西ハイキングマップの更新、加西四季彩マップ(多言語)の作成を行いました。 また、景観との調和に努めるため、違反広告物パトロールを北播磨地区合同で行うほか、開発調整条例に基づく、適正な土地利用の推進のため、開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブル防止に努めました。	ふるさと加西の魅力再発見事業を展開するため、フォトコンテストを実施していますが、多くの方に関心を持ってもらい、出品数を増加させるために、イオン加西北条で展示を行います。 屋外広告物については、未申請となることも多いため、建築確認申請等の情報により申請の漏れを減らすとともに増加に違反広告物の指導に努めます。 開発調整条例に基づく、適正な土地利用の促進について継続して事前調整と適切な指導を継続します。		
		2	6-92	174	ふるさと創造部	文化・観光・スポーツ課	②	B	50	43	C	②					
		3		175	都市整備部	都市計画課	②	S	102	44	B	②					
		4		176	都市整備部	都市計画課	②	S	117	117	A	②					
		5		177	都市整備部	都市計画課	②	A	100	100	B	②					

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	H29取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		H29取組状況
8	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進	1		179	生活環境部	環境課	②	S	107	104	S	②	A	市庁舎の電気使用量について、デマンド監視システムを運用し、庁舎電力負荷が上がらないように努めました。 また、平成29年度より住宅用太陽光、電気自動車とともに住宅用蓄電池に対する設置補助金を創設しました。大規模太陽光発電施設の設置について、事業者へ指導、助言を行い、地域の住環境に配慮した創エネの導入に努めるほか、グリーンハウス建築促進補助金を実施しました。	省エネ・蓄エネ・創エネの推進として、市庁舎の電気使用量についての取組を継続していきます。 また、創エネ施策である住宅太陽光への補助・グリーンハウス建築促進補助金は平成29年度で事業完了となりました。平成30年度からは、引き続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、蓄エネ・節エネをより一層推進する施策へシフトします。			
		2		180	都市整備部	都市計画課	②	A	96	96	B	①						
		3		181	生活環境部	環境課	②	S	107	86	B	②						
8	25 水環境のまちづくり	1		183	生活環境部	上下水道課	②	A	99	97	B	③	B	4地区 L=1.92kmの配水管布設を実施しました。水洗化補助金の交付制度について制度を拡充し、合併浄化槽世帯も補助の対象としました。併せて、制度拡充のお知らせを合併浄化槽設置家庭と、設備工事指定工事店へ配布し、制度拡充の周知に努めました。工場用等にかかる有収水量の伸びに加えて、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減を行いました。 また、歩道整備に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。	合併浄化槽設置家庭の下水道接続が進みにくいことから、合併浄化槽設置家庭には、水道メーターの検針時に水洗化促進補助金制度のお知らせと下水道接続のお願いのチラシを配布するとともに、戸別訪問を継続します。 生活排水処理計画に基づき、統廃合事業を実施します。市川町とは受水状況を見ながら協議することとなっていることから、引き続き交渉を継続します。 公道の透水性舗装について今後計画的に整備を進めてまいります。			
		2		184	生活環境部	上下水道管理課	②	A	101	98	A	②						
		3		185	生活環境部	上下水道課	②	A	100	33	B	②						
		4		186	生活環境部	上下水道管理課	②	S	105	104	S	②						
		5		187	都市整備部	土木課	②	B	48	21	C	②						
8	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進	1		189	生活環境部	環境課	②	A	100	90	B	②	B	播磨風土記をデザインしたマイバック(エコバック)を作成・配布し、消費者側からのレジ袋削減に取組みました。平成29年度はマイバック(エコバック)450枚を補充作成(配布実績324枚)しました。 家庭用の廃食用油の回収量は、平成29年度10,550L、廃食用油売捌収入は27,918円でした。「与作プロジェクト」は、市内間伐ボランティアや市内福祉法人と協力し、16tの間伐材が薪に加工されました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林整備のため、樹木粉砕機を貸出しました(10団体)。	新規出店の量販店への協力依頼の実施とマイバック(エコバック)を利用してもらう啓発を併せて行います。3Rの啓発に努めます。廃食用油の回収は市民に浸透しておりリサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。今後、広報・回収方法の再検討が必要であると思われます。市内全域に無料回収BOXが設置され、美バース事業での回収量が年々減少傾向で、リサイクル率が下がる要因にもなっています。引き続き啓発に努め、地域のごみ減量とリサイクルの推進を図ります。			
		2		190	生活環境部	環境課	②	S	102	101	A	②						
		3		191	生活環境部	環境課	②	B	78	73	C	②						
		4		192	生活環境部	環境課	②	B	93	92	C	②						
8	27 環境学習の推進	1		193	教育委員会	生涯学習課	②	B	55	35	C	②	B	環境学習の推進として、公民館で子どもを対象とした環境学習講座を実施しました。また、地域と連携し、貴重な自然環境を守る環境保全ボランティア養成講座「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催し、6回にわたり、環境講座や視察、保全活動実習を学習しました。 また、小・中学校で、校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等農業体験などの環境体験学習等を実施するほか、地域人材を活用し、人・地域とつながる研究を進めるなど、新たな試みを行う学校の取組も行いました。	環境学習について、公民館講座だけでは講座数の確保が困難なことから、引き続き、公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を開催していきます。また、親子での参加となると開催日が休日に限定されており、開催日に苦慮しています。 環境経営システムは、認証取得に数十万円から百数十万円の費用がかかるため、取り組める事業者に限られます。更新しない事業者が増えているため、市HP、広報紙などを活用した新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。			
		2		194	教育委員会	生涯学習課	②	S	235	207	A	②						
		3		195	教育委員会	学校教育課	②	A	100	100	B	②						
		4		196	生活環境部	環境課	②	B	83	83	C	②						
		5		197	教育委員会	学校教育課 総合教育センター	②	B	67	40	C	②						

平成29年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延

※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本政策	施策	枝番	戦略アクションプラン	個票ページ	主管部課		進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針	自己評価(1次評価)		最終とりまとめ		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年(H29)	最終(H32)			総合評価	H29取組状況	課題と今後の取組	総合評価	意見・提案等	
																		最長とりまとめ
9	28 情報公開と住民自治のまちづくり	1	6-91	199	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	50	50	C	②	C	地域おこし協力隊について、平成27年度に委嘱した2名の隊員が平成9年度で3年間の任期を終え、内1名の隊員については、そのまま地域に残り合同会社を設立し、北条のまちなか活性化に寄与いただいています。 また、ふるさと創造会議を全小学校区に設立しました。創造会議立ち上げから5年が経過したことから、人口や面積規模に応じた新交付金制度を創設し、さらなる創造会議の促進に向けて支援していきます。	地域おこし協力隊について、隊員のミッションの明確化と隊員とのコミュニケーション強化が課題となっております。 若者ターミナルスポットでは、引き続きカフェ等の起業に向けたビジネススクールを開校するとともに、空いている時間帯を起業希望者に対する支援に活用できるよう検討します。 ふるさと創造会議について、各地区の設立時期や課題等も違うことから、地区ごとによって進捗状況が異なるため、全地域での標準化を図るとともに、自立して継続していける体制づくりをサポートしていきます。			
							②	B	67	67								
		2	6-90	200	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	80	57	C	②						
							②	B	54	27								
		3		201	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	263	132	B	②						
		4	4-73	202	ふるさと創造部	ふるさと創造課	③	A	100	100	B	②						
5		203	ふるさと創造部	秘書課	②	B	50	50	C	②								
6	4-72	204	ふるさと創造部	ふるさと創造課	①	B	0	0	C	③								
9	29 自己実現と共生のまちづくり	1		205	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	48	40	B	②	B	市民全体の男女共同参画の意識向上のために、有名な講師を呼んで講演会を開催しました。また、女性の労働人口を増やすため、子育て世代の再就職を進めるため、ハローワークと共催でセミナーを開催しました。 また、おける各種外国文化関係団体の会員の獲得に取り組み、予想を超える会員数となりました。新たな活動として、国際理解講座「世界のとびら」を開催しました。	外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させる必要があります。 人権学習会では、自主参加型の学習機会を多く実施し、また、事業所、団体等による自主的な研修会実施に対する講師派遣、資機材貸出などの支援策を充実し、市民自らが人権について関心をもち、考えていただけるよう努めていきます。			
		2		206	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	74	49	C	②						
		3		207	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	B	50	40	C	②						
		4		208	ふるさと創造部	ふるさと創造課	②	S	260	182	S	②						
		5		209	ふるさと創造部	人権推進課	②	S	142	128	A	②						

平成29年度

総合計画施策評価一覧

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延

※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

基本 政策	施策	枝 番	戦略 アクション プラン	個票 ページ	主管部課		進捗 状況	目標数値の達成度			事業の 到達度	今後の 方針	自己評価(1次評価)		市民会議意見(2次評価)	
					部名	課名		区分	単年 (H29)	最終 (H32)			総合 評価	最終とりまとめ	総合 評価	意見・提案等
10	30 行政サービスの向上と効率経営	1		211	総務部	総務課	②	A	100	99	B	②	B 市役所の正規職員総数について、新規採用を抑制し、再任用制度により新規5名を含む計16名の任用を行うこと等により、正規職員数を1名減としました。 第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、引き続き地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、より評価検証を充実させるため、昨年度よりも多い、計4回の会議を開催しました。 また、行財政改革プランの見直しに基づき、公債費の抑制、財政調整基金の一定水準の確保に取り組み、ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、引き続き、歳入の確保・歳出の適正化に努めました。	地方分権一括法による地方への権限移譲や、新たな行政ニーズへの対応などから、行政職を中心に業務量は年々増大しており、ワークライフバランスに配慮した人員体制の確保が必要です。また、管理職員を対象に実施している成果発表会の、監督職(課長補佐・係長級)への拡大を図ります。 定住自立圏においては、次期計画の策定(平成31年度末)に向けて連携事業の評価・見直し等を進めていきます。	総合 評価	意見・提案等
		2		212	総務部	総務課	②	A	100	67	B	②				
		3・8	6-95	213	ふるさと創造部	人口増政策課	②	A	100	93	B	②				
		4		214	総務部	管財課	②	A	—	—	B	②				
		5	6-94	215	総務部	財政課	②	B	88	88	B	②				
							②	S	105	101						
							②	未確定	—	—						
		217	総務部	税務課	②	A	103	101	B	②						
		218	総務部	管財課	②	S	133	133	B	②						

平成29年度評価

(サンプル)

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供			
	経費(千円)	2,533				3,700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50
		実績	—	40	39	37			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%			
			最終年度	80%	78%	74%			
H29取組状況	地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座37、単発講座20、合計57講座開催し、昨年より1,029人増、延9,959人が参加しました。生涯学習情報については、市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行っています。								
課題と今後の取組	主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきています。自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	84%	74%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	①未着手 ②実行中 ③完了	S: 予定より早く進行 A: 予定通り進行 B: 予定より遅延 評価の目安 ※単年(H29)参照 S…101%以上 A…100% B…99%以下				左	S: 目標を大きく上回って達成 A: 目標を上回って達成 B: 目標を達成 C: 目標を下回っている D: 目標を大きく下回っている ※指標ではなく、【基本計画】に対する自己評価		①完了 ②継続 ③見直し ④廃止
	経費(千円)								
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供				・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供			
	経費(千円)	2,533				3,700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く)		目標		40	42	44	46	50	50
		実績	—	40	39	37			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	84%			
			最終年度	80%	78%	74%			
H29取組状況	地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座37、単発講座20、合計57講座開催し、昨年より1,029人増、延9,959人が参加しました。生涯学習情報については、市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行っています。								
課題と今後の取組	主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきています。自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	84%	74%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供			・同左				
	経費(千円)	3,800			3,800				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 公民館登録グループによる社会貢献活動推進のため、研修会やコーディネート等の活動支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館登録グループ社会貢献活動コーディネート制度(公民館出前講座)参加グループ数		目標		30	35	40	45	50	60
		実績	—	25	29	21			
(指標及びH32目標値の設定理由) 出前講座実施グループ実数。10年後に約半数のグループが実施と設定。		目標数値の達成度	単年度	83%	83%	53%			
			最終年度	42%	48%	35%			
H29取組状況	公民館登録グループの21グループが36回にわたり、市民1,632人に対して出前講座を行いました。								
課題と今後の取組	公民館まちづくり出前講座は、普及してきており学童保育等の子ども対象に講座の依頼も増えてきているが、依然講座を実施するグループに偏りがある。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	53%	35%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・「公民館まちづくり出前講座」制度の拡充			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 幅広く高度な情報が提供できるよう館外における図書館サービスを拡充します。また、播磨管内図書館での貸出が可能となり、読書の機会充実に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	図書館			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館との連携強化 ・アステアかさい連携事業の充実 				<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実 			
	経費(千円)	110,362				120,467			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間図書館来館者数(万人)		目標		23	23	23	24	24	25
		実績	26	23	22	23			
(指標及びH32目標値の設定理由) 図書館への来館者数の減少傾向をストップし、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	100%			
			最終年度	92%	88%	92%			
H29取組状況	小学校、中学校において、出前講座のブックトークやおはなし会を開催し、小学校からは、図書館見学に来てもらい館内の案内と本の貸し出しを行いました。また、小・中学校・特別支援学校へ団体貸出送サービスを行ったり、学校図書館の整理に関する相談や本の廃棄作業を手伝いました。そして、10月の図書館まつりのイベントや11月の講演会(絵本講座「子どもと絵本を楽しむ」)の実施時はアステアかさいの会議室やフロアを利用して開催しました。								
課題と今後の取組	今後さらに学校図書館との連携を強化し、図書資料の充実や、各種イベントの充実と啓発に努め、日頃図書館に来館する習慣のない人にも足を運んでもらえるように図書館サービスの拡充を進めたいと思います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	92%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館コーディネーターの活用による学校図書館との連携の充実 ・各種イベントの充実 			・同左				
	経費(千円)	119,467			119,467				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 芸術文化の薫り高い市民生活を創出します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・文化連盟50周年記念事業 			<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・東はりま大茶会 ・ふれあいの祭典兵庫短歌祭 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(実施設計) ・加西能の開催 				
	経費(千円)	3,155			32,255				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市文化祭参加者人数		目標		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		実績	—	2,440	2,791	2,875			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市文化祭参加者人数(出演者・出品者)について一定の水準を維持するよう、27年度の実績をもとに目標値として設定した。		目標数値の達成度	単年度	102%	116%	120%			
			最終年度	102%	116%	120%			
H29取組状況	平成29年度は、市制50周年記念行事等が数多く開催され、加西市民会館文化ホール改修中期間があった前年度よりも参加者が増えた。								
課題と今後の取組	市文化連盟においては徐々に会員の理解と信頼が得られつつありますが、会員の固定化・高齢化も手伝い、自律的・発展的な活動が難しくなっています。今後も継続して指導・支援を行い、市民自ら創造する芸術文化の薫り高い市民生活を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	120%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西市民会館コミュニティセンター耐震改修事業(改修工事) ・加西能の開催 			<ul style="list-style-type: none"> ・加西市文化連盟の指導・育成 ・加西市文化祭の開催 ・加西能の開催 				
	経費(千円)	416,233			16,500				
備考									
H30取組内容追加(ふれあいの祭典兵庫短歌祭) H30経費修正									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	1 誰もが学べる学習環境づくり								
到達目標	住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★地域での子どもの共育活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・5校区で実施				・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・7校区で実施			
	経費(千円)	2,669				2,707			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★土曜チャレンジ学習事業(校区)【5-83】		目標		3	5	5	5	5	5
		実績	—	3	5	7			
(指標及びH32目標値の設定理由) 学校家庭地域の連携協力推進事業のうち、代表的な事業の土曜日の教育活動事業の実施校数。小学校区の約半数と設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%			
			最終年度	60%	100%	140%			
H29取組状況	北条小、北条東小、下里小、九会小、富合小、宇仁小、泉小学校区で学校や地域団体と連携して、土曜日等学校休業日に教育活動事業を実施しました。55回にわたり、延2,272人の小学生が参加し、非常に参加者の多い事業となっています。								
課題と今後の取組	今後も学校や地域団体、家庭との連携・協力を推進し、地域で学ぶ教育活動を継続するとともに、新しい校区での実施を目指します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	140%	140%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・7校区で実施			・学校家庭地域が連携し、土曜日に教育活動を実施 ・実施地域の拡大と内容の充実				
	経費(千円)	2,707			3,000				
備考									
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から総合教育センターへ所管がかわります。 過年度の実績をもとに、経費を事業にあった金額に変更します。 									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 様々な地域事業に参画し、青少年活動事業の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 				
	経費(千円)	183			158				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
若者広場年間事業数(回)		目標		6	7	7	8	9	10
		実績	3	6	5	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 参画する地域事業の回数を示すもので、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	71%	86%			
			最終年度	60%	50%	60%			
H29取組状況	加西サイサイまつりにおいて「お化け屋敷大作戦」を実施し、約1,000名が来場しました。各事業を通して市内の若者団体との交流を図っています。								
課題と今後の取組	各種団体との交流は定着しています。しかし、青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少しています。今後、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	86%	60%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業に参画 ・うれしの春のフェスティバル ・東日本支援事業(ハチドリ祭り)に参画 ・夏祭り大作戦 ・クリスマス大作戦 ・成人式 ・交流会(年間7回) 			・同左				
	経費(千円)	158			158				
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	2 主体的な青少年活動								
到達目標	青少年の健全かつ自主的な活動を推進するため、それを支える人づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域のお兄さん、お姉さん、あるいはおじさん、おばさんとして、より近い立場で青少年に接していく青少年団体連絡協議会の育成と支援を行います。また青少年活動指導者の確保・育成を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダー教室 ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き 				<ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き 			
	経費(千円)	280				230			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
青少年団体連絡協議会登録者数(人)		目標		30	30	30	40	40	50
		実績	—	30	30	30			
(指標及びH32目標値の設定理由) 青少年団体連絡協議会の各団体の登録者の合計人数を示し、事業内容をもとに50名を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	60%	60%	60%			
H29取組状況	空手やボーイスカウトなど青少年の健全育成を目指す団体の指導者が、長年にわたり熱心に活動しています。恒例になっています「ご来光のつどい」には、例年約500名が参加しています。								
課題と今後の取組	会員数が増加し活動が活性化するよう、進学や就職により団体を離れた後も再加入し活動できるような情報提供を含む声かけや、新規メンバーの獲得に繋がる広報活動が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	60%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ ・ご来光のつどい ・とんど焼き 			・同左				
	経費(千円)	230			230				
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民のニーズに合わせた施設の有効活用を行い、住民が身近な場所でスポーツを楽しめる機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 ・駐車場整備(アクアスカイ) 			
	経費(千円)	7,500				34,920			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市が所管するスポーツ施設の年間利用者数(人)		目標		89,000	89,200	89,400	89,600	89,800	90,000
		実績	78,000	88,890	83,896	86,293			
(指標及びH32目標値の設定理由) 多くの住民がスポーツを楽しめる機会の充実を図るため、1000人増を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	94%	97%			
			最終年度	99%	93%	96%			
H29取組状況	アラジスタジアムのスコアボード、バックスクリーン等修繕、ぜんぼうグリーンパーク管理棟設置、トイレ洋式化、駐車場砕石敷均しなど体育施設の修繕を行い利用者の利便性を向上させました。								
課題と今後の取組	老朽化した体育施設の延命化を図るため、随時老朽箇所の修繕が必要です。また、施設利用者数の向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携したスポーツ教室やイベントを開催する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	97%	96%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 ・駐車場整備(アクアスカイ) 			<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設改修 ・スポーツ交流事業の実施 				
	経費(千円)	6,765			3,000				
備考									
【H30年度】トイレ洋式化及び市民グラウンド改修を含めて、体育施設改修とします。 H31、H32を同左とします。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地域に密着して活動しているグループのリーダーや指導者を養成し、活動を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・指導者養成講座開催				・同左			
	経費(千円)	100				150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
指導者養成講座の参加人数		目標		100	105	110	115	120	125
		実績	—	110	93	40			
(指標及びH32目標値の設定理由) 指導者不足の解消のため指導者養成講座参加者を約100名増の125名とする。		目標数値の達成度	単年度	110%	89%	36%			
			最終年度	88%	74%	32%			
H29取組状況	環太平洋大学との連携による指導者養成講座(実技研修)を開催しました。								
課題と今後の取組	スポーツ推進計画に基づき、各スポーツ団体の連携協力を図り、指導者不足解消のための講習会や研修が必要です。平成29年度は雨天での実施であったため参加者が大きく減少しました。内容も指導者が参加しやすい内容に見直す必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	36%	32%	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・指導者養成講座開催			・同左				
	経費(千円)	150			150				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	3 地域で楽しめる体力づくり								
到達目標	施設の活用と指導者の育成によって、誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション活動に親しめるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者や障がい者を含めたスポーツ、レクリエーション活動を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催				・同左			
	経費(千円)	500				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
スポーツ教室の年間参加人数		目標		300	320	340	360	380	400
		実績	—	353	391	384			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市及びスポーツ推進委員会が開催するスポーツ教室の参加者数をH32に100人増とする。		目標数値の達成度	単年度	118%	122%	113%			
			最終年度	88%	98%	96%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィッセル神戸サッカースクールを開催しました。 ・スーパードライブ(ニュースポーツ)教室を開催しました。 ・西宮ストークスバスケットボール教室を開催しました。 ・ダブルタッチ教室を開催しました。 								
課題と今後の取組	子どもから大人まで幅広い年代層が参加できるスポーツ教室を開催し、市民誰もがスポーツに参加できる環境を創ることが必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	113%	96%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ニュースポーツ教室開催 ・各スポーツ教室開催			・同左				
	経費(千円)	500			500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出合いを求める若者の応援								
到達目標	出合いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 事業者と連携し、若者の出合いの場のサポート制度を構築するとともに、特色あるイベントの実施に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・婚活コラボ事業				・加西市出逢いサポートセンター事業			
	経費(千円)	4,038				5,284			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
カップル成立年間組数【1-17】		目標		19	20	20	20	20	20
		実績	—	22	3	16			
(指標及びH32目標値の設定理由) 婚活実施事業数を3~4回 1回あたりのカップル数を5として算定		目標数値の達成度	単年度	116%	15%	80%			
			最終年度	110%	15%	80%			
H29取組状況	平成29年10月より、加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ民間事業者に委託しました。昨年度は半年間でセミナーを4回、婚活イベントを4回実施しました。								
課題と今後の取組	登録者がある程度増えてきたため、成婚に向けての取組が必要です。平成30年度からは出逢いサポーターによる登録者同士のお見合いを開始します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	80%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西市出逢いサポートセンター事業			・同左				
	経費(千円)	5,284			5,284				
備考									
平成29年度より加西市出逢いサポートセンターを立ち上げ、イベントだけではなく、ひとりひとり丁寧に婚活をサポートするサポーターを養成して、支援にあたる体制を構築中である。その取り組みを通して、カップル成立組数を増やしていきたい。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	1 明日を担い未来へつなげる人づくり								
施策	4 出合いを求める若者の応援								
到達目標	出合いを求める人たちが「自分に合う」方法で幸福をつかむことができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 関係機関を通じて、企業や事業者等の協力を得ながら職域相互の若者交流等、若者が気軽に会えるイベントや交流機会の創出を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントでふるさと創造会議や市内事業所等と連携して開催				・ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催			
	経費(千円)	委託費に含む				委託費に含む			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職域交流年間事業数(回)		目標		1	1	1	1	1	2
		実績	0	5	1	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 会議所との連携による。加西市の規模であれば1回が妥当であるため。		目標数値の達成度	単年度	500%	100%	400%			
			最終年度	250%	50%	200%			
H29取組状況	加西市出逢いサポートセンターの婚活セミナー、婚活イベントを、加西市商工会議所青年部と連携した開催しました。								
課題と今後の取組	引き続き、商工会議所と連携し、登録者を増やし、またイベントの周知の協力をさせていただきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	400%	200%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	ふるさと創造会議、市内事業所等とコラボした婚活イベントの開催			・同左				
	経費(千円)	委託費に含む			委託費に含む				
備考									
加西市出逢いサポートセンターが開催するイベントとして、ふるさと創造会議や市内事業所などと共催して、地域ぐるみで婚活事業を取り組む。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 義務教育9年間を見通した小中連携強化及び小中一貫教育に対応した学習指導計画を推進し、保幼小、小中連携を強化します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムの検討・作成 ・小中連携教育研修講座の実施 				<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施 			
	経費(千円)	1,352				1,060			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数【5-82】		目標		1	1	1	2	3	3
		実績	—	1	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 保幼小中連携強化に係る合同研修会の年間開催数を示し、当初値から3倍を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	33%	33%	33%			
H29取組状況	全4中学校区において、小中連携教育推進委員会及び部会での協議を基軸にした合同研修会や相互授業参観、さらには、小小もしくは小中合同授業・合同交流会が実施されるなど、小中連携教育が積極的に推進されました。								
課題と今後の取組	小中連携の9年間のカリキュラム作成等により、小中連携プランに基づく取組を充実させていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランに基づく取組の充実 ・9年間のカリキュラムに基づく取組の充実 ・保幼小中連携教育研修講座の実施 			<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携推進プランの見直し ・9年間のカリキュラムの見直し ・保幼小中連携教育研修講座の実施 				
	経費(千円)	1,060			1,060				
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 小中教員の連携、外国人語学指導助手(ALT)の増員により、小中学校の外国語教育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人語学指導助手配置事業 小学校6年間における外国語活動実施事業 幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 				・同左			
	経費(千円)	24,496				24,302			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
外国語指導助手の配置人数		目標		6	6	6	6	7	7
		実績	6	6	6	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) H32年度から全面实施される小学校における外国語の教科化に伴い、小学校への派遣講師を1名増やし充実にあてる。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	86%	86%	86%			
H29取組状況		<ul style="list-style-type: none"> 業務委託及び市直接雇用で計6名のALTを確保し、小中学校における英語科や外国語活動の充実を図りました。 小中連携の視点からは、外国語活動及び英語科における相互授業参観や教員研修の充実を図りました。 小学校においては、1~4年生に10時間、5,6年生に35時間ALTにおける外国語活動を行い体験的な理解を深めました。 幼児園やこども園、特別支援学校、公民館活動及び夏期休業中の「kasai英語村サマーキャンプ」へALTの派遣を行い、幅広い外国語教育の展開を具現化しました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 小学校外国語の教科化を見通して、小学校教員の外国語活動における指導力の向上を図るための研修を充実させます。 小学校1年生から言語や文化についてさらに体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。 幼児園、こども園、特別支援学校及び公民館等でのALTの派遣は効果があり、事業内容の拡大とさらなる充実を推進します。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 外国人英語指導助手配置事業 小学校6年間における外国語活動実施事業 幼稚園、幼児園および社会教育分野への外国人語学指導助手配置事業 			・同左				
	経費(千円)	24,446			24,446				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 情報端末の整備により、子どもたちの情報活用力を向上させます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・中学校 教育用パソコン更新				※リース			
	経費(千円)	37,181				42,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教育用PC更新済校数		目標		2	8	12	13	16	18
		実績	—	2	8	12			
(指標及びH32目標値の設定理由) リース更新年により決定		目標数値の 達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	11%	44%	67%			
H29取組状況	4中学校(北条・善防・加西・泉)の教育用ICT機器の5年リースが完了したことに伴い、最新のICT機器・ソフトウェア等を選定した上で新たな5年リース契約を結び、情報教育の環境整備を行いました。								
課題と今後の取組	教育用ICT機器は、これまで5年ごとの更新サイクルとしていましたが、これを8年に変更することとしました。この変更は、現状の稼働率及び機器寿命などの状況を総合的に勘案して見直しを行ったものです。 ※次回の教育用ICT機器更新…H33年度(予定)								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	※リース			※リース				
	経費(千円)	42,000			42,000				
備考									
教育用ICT機器は、これまで5年ごとの更新としていましたが、これを8年に変更します。この変更は、現状の稼働率及び機器寿命などの状況を総合的に勘案して見直しを行ったものです。 ※次回の教育用ICT機器更新…H33年度(予定)									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西の風土、文化、自然を活かした環境教育カリキュラムの実施や関係団体との連携を深めていきます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施				・同左			
	経費(千円)	1,852				1,942			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
小中学校での体験型環境教育の年間時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	8	8	10	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 1校あたりの年間授業時数を示すもので、数値設定のみならず、学習内容の充実を図ることをねらいとする。		目標数値の達成度	単年度	80%	100%	100%			
			最終年度	80%	100%	100%			
H29取組状況	各校の状況に応じて、地元人材や専門家の協力を得ながら、河川の調査、校区の特性を生かした里山体験、希少生物の観察・調査、稲作等の農業体験などを通して、自然の不思議さやすばらしさを実感した学習を展開することができました。特に、小学校全校で「あびき湿原」を中心として、加西市の自然について環境学習に取り組み、ふるさとの環境について考えることができました。また、九会小学校区では、地域人材・地域の自然等を活用し、教材として学校全体で人・地域とつながる研究を進めるなど、新たな取組がありました。								
課題と今後の取組	小学校においては、すべての学校において3年生を中心として「あびき湿原」での環境体験学習の取組を継続させていきます。中学校においては、理科を中心とした教科学習の範疇での環境学習を継続しています。今後は、これまでの実績を継続しつつ、さらに小中のつながりがある学習や校区の実態・特性に応じた教材やカリキュラムの作成に関し、継続して計画を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・各校における環境体験学習の実施 ・小学校における「あびき湿原環境学習」の実施			・同左				
	経費(千円)	1,942			1,942				
備考									
「あびき湿原環境学習」の実施について、当初、小学校及び中学校で実施すると計画していましたが、小学校のみ実施することに変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 個々の能力に応じた特別支援教育の充実を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議 			・同左				
	経費(千円)	129			185				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
特別支援教育担当者や特別支援教育コーディネーター等を対象とした研修の年間開催数		目標		3	4	4	5	5	5
		実績	—	3	4	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標: 専門研修の開催数 目標値設定理由: 校内支援体制の充実		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	60%	80%	80%			
H29取組状況	特別支援教育コーディネーター研修を2回、特別支援教育に関わる教員とコーディネーターとの合同研修会を1回、さらに幼保こども園の特別支援教育コーディネーターも参加してのネットワーク会議を含め、4回の研修会を行いました。インクルーシブ教育システム構築に向けた各学校の具体的な取組、特別支援学級の教育課程や個別の教育支援計画、指導計画等について研修や情報交換を行い理解を深めることができました。管理職のリーダーシップのもと、校内支援体制も整いつつ、福祉等の関係機関との連携もスムーズに進んでいます。								
課題と今後の取組	加西特別支援学校のセンター的機能の活用や特別支援教育担当者や特別支援学級担任、特別支援教育コーディネーターを中心とする研修会の実施により、市内全ての学校における特別な支援の必要な児童生徒に対する適正な教育がなされています。さらに各学校間での情報交換や情報共有の場を多く持つために、研修会の開催数の増加と内容の充実を図ります。今後の課題と取組としては、校内支援体制のさらなる充実や切れ目のない支援体制の整備に向けて、市内の資源を活用し各関係機関との連携をさらに進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	80%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター部会 ・特別支援教育担当者及び特別支援教育コーディネーター、特別支援学級担任合同研修会 ・特別支援教育コーディネーターネットワーク会議 			・同左				
	経費(千円)	185			185				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 総合教育センターを活用し、校種間研修講座の増加と各種間の連携強化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 				・同左			
	経費(千円)	1,075				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①総合教育センターにおける年間研究講座数	目標			15	39	40	40	40	40
	実績		10	36	43	45			
(指標及びH32目標値の設定理由) 総合教育センターが主催する研修講座の年間開催数を示し、教育課題から内容回数を設定		目標数値の達成度	単年度	240%	110%	113%			
			最終年度	90%	108%	113%			
②★校内研修の実施回数(月あたり回数)【5-86】	目標			3	3	3	3	3	3
	実績		—	3	3	3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内小中特別支援学校の校内研修の実施回数(月あたり)を示し、各月週1回開催をもとに設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のキャリアステージやニーズに応じた研修内容を検討し、38コース45講座を実施しました。 ・研修内容や講師については、兵庫教育大学や県立教育研修所など関係機関と連携し、研修講座がより充実したものとなるようにしました。 ・英語や道徳の教科化に向けた研修をはじめ、小中合同の研修を実施しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の分析結果や考察を踏まえ、加西市の小・中学生の学力向上を推進するための効果的かつ実践的な指導方法についての研修を実施します。 ・校種間連携強化のための先進的な取組を導入した研修を実施します。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	113%	113%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 			<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携教育推進委員会開催 ・小中連携教育研修講座の開催 ・小中合同研修講座の開催 ・特別研修講座の開催 				
	経費(千円)	1,000			1,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★特色のある部活や教室を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導者研修会の実施 部活動外部指導者の活用 部活動ガイドラインの点検評価 				・同左			
	経費(千円)	1,099				1,603			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★部活動の指導者研修会の実施数【5-85】		目標	—	—	1	1	3	3	3
		実績	—	—	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 総合教育センターとの連携により、職員研修の一環として講座を開設する		目標数値の達成度	単年度	—	100%	100%			
			最終年度	—	33%	33%			
H29取組状況		<ul style="list-style-type: none"> 加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための検討委員会を12月に開催し、一部修正を行いました。 総合教育センターと連携して、部活動指導者研修講座を8月に開催しました。 部活動外部指導者を3名任用しました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 総合教育センターと連携して部活動指導者研修講座を継続して実施し、合わせて兵庫県教育委員会策定する「いきいき運動部活動(4訂版)」の周知のための研修会を開催する予定です。 部活動外部指導者の活用を一層促進し、部活動の活性化、顧問教師の負担軽減を図ります。 加西市中学校部活動ガイドラインの見直しのための検討委員会を8月に開催する予定です。 土曜チャレンジ学習の充実に向けて、総合教育センターと連携を図ります。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 部活動指導者研修会の実施 部活動外部指導者の活用 部活動ガイドラインの点検評価 			・同左				
	経費(千円)	1,603			1,603				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	5 特色ある教育								
到達目標	次世代を担う子どもたちが連続する義務教育の9年間を通して、自らの夢や志を実現できる学校をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★地元高校の活性化を支援します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援(アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)				・同左			
	経費(千円)	9,248				10,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★アフタースクールゼミ受講者年間延べ人数【5-87】		目標		400	420	440	460	500	500
		実績	—	416	406	631			
(指標及びH32目標値の設定理由) 北条高校活性化協議会の柱となる取組みであるアフタースクールゼミの参加者数を示すもので、年々延べ20人増えると想定。		目標数値の達成度	単年度	104%	97%	143%			
			最終年度	83%	81%	126%			
H29取組状況	平成29年度当初より河合塾によるゼミを「受験コース」、兵庫教育大学の学生を講師としたゼミを「基礎コース」を開設し、よりきめ細やかな学習支援を行いました。								
課題と今後の取組	平成30年度入学の志願状況において、残念ながら普通科、人間創造コースともに定員割れの倍率でした。また、平成30年度大学入試においては、国立大学、私立大学合格者数は昨年度と比べても減少してしまいました。今後は基礎コースを全体的な学力底上げの受け皿としつつ、受験コースをより受験に特化した内容のものとし、国公立大学の合格者数の増加を図り、北条高校の生徒確保及び活性化を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	143%	126%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)				H32 (予定額)			
	取組内容	・北条高校活性化協議会への支援(アフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、兵庫県教育委員会への要望活動)				・同左			
	経費(千円)	10,000				10,000			
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 すべての小中学校の旧耐震施設の耐震化を完了させた後は、避難所としての機能回復や教育環境改善を継続します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	※耐震化完了				※耐震化完了			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①学校耐震化率(鉄筋コンクリート・鉄骨造)		目標	—	100	—	—			
		実績	58	100	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—			
			最終年度	100%	100%	100%			
②学校耐震化率(木造)		目標	—	100	—	—			
		実績	0	100	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—			
			最終年度	100%	100%	100%			
③学校施設における太陽光発電容量(kw) 【5-84】		目標	—	197	—	—			
		実績	10	197	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	—								
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	③完了	—	—	100%	B: 目標を達成	①完了			
	③完了	—	—	100%					
③完了	—	—	100%						
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	※耐震化完了			※耐震化完了				
	経費(千円)	—			—				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★学校施設の改修工事を計画的に行い、長寿命化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・富田小体育館、日吉小北校舎、宇仁小体育館、北条中北校舎・武道場、特別支援学校プールの改修工事、加西中学校プール改築工事				・特別支援感覚学習室・体育館、加西中職員トイレ棟			
	経費(千円)	179,911				79,900			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
改修工事の完了棟数		目標		—	—	6	10	11	13
		実績	—	—	—	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 建築年度により計画棟数を設定		目標数値の達成度	単年度	—	—	17%			
			最終年度	—	—	8%			
H29取組状況	富合小北校舎トイレ整備 善防中プール濾過装置更新・加西中プール改築・泉中プール塗装改修 加西特別支援学校プール設備改修								
課題と今後の取組	昭和56年以前に建築された建物は耐震化工事に合わせて、平成27年度までに改修を完了しました。しかし、昭和56年以降に建設された建物は、改修を行っていない為、老朽化が進んでおり計画的な改修が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	17%	8%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・日吉小北校舎、富田小体育館、賀茂小北校舎、宇仁小体育館、北条中武道場			・富田小北校舎、善防・加西中武道場				
	経費(千円)	143,350			154,900				
備考									
事業実施計画により、取組内容を変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	6 安全安心で潤いのある学校								
到達目標	小学校1年生から中学校3年生までの連続性を意識した学校整備を行い、安心して学べる緑豊かな教育環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ★南部学校給食センターの改築を行い、単独調理場の統廃合を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	教育総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・実施設計			・改築工事				
	経費(千円)	11,792			796,776				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
単独調理場数【減少指標】		目標		3	3	3	3	0	0
		実績	—	—	—	3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 南部給食センターH29設計、H30建設工事、H31解体工事 H31に単独調理場統合		目標数値の達成度	単年度	—	—	100%			
			最終年度	—	—	0%			
H29取組状況	南部給食センター改築工事の実施設計を作成しました。								
課題と今後の取組	単独調理場施設が、建設より28年を経過しており、南部給食センターの早期完成により統合する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	0%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・既設建築物解体工事			—				
	経費(千円)	12,120			—				
備考									
平成30年度より建設に着手します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ゲストティーチャー等の活用により地域全体で学校の支援に取り組みます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業				・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業			
	経費(千円)	1,572				1,650			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ゲストティーチャーの延べ人数【6-93】		目標		380	385	390	395	400	410
		実績	380	380	385	390			
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標:ゲストティーチャーの延べ人数 目標値設定理由:地域に開かれた学校づくり		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	93%	94%	95%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動の場面において、小・中・特別支援学校が地域の人材を活用し、児童生徒の生きる力の育成とふるさと意識の醸成を図っています。 ・平成29年度より、小学校外国語活動において新たに地域人材の活用をはじめました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を精査し、地域人材をゲストと-チャーとして活用できる場面を積極的に増やしていきます。 ・ゲストティーチャーに限らず、教師の業務改善につながる地域人材の活用についても推進します。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	95%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西学校づくり応援事業 ・環境体験事業			・同左				
	経費(千円)	1,650			1,650				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 小中学校内に地域の住民が立ち寄れる広場を設け、地域との交流を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・学校支援地域本部事業				・学校・家庭・地域の連携協力推進事業			
	経費(千円)	1,264				4,882			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
校内交流広場設置数		目標		16	—	—			
		実績	11	16	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内の小中特別支援学校の校内交流広場設置数を示し、全校設置を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	—	—			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	ワッシュヨイスクール事業を展開している全小学校においてメンバーの部屋が設置されています。また、市内全学校において地域住民が訪問し学校教育を支援できる環境が整うとともに、交流の場としての機能を果たしています。								
課題と今後の取組	コミュニティーROOMの設置など、地域の交流の場となることが期待される中、地域住民にどのように周知していくのが課題です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	③完了	—	—	100%	B: 目標を達成		①完了		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・学校・家庭・地域の連携協力推進事業			・同左				
	経費(千円)	4,882			4,882				
備考									
過年度の実績をもとに、経費を事業内容に合った金額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	2 郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり								
施策	7 地域に開かれた学校づくり								
到達目標	学校が家庭や地域との連携を強化し、子どもたちとの活動や体験の場を共有できる開かれた学校づくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 学校評議員制度やオープンスクール等を通して地域に信頼される学校づくりを推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催				・同左			
	経費(千円)	306				288			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
オープンスクール年間開催数(1校あたり)		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	—	10	10	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 1校あたりのオープンスクールの開催回数を示しており、当初値から1.5倍増で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	91%	83%			
			最終年度	67%	67%	67%			
H29取組状況		・各校で学校や地域の実態に合わせ、様々な工夫をしながらオープンスクールを実施していますが日数を増やすことは難しい状況です。							
課題と今後の取組		・日数を増やすことだけでなく、今後はすでに例年行っている実施日の内容を充実させたり、広く地域に周知できる方法を検討し、地域に信頼される学校づくりにつなげていきます。 ・オープンスクールに参加してくださった保護者や地域の方々からの意見や感想を、各校の特色ある取組みにつなげる努力をします。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	67%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・オープンスクールの実施 ・学校評議員会の開催			・同左				
	経費(千円)	288			288				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 各機関と連携して、生産者等を対象とした公開講座を開催します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 				<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 			
	経費(千円)	100				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①「かさい農業塾」の年間開催回数【4-65】		目標	1	1	1	2	2	3	
		実績	0	1	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 主要作物毎に塾の開催を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	33%	33%	33%			
②★大学等連携による農業分野での地域活動年間件数【3-60】		目標	1	1	2	2	2	2	
		実績	—	1	2	3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 現行の取り組み以外に学生と密に交流できる取り組みを行う。		目標数値の達成度	単年度	100%	200%	150%			
			最終年度	50%	100%	150%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西農業塾として青年農業者のつどいを開催。農業経営に関する講演会と交流会を開催しました。 ・神戸大学食資源センターと九会小学校の連携による柿収穫体験を実施しました。 ・神戸大学食資源センターの青空教室開催に際して、連携して告知を行いました。 ・ブランド協議会が推進する冬かぼちゃダークホースの栽培に播磨農高も参画し、生産者との情報共有を図りました。 								
課題と今後の取組	継続した取り組みにするための関係者どうしの結び付き強化が課題であり、今後更にマッチングを推進することにより、各機関が自発的に地域住民と交流できるよう促していきたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成		②継続		
②	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	150%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・かさい農業塾の開催 ・神戸大学での小学生柿収穫体験 ・学術研究機関と連携した地域活動 			・同左				
	経費(千円)	100			100				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 生産、加工、販売の一体的な6次産業化に向け、講座や研修の充実を図り、起業者への支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産推進				・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産及び加工推進			
	経費(千円)	500				2,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★高付加価値品種育成数【2-46】		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	—	1	3	3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西ブランド協議会の取り組みに加え、JAによる産地形成の取り組みに協力する。		目標数値の達成度	単年度	50%	150%	150%			
			最終年度	33%	100%	100%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・加西ブランド協議会による冬かぼちゃダークホース栽培において、販売量が前年比144%でした。 ・JA兵庫みらいぶどう部会が推進する大粒系ブラックビートの市場出荷(2年目)を行い、前年比282%でした。 ・JA兵庫みらいが特産化を目指すアスパラガスは、取り組み初年度として7生産者が参画しました。 								
課題と今後の取組	ブランド化や特産化については、規模拡大とともに品質の均一化が大きな課題となります。生産者及び関係者の理解の下、長い年月と地道な努力が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・特産品普及推進(加西ブランド協議会委託) ・アスパラガスの生産及び加工推進			・同左				
	経費(千円)	2,500			500				
備考									
アスパラガスの特産品化をJAと連携して進めるため、パイプハウスの整備補助を行う。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 新規就農希望者への研修受入制度や市民農園利用について、全国的なPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農の受け入れ促進				・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会			
	経費(千円)	0				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市民農園年間利用区画数【3-62】		目標		40	50	60	60	70	70
		実績	—	43	46	43			
(指標及びH32目標値の設定理由) H28~30は西笠原による増。H31以降は新たな園による増を想定。		目標数値の達成度	単年度	108%	92%	72%			
			最終年度	61%	66%	61%			
②★新規年間就農者数【2-47】		目標		1	2	2	2	2	2
		実績	—	3	5	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎年2名以上の就農認定を想定。		目標数値の達成度	単年度	300%	250%	0%			
			最終年度	150%	250%	0%			
H29取組状況	・市民農園については、H28に開設された西笠原市民農園の告知を推進しました。 ・新規就農支援については認定案件は無かったものの、新たに新規就農促進協議会を設立して募集イベントへの参加数を増加させ、H30以降の就農者増に繋がる取り組みを行いました。								
課題と今後の取組	市民農園については、関係機関へのPRだけではなく、都市農村交流に係る多様な取り組みを通して様々な媒体を使ったPRが必要であると考えています。新規就農支援施策の全国的なPRを行うため、新たに設立した協議会を中心に推進を図っていく予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	72%	61%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・市民農園の設立支援 ・新規就農促進協議会			・同左				
	経費(千円)	200			200				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 法人の設立と参入を推進するとともに、新規就農希望者の雇用の促進に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 法人化を検討する組織との協議 就農プランに応じた研修誘導 新規就農者への各種補助 				・同左			
	経費(千円)	17,000				17,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①農業法人数	目標			9	9	9	10	10	10
	実績		1	9	9	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 指標は法人化した集落営農組織の数。農業生産法人はこれ以外にも多数あり。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	111%			
			最終年度	90%	90%	100%			
②★加西市就農研修生年間受入者数【2-49】	目標			2	2	2	2	2	2
	実績		—	3	11	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 安定して研修受入から就農に結びつけることを想定。		目標数値の達成度	単年度	150%	550%	300%			
			最終年度	150%	550%	300%			
③★新規就農者支援事業補助金の年間受給者数【2-50】	目標			1	2	2	2	2	2
	実績		—	5	3	3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 就農認定に伴い補助制度の有効活用を図る。		目標数値の達成度	単年度	500%	150%	150%			
			最終年度	250%	150%	150%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 県主催のH28集落営農法人化推進勉強会への積極参加等を促し1団体が法人化しました。 就農研修生については、国「農の雇用事業」「雇用就農者独立支援事業」、県「スタートアップ支援」等を最大限活用して多くの方が研修を受けています。6人の内5人が雇用就農、1人が独立を目指した研修です。 新規就農者の早期の経営安定化に向けて補助制度の有効活用を推進してきました。 								
課題と今後の取組	雇用の安定化に向けた指導ノウハウの蓄積と、家族経営生産者の大規模化及び法人化を推進するための施策が必要であると考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	111%	100%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	300%	300%					
③	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	150%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 法人化を検討する組織との協議 就農プランに応じた研修誘導 新規就農者への各種補助 			・同左				
	経費(千円)	17,000			17,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 認定農業者や農業法人への農地の利用集積を支援し、補助制度を充実します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図り、新たな推進施策の検討				・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充			
	経費(千円)	5,680				13,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
農用地利用権設定面積(ha)		目標		570	300	350	400	450	600
		実績	241	286	290	621			
(指標及びH32目標値の設定理由) 認定農業者と認定就農者の増に伴う設定面積増を図る。		目標数値の達成度	単年度	50%	97%	177%			
			最終年度	48%	48%	104%			
H29取組状況	基盤法に基づく農地利用権設定による集積に加え、農地中間管理事業を通じた担い手への集積を推進しました。(基盤法による集積 287ha、農地中間管理事業による集積 334ha) また、認定農業者や集落営農組織への支援として、担い手育成施設整備支援事業を拡充しました。								
課題と今後の取組	集落営農組織や認定農業者が存在する地域とそうでない地域の集積率の差、また集落営農組合員の高齢化が著しい集落など、地域ごとに抱える問題は多くあります。担い手となる農業者への支援、新規就農者の育成に一層注力し、効率的かつ持続性のある地域農業を目指し集積を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	177%	104%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・認定農業者ならびに農業法人による利用集積の加速を図るため、担い手育成施設整備支援事業の拡充			・同左				
	経費(千円)	13,000			13,000				
備考									
農地利用集積促進補助金の廃止に伴い、担い手育成施設整備支援事業の拡充を図り、経費を13,000千円に増額したものです。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 多様な農家が共存し、安心して住み暮らせる共同体による農村環境を整備します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地維持活動 110組織 共同活動 109組織 長寿命化活動 108組織 				・同左			
	経費(千円)	290,000				290,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
多面的機能支払交付金事業への参加団体数		目標		110	110	110	110	110	110
		実績	—	110	110	110			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内全域の農地を地域住民が管理していく仕組み作りのため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	多面的機能支払交付金事業において、農地・農業用水等の資源と農村環境の保全活動及び農業用施設の長寿命化のための取り組みとして、農地維持活動110組織、資源向上(共同)活動109組織、資源向上(長寿命化)活動108組織が事業を行いました。								
課題と今後の取組	現状、殆どの組織が多面的機能交付金事業に取り組んでいるので、事業完了予定の平成30年度までは維持継続し、平成31年度以降も継続できるよう努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 農地維持活動 110組織 共同活動 109組織 長寿命化活動 108組織 			・同左				
	経費(千円)	290,000			290,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★ICTを活用した施設園芸の普及に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・運営の安定化・ICTの普及			・大規模農業施設支援事業				
	経費(千円)	7,994			17,097				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★施設園芸新設数【2-48】		目標		1	1	1	1	2	2
		実績	—	1	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 大規模施設園芸の開設数 投資規模(1億円以上の投資)により設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	0%	0%			
			最終年度	50%	0%	0%			
H29取組状況	IT技術を活用した施設園芸を目指す生産者への設備補助を行いました。(ただし、投資予定は1億円未満。)								
課題と今後の取組	大規模施設園芸のみに拘らず、新技術の裾野を広げていくための取り組みを推進していきます。一方、味に拘り土耕栽培を行ってきた「加西とまと」「加西いちご」等の生産者が加西産農産物のブランドを作り上げてきました。両者のバランスを考えながら相乗効果を出せるような方向性が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・大規模農業施設支援事業			・同左				
	経費(千円)	17,097			17,097				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	8 裾野の広い農業の育成								
到達目標	様々な形態、様々な世代の住民が、農作物の栽培、収穫、加工、販売等に携わり、加西の農業が裾野の広い一大産業として盛んに営まれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★「食と農」に関連する分野等の大学のサテライトキャンパスを加西市へ誘致します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・調査研究				・調査研究			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★サテライト機能の具体化(大学数)【3-59】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) サテライトキャンパス機能を加西市に有する 大学数が指標として最適である。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と 今後の取組	先進的に取組んでいる事例研究等を行いながら、神戸大学の食資源センターとの連携も含め加西市に即した形態のサテライトキャンパスの誘致について引き続き検討を行うこととします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・誘致協議			—				
	経費(千円)	0			—				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地元農産物を食材利用する事業者を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進			・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。				
	経費(千円)	500			500				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西産農産物提供店舗数【4-66】		目標		4	15	15	15	20	20
		実績	—	12	12	12			
(指標及びH32目標値の設定理由) 地元産の食材を使用した加西カレーのPR・販売推進と新たな特産品開発を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	300%	80%	80%			
			最終年度	60%	60%	60%			
H29取組状況	平成28年度に引き続き、加西ブランド協議会スタンプラリー参加店によるメニュー提供を継続しました。								
課題と今後の取組	加西産農産物を利用している飲食店は数多く存在するはずだが、それを公表、PRIに活用している店舗は少ない。観光まちづくり協会との連携を強化して、集客材料となるよう誘導していきたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	80%	60%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西ブランド協議会及び加西市観光まちづくり協会と連携した取り組み推進。			・同左				
	経費(千円)	500			500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 地元農産物の学校給食への提供等、地産地消事業を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・教育委員会、生産者間の調整 ・学校における食育授業の推進				・同左			
	経費(千円)	1,480				1,480			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内小中学校における食育授業の時間数		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	—	10	10	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 現場で体感体験することが食育上最も効果が高いと考える。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	学校給食は、JA直売所会員生産者が栽培した加西産農産物(キャベツ、だいこん、ジャガイモ、根日女みどり等)を提供しました。また、食育授業は、加西とまと出荷組合、神戸大学、JA、地域の農業者等との連携により推進しました。								
課題と今後の取組	生産量の不足により、指定日に指定量が揃わずキャンセルせざるを得ないことがあります。また直売所会員も高齢化及び新規会員の不足によって、供給量が伸びません。農業全体の問題と同様に担い手をどう確保していくかが大きな課題となっています。また、児童生徒の地元産野菜への理解を深めるため、生産者と直接繋がる食育授業の機会を増やしていきたいと考えています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・教育委員会、生産者間との調整 ・学校における食育授業の推進			・同左				
	経費(千円)	1,480			1,480				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 地域ビジネス講座を拡充します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾 				・同左			
	経費(千円)	1,500				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等(億円)【2-52】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487			
(指標及びH32目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10%程度増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	104%	101%	98%			
			最終年度	94%	95%	93%			
H29取組状況	商工会議所と連携を図り、商工業の振興と地域経済の活性化を目指して、各種ビジネス講座を開講しました。モノづくり実践力強化セミナー(「≪製造業向け≫基礎から学ぶBtoBで儲かるネット活用の本当のところ」、かさい創業塾、経営計画作成支援、第二創業、金融相談、IT化支援等の専門家派遣を行いました。								
課題と今後の取組	本事業については、平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターと連携し拡充して実施していきます。地域ビジネスのあり方、その必要性について検討し、その時々課題やテーマに即した役立つビジネス講座を開講していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	93%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりセミナー等 ・国・県・市の支援制度紹介セミナー等 ・補助金申請手続き等 ・創業塾 			・同左				
	経費(千円)	1,500			1,500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 加西喝采みやげのブランド化を進め、イベントへの出展や各販売所での販売の促進に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・物産展に積極的に参加し、加西産品をPRするとともに、市内外での取扱い店舗を増やしていく。				・市内外での取扱店舗増のため、物産展への積極的参加により加西産品をPR ・JAFイベントへの参加			
	経費(千円)	860				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西産品の販売店舗数		目標		35	37	39	41	43	45
		実績	27	30	30	36			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西産品を商品・食材として販売し、PRしている小売店舗数をH32に10店舗増とする。		目標数値の達成度	単年度	86%	81%	92%			
			最終年度	67%	67%	80%			
②★PRブース年間開設数【3-57】		目標		12	13	14	15	17	17
		実績	—	12	13	13			
(指標及びH32目標値の設定理由) 物産展に参加し、加西産品を販売した回数をH32に5回増とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	93%			
			最終年度	71%	76%	76%			
H29取組状況	JAFとの観光協定により、12月にJAF主催イベント(大阪南港)に新規出展。 JAFプレゼント企画に出品を行うことで広くPRを行った。								
課題と今後の取組	集客の多いイベントへの出展。 加西SAIに加西産品を通年においてもらえるような取組。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	92%	80%	C: 目標を下回っている	③見直し			
②	②実行中	B: 予定より遅延	93%	76%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・サービスエリアなど店舗やイベント等で活用できるブースパッケージのデザイン及び作成 ・JAFイベントへの参加			・加西喝采みやげを活用できるようPRチラシの作成等 ・作成したブースパッケージを活用したPRブースの設置 ・JAFイベントへの参加				
	経費(千円)	500			500				
備考									
H31 加西喝采みやげをわかるようにブースパッケージを作成して、PR強化を行う									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ポイントカード事業、ネットモール運営事業を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業、ネットショップ事業				・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業			
	経費(千円)	12,439				13,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額(億円)		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	732			
(指標及びH32目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	102%			
			最終年度	89%	94%	98%			
H29取組状況	ポイントカードや市内共通商品券の発行し市内消費の喚起に努めました。また、市内の事業者を紹介する情報誌「たまり場」を作成し、市内外に配布することで市内の商店のPRに努め、活性化に取り組みました。また、商業活性化のための講演会「まちの元気は商業から！商店街再生プロジェクト～日南市油津商店街の奇跡～」を開催しました。								
課題と今後の取組	ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業やプレミアム付市内商品券事業の支援については、市内商業活性化に寄与していると考えられます。今後は、急速な人口減少により縮小するマーケットを補完するため、さらに効果的な事業運営を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	98%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ポイントカード事業、住宅リフォーム助成事業、プレミアム付市内商品券事業			・同左				
	経費(千円)	13,000			13,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 中小企業事業資金融資制度の見直しと拡充を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給 				・同左			
	経費(千円)	211,883				196,578			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
製造品出荷額等(億円)【4-67】		目標		2,420	2,480	2,540	2,600	2,662	2,662
		実績	2,538	2,514	2,516	2,487			
(指標及びH32目標値の設定理由) 工業力の指標となる数値で、現状値から10% 程度増加を設定。		目標数値の 達成度	単年度	104%	101%	98%			
			最終年度	94%	95%	93%			
H29取組状況	中小企業制度融資について、中小企業支援対策として市が0.4%を利子補給した。また信用保証協会保証料の20%を市が負担しました。平成29年度の中小企業事業資金融資の状況は、実行融資額37件・197,860千円、セーフティネット保証制度による中小企業信用保険法第2条第4項に規定する5号認定を10件行いました。								
課題と今後の取組	他市町及び県の制度の動向等をみながら、創業支援メニューの開発等、制度のあり方を研究していきます。また、金融機関と調整会議を開催し、ニーズの把握に努めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	93%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業事業資金融資制度 ・保証料負担 ・利子補給 			・同左				
	経費(千円)	196,578			196,578				
備考									
平成29年度の融資実績からH30年度当初予算要求額を試算するため減額した。 ※実績値は推定値のため、実績値を把握次第修正します									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならではの」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 地元企業も進出しやすい新規産業団地を整備するとともに、市内企業の拡張の支援に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課、大型プロジェクト推進室			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	(新産業団地関係) ・整備手法等について、県関係課と協議 ・市街化区域編入(一部)手続き (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用			(新産業団地関係) ・各種法令手続の開始 ・加西インター周辺地区新産業 団地基本設計及び実施設計 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計 画制度の活用				
	経費(千円)	16,846			10,500				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内総生産(名目)【2-39、4-68】		目標		1,931	1,940	1,950	1,960	1,980	1,980
		実績	1,819	1,835	1,969	未発表			
(指標及びH32目標値の設定理由) H23年度の1,796億円から10年間で10%増を目安として設定		目標数値の達成度	単年度	95%	101%				
			最終年度	93%	99%				
H29取組状況	(新産業団地) ・整備手法等について、県関係課と協議しました。また、整備対象となる土地の地権者に対する説明会や個別交渉を行いました。 ・農業振興地域の除外などの産業団地造成に必要な環境整備を進めるため、県関係課と協議しました。								
課題と今後の取組	(新産業団地) ・民間事業者による開発も含め、引き続き、様々な整備手法等について検討するとともに、県関係課と協議します。また、地権者に対して個別交渉を続けるとともに、各工区の土地交渉状況を報告します。 ・引き続き、産業団地造成に必要な環境整備を進めるとともに、基本設計等の事務手続きを行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	未発表			B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	(新産業団地関係) ・各種法令手続き許認可 ・用地取得 ・工事着手 (市内企業の拡張の支援) ・特別指定区域制度及び地区計画制度の活用			・工事 ・分譲				
	経費(千円)	0			0				
備考									
H29 実績値については、現時点では公表されていないため未記入(H31.01頃速報値が発表される予定)									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり							
施策	9 地域資源を活用した産業振興							
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	8 宿泊施設の充実とホテルの誘致を推進します。							
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・建築工事 ・開業				—		
	経費(千円)	0				—		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	H31
★ホテル設置数		目標	—	—	1	1	1	1
		実績	—	—	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 宿泊施設誘致による市内へのホテル設置数。 1カ所を目標に設定。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	0%		
			最終年度	—	—	0%		
H29取組状況	誘致したビジネスタイプの宿泊施設の建設工事が、安全及び順調に進むよう、事業者と事業用地周辺住民、関係各所との調整を行いました。鉄筋コンクリート造、地上9階建て、客室152室。							
課題と今後の取組	当初、H29年度内の完成・オープン予定であったが、設計の遅れ等により工事着工が遅れ、H30年秋のオープン予定となりました。工事完了及びホテル開業までスムーズに運べるよう取り組みます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)			
	取組内容	—			—			
	経費(千円)	—			—			
備考								

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	9 地域資源を活用した産業振興								
到達目標	農産物や技術力等の多様な資源を活かした「加西ならでは」の産業が発展し、元気印の企業や商店、農業従事者がヒト・モノ・カネの循環を活性化させる加西ブランドをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★魅力ある商業施設の誘致を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
卸売業・小売業年間販売額(億円)【3-56】		目標		700	710	720	735	750	750
		実績	493	667	707	732			
(指標及びH32目標値の設定理由) 商業力の指標となる数値で、年間10億円程度の増加を設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	100%	102%			
			最終年度	89%	94%	98%			
H29取組状況	事例集や事業者へのヒアリングを行うなど、商業施設誘致についての調査・研究を行いました。								
課題と今後の取組	引き続き、調査・研究を行い、商業施設の誘致を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	98%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・商業施設誘致についての調査研究			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 新卒者等若者へ多様な媒体を通じて魅力ある市内企業就職情報を提供します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・日経就職ナビ ・合同就職面接会 				<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in 			
	経費(千円)	1,800				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①若者の加西市残存定住率		目標		73	75	76	77	80	80
		実績	73	74	75	74			
(指標及びH32目標値の設定理由) 大学就学前の若者が10年後に加西市に残存する率。年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	101%	100%	97%			
			最終年度	93%	94%	93%			
②★勤労者の定住促進による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-37】		目標		42	43	44	46	50	50
		実績	—	41	43	42			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所で働く従業員が市内に居住する割合。年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	100%	95%			
			最終年度	82%	86%	84%			
H29取組状況	<p>兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、関係機関と連携して若者への就職支援に取り組みました。 兵庫県、大阪府、京都府の市内出身者の多い14大学を訪問し、Uターン、Iターンの推進に努めました。 加西市雇用開発福祉協議会、ハローワーク西脇と連携を図り、合同就職面接会を開催しました。 加西市雇用開発福祉協議会と連携を図り、就職ポータルサイトに市内の企業情報や採用情報を掲載しました。</p>								
課題と今後の取組	<p>全国的な人手不足により、地方の中小企業の人材確保が厳しい状況にあります。大学訪問や様々な媒体による市内企業のPRに努めていきます。また、ハローワーク西脇と協力して、新たに加西市内で就職面接会を実施します。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	97%	93%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	95%	84%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大学訪問 ・加西市就職ナビ ・合同就職面接会 ・加西企業ガイドブックFit in 			・同左				
	経費(千円)	1,800			1,800				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 働きたい仕事が見つかるよう求人情報を通勤手段別に整理し、情報量や提供範囲を広げて利用機会を高めめます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 			
	経費(千円)	8,725				9,623			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさとハローワークにおける就職者数		目標		568	620	640	660	680	700
		実績	—	600	506	565			
(指標及びH32目標値の設定理由) ふるさとハローワークからの紹介による就職者数。年間20名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	82%	88%			
			最終年度	86%	72%	81%			
H29取組状況	<p>兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、求職者の就職支援に取り組みました。</p> <p>小学生の親子を対象に夏休み産業観光ツアーを開催し、子どもたちに「市内のモノづくり優良企業」への興味や関心を高めてもらい、将来の加西への定住促進を図りました。</p> <p>ふるさとハローワークを運営し、市民の就職の促進と生活の安定を図りました。また、就労支援員による相談を実施しました。</p> <p>利用者と就職件数の増加を目指して、就職支援セミナーを月1回開催しました。</p>								
課題と今後の取組	<p>全国的に求職者が減少しており、それに伴いふるさとハローワークの来所者が減少しました。しかし、ハローワークを通じての就職件数は前年比12.6%増となっており、採用に関して企業側からの非常に高いニーズがある事が想定されます。</p> <p>今後SNSによる情報発信や、区長発送での事業の案内等を通して、利用者の増加を図るとともに、利用者に適したマッチングや就職支援セミナーの充実を図り、就職者の増を目指します。さらに、ハローワーク西脇と連携して、市内事業所を対象としたミニ就職面接会を2か月に1回程度開催し、マッチングの機会増に努めます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	88%	81%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと就職支援事業 ・ふるさとハローワーク運営 ・就職支援セミナーの実施 ・企業訪問事業 ・SNSによる情報発信 			・同左				
	経費(千円)	9,623			9,623				
備考									
平成30年度当初予算要求を減額要求したため									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者が働きたくなる産業の創出、誘致を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用等雇用現況調査 各産業(工業)団地連絡協議会への参加 商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討 				・同左			
	経費(千円)	16				53			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市内企業における住民就労率(%)		目標		35	36	37	38	39	40
		実績	30	36	37	39			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内産業団地において就労する市民の割合を示す数値で、年間1%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	103%	103%	105%			
			最終年度	90%	93%	98%			
②★若者就職支援事業による市内事業所従業員市内居住率(%)【2-34】		目標		42	43	44	46	50	50
		実績	—	41	42	42			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所において就労する市民の割合を示す数値で、年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	98%	98%	95%			
			最終年度	82%	84%	84%			
H29取組状況	産業(工業)団地を含む市内企業を対象に雇用アンケート調査を行い、若年者の新規雇用の状況及び就業形態、労働者の居住地域などの分析を行いました。また県土地開発公社や商工会議所、各産業(工業)団地連絡協議会と連携を図りました。市内雇用を高めるため、各産業(工業)団地や市内企業に対して積極的に住民採用を働きかけました。								
課題と今後の取組	アンケートの調査結果を分析し、新たな定住促進施策を立案していく必要があります。また、施策立案に当たっては、産業(工業)団地連絡協議会と連携を図り、様々なニーズ調査等を行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	98%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	95%	84%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用等雇用現況調査 各産業(工業)団地連絡協議会への参加 商工会議所と連携し、若者が働きたくなるような産業創出を検討 			・同左				
	経費(千円)	53			53				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 ハローワークとの連携を強化し、再就職をめざす女性に情報提供や再就職講座を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 			<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 				
	経費(千円)	900			900				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★就職支援助成年間件数【2-38】		目標		1	2	4	6	10	10
		実績	—	1	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 再就職をめざす女性の講座受講を示す数値で、年間2件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%			
			最終年度	10%	0%	0%			
H29取組状況	<p>兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、子育て女性を対象とした働き方を考えるセミナーを開催しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度を実施しました。</p>								
課題と今後の取組	<p>関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度の利用を図るため、さらなる周知を図るとともに、より利用しやすい制度の検討を行っていきます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている		③見直し		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 			・同左				
	経費(千円)	900			900				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 ★市内企業への高校生の就職を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携				・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所高校新卒正規社員年間採用者数【2-32】		目標		71	75	80	85	100	100
		実績	—	—	72	70			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所による高校生採用人数を示す数値で、年間5名の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	—	96%	88%			
			最終年度	—	72%	70%			
H29取組状況	兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、高校生を含む若者の就職支援を行いました。高校生の職業意識の醸成を図るため、市内県立高校2校の高校2年生を対象に職業講話を実施しました。								
課題と今後の取組	関係機関と連携し、さらに高校生の就職支援に取り組みます。加西市企業ガイドブックFIT IN等を活用し、高校生に対して市内企業情報の提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	88%	70%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・企業訪問 ・ハローワーク等の関係機関の連携 ・市内県立高校での職業講話			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
雇用対策協定に伴う事業追加									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★働く女性の雇用を推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 				<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 			
	経費(千円)	900				900			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★市内事業所女性従業員正社員率(%)【2-33】		目標		43	43	45	47	50	50
		実績	—	41	46	46			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内事業所に勤務する女性従業員のうち正社員の割合。年間2%の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	95%	107%	102%			
			最終年度	82%	92%	92%			
H29取組状況	<p>兵庫労働局と雇用対策協定を締結し、女性の再就職支援に取り組みました。求職者に対する就職支援セミナーを月1回開催するとともに、子育て女性を対象とした働き方を考えるセミナーを開催しました。関係機関との連携により、女性や社会的弱者に対する相談体制を構築しました。出産や子育てのために就業していない女性が就職のために受講する講座の経費の一部を助成する子育てママ就職支援補助制度の案内をしました。</p>								
課題と今後の取組	<p>関係機関との連携により、さらに女性の再就職支援に取り組んでいきます。子育てママ就職支援補助制度は相談者のみで利用につながらなかったため、さらなる周知と、より利用しやすい制度の検討をすすめます。女性の正規雇用の拡充を推進する企業に対する助成制度等を検討していきます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	92%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職支援セミナーの定期開催 ・子育て女性向けセミナーの開催 ・雇用対策協定運営協議会、ふるさとハローワーク担当者会の活用 ・子育てママ就職支援補助制度 ・助成制度の検討 			・同左				
	経費(千円)	900			900				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★返還している奨学金への助成により、UJIターンによる定住を促進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助				・同左			
	経費(千円)	11,578				15,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★UJIターン者数【2-36】		目標		123	170	228	288	350	410
		実績	—	123	158	198			
(指標及びH32目標値の設定理由) 「UJIターン促進補助金」の交付を受けたUJIターン者を指標とし、年間60名程度の増加を想定。		目標数値の達成度	単年度	100%	93%	87%			
			最終年度	30%	39%	48%			
H29取組状況	平成29年度は、継続申請者数が132人、新規申請者数が66人、合計198人のUJIターン者に対し当該補助金を交付しました。 また、他自治体からの「UJIターン促進補助金」に対する問い合わせも多く、11件の問い合わせがありました。								
課題と今後の取組	大学進学者の半数以上が奨学金の貸与を受けており、その返還問題が社会的に大きく取り上げられている状況の中、今後もその返還を支援することによりUJIターンを促進する必要があります。 一方、補助金額が年々大きくなっており、また県でも中小企業就業者確保支援事業として兵庫型奨学金返済支援制度も始まったため、事業の効果検証を行いながら、制度の改正等について検討していく必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	48%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・Uターン等により加西市に定住している者が返還した奨学金の1/3を補助			・同左				
	経費(千円)	19,000			22,500				
備考									
補助対象者が予定を上回ったため、経費を増額しました。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★若者の夢の実現や地域活性化、定住促進を図るための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課、文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者チャレンジ事業				・同左			
	経費(千円)	1,060				1,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①★若者チャレンジ事業助成制度による支援年間件数【2-41】		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	—	5	5	7			
(指標及びH32目標値の設定理由) 若者事業予算に即して5とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	140%			
			最終年度	100%	100%	140%			
②コンサート等の入場者数		目標		—	500	900	1,110	1,110	1,110
		実績	—	—	508	692			
(指標及びH32目標値の設定理由) はりま縁の芸術家の育成と芸術文化鑑賞機会の創出のため、はりま縁の人による芸術文化イベントへの入場者数を3年間で1000人増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	102%	77%			
			最終年度	—	46%	62%			
H29取組状況	若者チャレンジの案内をマーケットで配布しました。 6月からお昼や夜のミニコンサートの開催と3月には仕上げのコンサートを開催しました。 市内高校生を中心とした若者グループの地域活性化活動を広げました。								
課題と今後の取組	助成することにより、若者がチャレンジでき、さらに市を若者の力で盛り上げることができるよう、広報で若者チャレンジ助成金を周知します。 引き続き市内高校生の支援を行います。 音楽コンサートは、来年度以降は、文化観光スポーツ課の補助金で対応します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	140%	140%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	77%	62%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・若者チャレンジ事業			・同左				
	経費(千円)	1,000			1,000				
備考									
若手音楽家によるコンサートの開催については、文化観光スポーツ課で芸術の振興を支援する。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★若者等の起業支援や後継者育成のための支援に努めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者起業調査助成事業				・同左			
	経費(千円)	150				150			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★若者起業支援年間件数【2-42】		目標		4	5	5	5	5	5
		実績	—	4	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 予算・人員に伴い、全体で5件程度が限界であるため。		目標数値の達成度	単年度	100%	20%	20%			
			最終年度	80%	20%	20%			
H29取組状況	女性が多く集まるマーケットで案内ちらしを配布しました。 1名が利用し、起業しました。								
課題と今後の取組	広報で募集するとともに、引き続きマーケットでも案内します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	20%	20%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・若者起業調査助成事業			・同左				
	経費(千円)	150			150				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	10 加西に住んで働ける就労支援								
到達目標	老若男女問わず、加西に住みながら自分のやりたい仕事を選び働く選択肢が多くあるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★創業希望者に対する支援体制を構築します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 				<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 産業活性化センター事業 			
	経費(千円)	4,000				4,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★年間創業者数【2-45】		目標		3	5	5	7	7	7
		実績	—	5	5	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 創業支援事業を受けて創業した人数で、最終年度に年間7名(倍増)の創業を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	167%	100%	120%			
			最終年度	71%	71%	86%			
H29取組状況	産業競争力強化法に基づく創業支援計画により、ワンストップ相談窓口(産業振興課)、かさい創業塾(加西商工会議所)、創業支援相談窓口(加西商工会議所)等の創業希望者に対する支援を行った。								
課題と今後の取組	平成29年度から加西商工会議所に設置した加西市産業活性化センターの事業の一つとして、さらなる創業の促進を図るため、創業者向けの支援の充実を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	120%	86%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ワンストップ相談窓口 かさい創業塾 創業支援相談窓口 創業支援施策の調査研究 産業活性化センター事業 			・同左				
	経費(千円)	4,000			4,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 地域文化財保存会や研究会等の団体による歴史文化遺産を継承・活用する活動を支援します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・五百羅漢石仏追加指定 ・文化財等看板設置 ・特別展の開催 				<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等看板設置 			
	経費(千円)	248				400			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
文化財の新規指定・登録件数		目標		10	11	12	13	14	15
		実績	5	8	17	17			
(指標及びH32目標値の設定理由) H32までに3倍増の累計15件を指定する。		目標数値の達成度	単年度	80%	155%	142%			
			最終年度	53%	113%	113%			
H29取組状況	五百羅漢石仏が県指定文化財に指定 2件の市指定諮問(継続審議中) 看板・標柱の新設:2件 看板の修繕・新調:2 埋蔵文化財整理室の常設展展示替え(青野原俘虜収容所)								
課題と今後の取組	平成29年度に策定した「加西市歴史文化基本構想」に基づき、今後は包括的な文化財の指定を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	142%	113%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・文化財等看板設置			・同左				
	経費(千円)	400			400				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ★歴史文化基本構想を策定し、歴史文化を活かしたまちづくりと観光資源化を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・歴史文化基本構想策定 ・シンポジウムの開催			・日本遺産申請 ・歴史文化遺産の調査				
	経費(千円)	4,266			623				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★歴史文化遺産の調査		目標		0	10	15	18	20	20
		実績	—	—	27	32			
(指標及びH32目標値の設定理由) 歴史文化遺産20件の調査を実施する		目標数値の達成度	単年度	—	270%	213%			
			最終年度	—	135%	160%			
H29取組状況	加西市歴史文化基本構想を策定しました。 策定記念フォーラムを開催しました(H30.3.18) 青野原俘虜収容所調査、史料調査4件を実施しました。								
課題と今後の取組	加西市歴史文化基本構想の周知及び構想に基づき、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	213%	160%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・歴史文化遺産の調査			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ツーリズムによる地域資源をつなげる観光ツアーや着地型のふるさと再発見ツアーを実施し、市内外に魅力を情報発信します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催でハイキングなどを企画、開催する。 ・加西の旬な情報を適時的確にFaceBookで発信し、加西ファンを増やす。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookで加西の旬な情報を発信 ・外国人向けモニターツアーの実施 ・バスラッピング 				
	経費(千円)	1,000			4,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①観光まちづくり協会と連携する観光ツアー等の参加者数		目標		2,000	2,200	2,400	2,600	2,800	3,000
		実績	1,450	1,990	2,146	2,008			
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の参加者数を1000人増の3000人を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	84%			
			最終年度	66%	72%	67%			
②★フェイスブック「いいね！」件数【3-58】		目標		736	1,100	1,200	1,800 (1,300)	1,900 (1,400)	2,000 (1,500)
		実績	—	1,011	1,434	1,588			
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	137%	130%	132%			
			最終年度	51%	72%	79%			
H29取組状況	新規の取組として、こどもの日に絵本列車を実施(135人参加) 何気なく見落としがちな魅力を見つけるワンダーマッピングを開催(26人参加) 鶴野飛行場跡地周辺公開を控えて、モニターツアーを実施(46人) ウォーキングイベントを年間22回開催。								
課題と今後の取組	人気企画の強化と、鶴野飛行場跡地周辺を活用した誘客の進め方を検討する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	84%	67%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	132%	79%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookで加西の旬な情報を発信 			<ul style="list-style-type: none"> ・ハイキングなど企画・開催(加西市歴史街道ボランティアガイドらと共催) ・FaceBookで加西の旬な情報を発信 ・飛行場跡地周辺の情報発信 ・花マルシェの開催 				
	経費(千円)	1,000			1,000				
備考									
フェイスブックは、当初のH32目標値をH27で達成したため、1,000件→1,500件に目標値変更 (H29)2,000件に目標変更									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 特色ある観光サービスを推進し、住民との協働により観光推進基本計画による事業展開を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・物産展等で加西喝采みやげブースを出展する				・加西喝采みやげの更新 ・鶺野飛行場跡地周辺の観光活用の検討			
	経費(千円)	50				700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西喝采ブランド品数		目標		30	30	30	35	35	35
		実績	—	30	30	30			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西喝采みやげ数を増やすため現状の30品をH32に35品に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	86%	86%	86%			
H29取組状況	JAFプレゼント企画に出品、喝采みやげの周知を図る。								
課題と今後の取組	加西SAへの出品や詰め合わせ賞品の開発、鶺野オープン会議の設立等を検討する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・物産展等での加西喝采みやげブースの出展 ・イベントなど鶺野飛行場跡地周辺を活用するオープン会議の開催			周辺市との観光連携を含む広域連携など具体的な方法を検討				
	経費(千円)	500			500				
備考									
H30から鶺野飛行場跡地周辺の観光活用を推進していく									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5	★田舎体験の実施により、地域振興を図るとともに、地域の魅力を発掘し高めることにより、交流を促進します。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催				・同左			
	経費(千円)	1,800				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいまちあそび年間参加人数【6-92】		目標		400	850	900	950	1,000	1,050
★田舎体験プログラム年間参加人数【2-51】		実績	—	843	836	466			
(指標及びH32目標値の設定理由) H32の目標値をH27に達成したため、約倍増の目標に変更する		目標数値の達成度	単年度	211%	98%	52%			
			最終年度	80%	80%	44%			
H29取組状況	エントリー説明会兼プログラム相談会、主催者交流会を開催しました。 41の体験型プログラムを集め、9月30日(土)～10月31日(火)間で実施しました。 急遽、人気のプログラムが中止となり参加者数が減少しました。 ふりかえりの会を行い、主催者同志のネットワークの構築を図ることとしました。								
課題と今後の取組	体験型プログラム主催者の発掘及び育成や参加者の増加を図るため市内外への広報活動、プログラム主催者のスキルアップ及びネットワークの構築を検討する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	52%	44%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・かさいまちあそび体験交流プログラムの開催			・同左				
	経費(千円)	1,800			1,800				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★観光拠点のネットワーク化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・観光拠点10ヵ所程度にWi-Fi施設を運営				・観光拠点10ヵ所のWi-Fi施設の運営			
	経費(千円)	600				120			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★観光施設Wi-Fiスポット数【3-54】		目標		1	1	4	6	10	10
		実績	—	1	10	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 観光施設の利便性向上のため現状1箇所を10箇所に増やします。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	250%			
			最終年度	10%	100%	100%			
H29取組状況	継続利用								
課題と今後の取組	Wi-Fiを活用した外国人向け観光案内の整備を検討する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	250%	100%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・観光拠点10ヵ所のWi-Fi施設の運営			・同左				
	経費(千円)	120			120				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	3 地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり								
施策	11 加西らしい観光サービス								
到達目標	住民によって受け継がれた地域資源を、誇りを持って来訪者に案内することで地域への愛着や誇りが生まれる加西らしい観光サービスの提供をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★緑豊かな森の中に、市のキャラクターをモチーフとするアート空間の整備を推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・調査研究				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★根日女の森整備構想とりまとめ【3-55】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 整備推進の前段となる基本構想のとりまとめ が第1段階の目標となる。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と 今後の取組	根日女の森整備基本構想策定に向けた調査研究の前段階として、事例等の資料収集を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	①未着手	A: 予定通り進行	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・構想策定			—				
	経費(千円)	3,000			—				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市所有未利用地の住宅開発を促進するとともに、効果的な活用方法について検討します。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・北条町東南医師住宅解体				・売却方針協議 ・市有財産(普通財産)の適正な管理			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市所有未利用地の住宅開発年間箇所数		目標		—	—	—	1	—	2
		実績	0	—	—	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 計画期間内に市有未利用地の解消を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	50%			
H29取組状況	永年遊休地として管理してきた旧消防署跡地について、商業施設の建設用地として売却が完了し、今後、地域経済への波及効果が期待できます。その他の市有地売却についても、近畿財務局や市のホームページを活用し情報発信を行ってまいります。								
課題と今後の取組	東南住宅跡地は、丸山バイパス等隣地開発状況をふまえ売却方法を検討していきます。旧庁舎近隣において、今秋にホテル開業が予定されており、今後の周辺土地利用の需要を考慮しながら、宅地に限らない効果的な活用方法を検討していきます。また、廃止される北条西保育所跡地についても、売却の準備を進めてまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	—	50%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・北条東南医師住宅解体			・同左				
	経費(千円)	5,000			5,000				
備考									
市有財産(普通財産)の適正な管理を行うため、不要な財産については測量等を実施の上、公売等により売却方法を検討します。もしくは有効活用を検討し、解体・公売等による処分を検討します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 住宅供給会社等と連携し、土地区画整理事業済み地内の住宅化を促進支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	大型プロジェクト推進室			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 ・造成工事 ・保留地販売業務 ・換地計画業務 				<ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 ・換地計画業務 ・保留地販売業務 ・3号公園 遊具・トイレ整備 			
	経費(千円)	92,331				35,139			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
西高室地区区画整理事業により整備された住宅戸数【1-31】		目標		—	—	30	40	50	50
		実績	0	—	—	42			
(指標及びH32目標値の設定理由) 保留地において整備された住宅戸数を指標としているが、完売には日数が必要なため、7割を設定(目標値は延べ件数)		目標数値の達成度	単年度	—	—	140%			
			最終年度	—	—	84%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な販売促進活動により、保留地の71区画中70区画を販売しました。 ・地権者や隣接者等とのきめ細やかな協議を行ってきたこともあり、区画整理事業区域の工事が完成しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・保留地の完売を目指し、引き続き、販売促進活動を行います。 ・換地計画の策定に向けて、清算金の算定など必要な工程を順次行います。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	140%	84%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・換地処分・登記業務 ・組合解散認可業務 			※H31年度に事業完了の予定				
	経費(千円)	0			—				
備考									
(H30)「3号公園 遊具・トイレ整備」について、H29年度に実施する計画だったが、区画整理事業工事と工期が重なり危険となる。区画整理組合と協議を行った結果、事業の安全性を確保するため、H30年度の施工とします。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 北条地区(旧市街地)の街道筋で、歴史的な街並みを残している区域について、地域住民と行政の協働で、県の景観形成地区 や文化財の指定を受け、規制、誘導方策によって旧市街地の歴史的街並みを継承、保全します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR			・同左				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①景観形成に関する条例届出年間受付件数		目標		20	20	20	20	20	20
		実績	—	16	5	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 区域内での建築確認申請見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	80%	25%	20%			
			最終年度	80%	25%	20%			
②景観形成支援事業修景助成金年間交付件数		目標		1	1	1	1	1	1
		実績	—	1	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) リフォーム、耐震改修なども兼ねて工事を行う見込み件数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRや県景観条例に基づく指導を行いました。								
課題と今後の取組	・北条地区歴史的景観形成地区における、助成制度のPRを行う等、北条旧市街地の景観保全に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	20%	20%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・地区及び制度のPR ・歴史的景観形成建築物修景助成のPR			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 空き店舗やオフィス補助制度をはじめとした創業支援を実施します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・空き店舗・空き工場バンク 				<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク 			
	経費(千円)	2,820				8,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①市街化区域内の商業店舗立地件数		目標		250	250	250	250	250	250
		実績	244	211	211	217			
(指標及びH32目標値の設定理由) 中心市街地に立地する商業店舗数で、当初数値並の店舗数維持を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	84%	84%	87%			
			最終年度	84%	84%	87%			
②★宅地供給促進補助制度を活用した新設店舗数【2-40】		目標		0	1	2	3	5	5
		実績	—	0	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市街地区域の土地の流動化を図ることにより年間1件程度の店舗新設を想定。		目標数値の達成度	単年度	0%	0%	0%			
			最終年度	0%	0%	0%			
③★店舗等立地促進補助金受給件数【2-43】		目標		—	1	2	3	5	5
		実績	—	—	1	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	—	100%	0%			
			最終年度	—	20%	0%			
④★空き店舗活用補助金受給件数【2-44】		目標		4	3	6	9	15	15
		実績	—	4	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助金を活用して立地した件数で、年間1件の増加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	33%			
			最終年度	27%	13%	13%			
H29取組状況	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度の周知及び運用に取り組みました。また、創業支援事業計画(平成27年度策定)に基づき、創業希望者に対する支援を実施しています。								
課題と今後の取組	空き店舗補助制度及び店舗・オフィス立地補助制度について、更なる制度周知を図るとともに、創業支援事業についても、関係機関と連携した取り組みを進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	87%	87%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%					
③	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%					
④	②実行中	B: 予定より遅延	33%	13%					

平成29年度評価

政策・施策				
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり			
施策	12 魅力ある中心市街地の形成			
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。			
実施計画				
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗・オフィス立地補助 ・空き店舗活用補助 ・創業支援事業 ・産業活性化センター事業 ・空き店舗・空き工場バンク 	・同左	
	経費(千円)	8,000	8,000	
備考				
平成30年度当初予算要求において店舗・オフィス立地補助等の見込件数を増としたため。				

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 空き家バンク制度の定着を図り、情報提供に努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守 				・同左			
	経費(千円)	130				130			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
空き家バンクの年間登録数【4-77】		目標		2	5	5	5	5	5
		実績	3	2	6	12			
(指標及びH32目標値の設定理由) 空き家バンクへの年間登録物件数について、 約倍増を想定		目標数値の 達成度	単年度	100%	120%	240%			
			最終年度	40%	120%	240%			
H29取組状況	市外在住の固定資産税納付通知書の封筒に、空き家バンクに係るPRチラシを同封したり、空き家の利活用を検討されている相談者へ制度周知を行いました。また、国が進める全国版空き家バンクへ加入しました。								
課題と今後の取組	利用者の選択肢が増えるよう物件登録を増やしていく必要がありますので、引き続き、PRに努めるとともに、市内全域の空き家調査を危機管理課と連携しながら進めて参ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	240%	240%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税納付者への空き家バンク制度のPRを実施 空き家バンクHPの保守 			・同左				
	経費(千円)	130			130				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★新たな土地区画整理事業等を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり勉強会の開催 土地利用計画の作成 地域住民の合意形成 				<ul style="list-style-type: none"> 用途地域の見直し 地区計画の見直し 地権者の合意形成 			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★新たな土地区画整理事業等の推進により確保した住宅戸数【1-25】		目標		-	-	-	-	70	70
		実績	-	-	-	-			
(指標及びH32目標値の設定理由) 中野地区にある一団の未利用地の面積より設定		目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
			最終年度	-	-	-			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を把握するため、地元役員と複数回の協議を行いました。 土地利用の促進を図るため、用途地域の変更や、地区計画の見直しによる新たなまちづくり構想を検討し、地元合意を図るため、各町において地元説明会を複数回実施しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 地元主体によるまちづくり協議会発足の後方支援に努めます。 丁寧な地元説明を行い、都市計画(用途地域、地区計画)の見直しを行います。 新たなまちづくり構想に基づき、協議会が主体となり、良好なまちづくりに努めて行きます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	①未着手	A: 予定通り進行	-	-	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画道路用地取得 測量、設計委託 開発事業者の募集 			<ul style="list-style-type: none"> 測量、設計委託 地区計画道路工事 上水道、下水道工事 				
	経費(千円)	144,900			186,300				
備考									
<p>(H30) アンケートの結果を踏まえ、土地利用の有効促進を図るため、用途地域・地区計画の見直しを行います。</p> <p>(H31) 地区内公共施設の整備に向けた、測量・設計委託を実施します。</p> <p>中野・下宮木地区は、まちづくり構想に基づき、都市計画(用途地域、地区計画)の変更を検討中です。住・商・工が適度に混在したコンパクトなまちづくりを目指すため、住宅戸数の目標数値を変更します。</p>									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★市街化区域において土地利用を推進し、住宅地等の整備と確保に努めます。 8 ★市街化区域での低未利用地の利用促進による土地の流動化を図り、住宅地の供給量を確保します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・住宅建築等のために自己の所有する市街化区域内の土地を売却した者に対して、譲渡所得の3%相当額を補助。				—			
	経費(千円)	2,182				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★宅地供給促進補助制度を活用した宅地供給面積(㎡)【1-27】		目標		10,000	13,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	—	10,028	15,803	22,700			
(指標及びH32目標値の設定理由) 「住宅建築のための宅地供給促進補助金」の交付を受けた対象土地の面積を指標とし、補助制度の期限のH29年度まで面積が増加する見込み。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	151%			
			最終年度	67%	105%	151%			
H29取組状況	平成29年度は5件の宅地供給を目的とした土地売却に対し補助を行い、市街化区域内の低未利用地の流動化の促進を図りました。								
課題と今後の取組	当該補助制度は平成28年中の宅地供給を目的とした土地売却に対する補助をもって終了となります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	③完了	S: 予定より早く進行	151%	151%	A: 目標を上回って達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	—			—				
	経費(千円)	—			—				
備考									
宅地供給促進補助制度は平成29年度で受け付け終了となります。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★賃貸共同住宅の建設促進による供給戸数の増加を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助				・同左			
	経費(千円)	13,410				14,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★賃貸共同住宅等建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数【1-28】		目標		110	200	300	300	300	300
		実績	—	106	216	294			
(指標及びH32目標値の設定理由) 定住促進を推進するため、賃貸共同住宅建設促進補助制度を活用した賃貸供給戸数を現状の約3倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	96%	108%	98%			
			最終年度	35%	72%	98%			
H29取組状況	平成29年度は、6件の新規申請及び25件の継続申請の合計31件に対して補助金の交付を行いました。31件の内訳としては、世帯用の賃貸共同住宅が21件、単身者用が10件となっています。								
課題と今後の取組	賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請については、平成29年1月1日完成分までが対象のため、今後は継続申請分のみに対する補助金交付となります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	③完了	B: 予定より遅延	98%	98%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・賃貸共同住宅を建設した者に対し当該建物に係る固定資産税等を5年間(単身用については10年間)補助			・同左				
	経費(千円)	13,000			10,000				
備考									
賃貸共同住宅等建設促進補助制度の新規申請は平成29年度までとなっております。想定していたより補助金額が減少したため、H30及びH31年度の経費について減額します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 ★空き家・空き店舗を幅広く活用したまちづくりを進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・先行事業実施 ・改修助成検討			・空き店舗整備 ・街歩きにかかる整備情報発信				
	経費(千円)	17,820			17,820				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家・空き店舗年間助成数【4-74】		目標		—	—	—	1	1	1
		実績	—	—	—	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 28年度中に、ブランディングの方針を定め、29年度に助成施策を決定し30年度以降1件の助成を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	200%			
H29取組状況	平成28年度に策定した北条旧市街地リノベーション計画に基づき、特産物販売等の場として、旧原田松栄堂(本町)がソーシャルキッチン・カフェ「O Cha no Ma(おちゃのま)」に、また、交流の場として、旧柏原春陽堂(御旅町)が地域交流広場「まちなか春陽堂」に、空き家・空き店舗を改修し2か所のモデル拠点が完成しました。								
課題と今後の取組	ハード面での整備は完了しましたが、建物を維持しながら運営する主体が、自走できるよう行政や地域住民等の協力が不可欠です。 平成30年度については、チャレンジジョブと滞在施設の異なるモデル拠点を2か所整備する予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	—	200%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・空き店舗改修の側面支援			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
街歩きにかかる整備情報発信は、H30の北条旧市街地元気なまち再生事業で実施するため、H31以降は、新規開業希望者へ空き店舗等の物件紹介や補助金情報の提供などの支援を行います。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	12 魅力ある中心市街地の形成								
到達目標	大規模商業施設と歴史的街並みが共存する特性を活かして、多くの人が買い物等に訪れ、そこに暮らす住民が歩いて暮らすことができる魅力ある中心市街地をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★住環境整備による定住促進を図ります。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり勉強会の開催 ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 			<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 				
	経費(千円)	4,878			9,800				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★北条市街地の住環境整備を図った住宅戸数【4-78】		目標		2	9	16	23	30	30
		実績	—	9	21	26			
(指標及びH32目標値の設定理由) 年間の空き家除却及び狭あい道路整備件数から推測した数値を設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	450%	233%	163%			
			最終年度	30%	70%	87%			
H29取組状況	・危険空き家の除去や狭隘道路の拡幅を行うことにより、北条市街地の安全・安心のまちづくりの推進に努めました。								
課題と今後の取組	・助成制度のPRを行う等、住民への周知を行い、より一層の安全・安心のまちづくりの推進に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	163%	87%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・制度のPR ・空き家及び支障物除却 ・狭あい道路整備 			・同左				
	経費(千円)	9,800			9,800				
備考									
(H30、H31)H29年度の実績により、経費の変更を行います。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 移住体験施設(お試し住宅)の整備に取り組み、定住促進に結び付けます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部、地域振興部				課名	ふるさと創造課、きてみて住んで課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・お試し住居の整備 ・創造会議等にお試し住居運営の打診				・創造会議等にお試し住居運営の打診			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①★お試し滞在施設数【3-63】		目標	—	—	1	1	2	3	3
		実績	—	—	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市北部、市街地、南部の3ヶ所で、創造会議による立ち上げを目指す		目標数値の達成度	単年度	—	0%	0%			
			最終年度	—	0%	0%			
②★移住マッチング支援相談年間件数【3-64】		目標	—	5	25	30	35	50	50
		実績	—	20	31	54			
(指標及びH32目標値の設定理由) 移住相談会等への参加体制を整えることで年間50件の相談を受けることを目指す		目標数値の達成度	単年度	400%	124%	180%			
			最終年度	40%	62%	108%			
③★空き家改修年間助成数【4-76】		目標	—	1	3	3	3	5	5
		実績	—	1	2	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 制度の周知を図り、登録物件を増やし、マッチングの成果を年間5件と設定		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	133%			
			最終年度	20%	40%	80%			
④★お試し滞在補助年間助成組数		目標	—	—	—	—	5	5	5
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 制度の周知を図り、移住希望者の負担軽減を図るため、助成数を年間5組と設定		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	ふるさと創造会議の新たな交付金制度の中で、選択課題解決加算(空き家対策)を創設し、H30年度から運用開始します。 また、人口増政策課で「移住・定住係」が新設され、移住相談会、電話、窓口、メールなどによる移住に関する相談の窓口を一本化できました。 お試し滞在施設の設置検討を行うにあたり、空き家調査が必要であることから平成30年度に事業実施に向けた調査研究を関係課と行いました。 ふるさと創造会議地域づくり交付金の加算分に、「人口増への取組」を追加し、地域の空き家対応を行う項目を追加するよう改正しました。								
課題と今後の取組	ふるさと創造会議の組織力が、空き家の活用ができるまで高まっていません。 また、市内全域での空き家の基礎調査を行う必要がありますので、平成30年度に危機管理課と連携しながら実施する予定です。その上で、利活用可能な空き家を抽出し、ふるさと創造会議での運営に理解いただきながら機運を高めるよう取り組みます。								

平成29年度評価

政策・施策						
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり					
施策	13 周辺地域の定住促進					
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H29)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	180%	108%		
③	②実行中	S: 予定より早く進行	133%	80%		
④	①未着手	A: 予定通り進行	—	—		
実施計画						
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)			
	取組内容	・お試し居住の整備	・同左			
	経費(千円)	0	0			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・整備を31年度に変更 ・移住・定住促進のため、指標「お試し滞在補助年間助成組数」を追加しました。 						

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 県の特別指定区域制度における「新規居住者の住宅区域」の地区指定を支援します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・まちづくりコンサルタント派遣による土地利用計画の策定				・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直し案及び宇仁小跡地土地利用計画に沿った特別指定区域を指定 ・宇仁小跡地事業化検討・調査 ・宇仁地区定住補助			
	経費(千円)	750				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
新規居住者地区住宅戸数		目標		3	4	4	6	8	10
		実績	0	3	4	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しによる区域拡大等の販売を見込んで設定(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	30%	40%	40%			
H29取組状況	・宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しと、宇仁小学校グランド跡地活用土地利用計画の検討のため、6町において、まちづくり説明会を開催し、住民主体によるまちづくりを推進しました。 ・宇仁小学校グランド跡地活用の検討を行うため、宇仁地区に勤務する地区外居住者に対し、居住意向確認アンケートを行いました。 ・定住促進まちづくり助成制度に基づく、宅地開発促進補助金制度を活用しました。								
課題と今後の取組	・H30年度の宇仁地区新規居住者の住宅区域の見直しに向け作業を進めていきます。 ・宇仁地区への定住促進を図るため、地域活力維持定住促進補助制度を活用していきます。 ・宇仁小学校グランド跡地活用土地利用計画の検討を引き続き行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	40%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・開発事業者の募集 ・宇仁小グランド跡地測量・道路設計			・宇仁小グランド跡地 道路工事、 上・下水道工事				
	経費(千円)	7,200			38,400				
備考									
(H30) 宇仁地区新規居住者に対し、新しい定住補助制度を実施します。 (H31) 宇仁小学校グランド跡地において、測量・道路設計を行います。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 若者向けの持ち家促進のための取り組みを推進します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者世帯定住促進補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度				・同左			
	経費(千円)	43,550				55,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①加西市若者世帯持家促進補助制度の受給者数【1-26】		目標		35	40	40	45	50	50
		実績	7	37	76	74			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内に持家を取得した若者世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	106%	190%	185%			
			最終年度	74%	152%	148%			
②★新婚世帯向け家賃補助金の年間新規受給者数【1-30】		目標		52	60	60	65	70	70
		実績	—	57	65	49			
(指標及びH32目標値の設定理由) 将来市内に持家を取得する可能性のある新婚世帯の数で、平成27年度の1.5倍を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	110%	108%	82%			
			最終年度	81%	93%	70%			
H29取組状況	新婚世帯向け家賃補助制度、若者世帯持家補助制度を継続実施しました。定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ制度の周知を図りました。								
課題と今後の取組	新婚世帯向け家賃補助制度及び若者世帯定住促進住宅補助制度を活用し、若者世帯の流出を防ぐとともに、加西市への定住促進施策として、産業(工業)団地及び市外在住者等へ周知徹底していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	185%	148%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	82%	70%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・若者世帯定住促進住宅補助制度 ・新婚世帯向け家賃補助制度			・同左				
	経費(千円)	55,000			55,000				
備考									
平成30年度当初予算要求において若者世帯定住促進住宅補助及び新婚世帯向け家賃補助の見込件数を増としたため。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 交通の要所として、市民と協働で加西インター周辺の土地利用計画を作成します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課、大型プロジェクト推進室			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・加西インター周辺の土地利用規制状況調査と既存事業所の意向調査を並行して進め、需要に合った土地活用促進を図ることが可能な特別指定区域制度の活用を検討する。 ・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用を検討する。			・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査				
	経費(千円)	17,218			106,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★加西インター周辺の土地利用計画の作成数【4-75】		目標	-	-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 土地利用計画の策定数		目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
			最終年度	-	-	100%			
H29取組状況	・産業団地整備事業とほ場整備事業が整合する土地利用の在り方について、県関係課と協議しました。 ・整備対象となる土地の地権者に対する説明会や個別交渉により、土地利用に関する理解を促しました。								
課題と今後の取組	・ほ場整備事業との整合を踏まえた土地利用計画を検討するとともに、産業団地造成に必要な環境整備を進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	-	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ほ場整備事業で創出可能な非農地を活用した土地利用の検討 ・事業化検討・調査			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
計画が具体化され、スケジュールが詳細になったため、H30の目標値を「-」から「1」に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 鶉野飛行場跡地周辺の有効活用を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業 				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 交流のまちづくり促進事業 鶉野ミュージアム等整備連携事業 			
	経費(千円)	133,084				449,820			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★鶉野飛行場跡地周辺整備による観光誘客年間数【3-53】		目標		8,000	8,000	8,000	8,000	16,000	16,000
		実績	—	8,000	8,000	8,000			
(指標及びH32目標値の設定理由) 都市再生整備計画の目標値(現状の倍増)を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	50%	50%	50%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づき、爆弾庫、防空壕、機銃座への案内板の設置や滑走路に導くカラー舗装、戦争遺産を解説する専用アプリの開発など、鶉野飛行場跡地周辺の環境整備を行いました。 空がつなぐまち・ひとづくり交流事業により、鶉野ミュージアムの建物及び展示施設の基本設計を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 鶉野飛行場跡地を活用した地域活性化施設の整備に向けて、国の地方創生推進交付金(先駆タイプ)の再申請を行うとともに、同交付金の結果を踏まえた同地域の利活用を検討する。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	50%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に基づく事業実施 鶉野ミュージアム等整備連携事業 			<ul style="list-style-type: none"> 鶉野ミュージアム等整備連携事業 				
	経費(千円)	327,002			394,000				
備考									
<p>(H30) 散策用歩道整備、展示施設(トイレ)整備、防空壕等サイン整備、紫電改レプリカ製作、鶉野ミュージアム実施設計等を行います。</p> <p>(H31) 散策用歩道整備、防空壕等整備、鶉野ミュージアム建築工事等を行います。</p>									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 住民が住まい物件の情報を適切に得られるよう、不動産情報の発信や各種制度の周知に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市街化調整区域における新築住宅戸数		目標		40	40	40	40	40	40
		実績	—	43	63	33			
(指標及びH32目標値の設定理由) 周辺地域の定住促進の状況を示すもので、過去5年の平均値を設定		目標数値の達成度	単年度	108%	158%	83%			
			最終年度	108%	158%	83%			
H29取組状況		・市ホームページで、地縁者の住宅区域・新規居住者の住宅区域・定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行いました。							
課題と今後の取組		・地縁者の住宅区域、新規居住者の住宅区域の見直しを行います。 ・市ホームページで、地縁者の住宅区域・新規居住者の住宅区域・定住促進まちづくり活動助成金制度のPRを行います。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	83%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・住宅区域のPR ・定住促進まちづくり活動助成金制度のPR ・特別指定区域制度を活用した新しい建築ルール策定の検討			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★若者世帯が住みやすい住宅分譲地の整備を進めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発候補地の選定 				<ul style="list-style-type: none"> ・ベルデしもさと第2弾の販売支援 ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定 			
	経費(千円)	0				6,160			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★住宅分譲地の整備により確保した住宅戸数【1-24】		目標		28	60	100	150	200	200
		実績	—	28	63	78			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市街化区域内での開発見込み戸数+市街化調整区域内の各小学校区毎での開発目標戸数※実績はH27からの合計戸数です(目標値、実績値は延べ戸数)		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	78%			
			最終年度	14%	32%	39%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域における住宅地開発について、民間資金活用と自治会・事業者・行政の3者連携の手法により、尾崎町北条高校前地区での地区計画の策定、事業実施に向けた協議を行いました。 ・民間住宅団地開発事業について、開発調整条例に基づく協議を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎町北条高校前地区における住宅団地整備事業について、事業を積極的に推進します。 ・民間住宅団地開発事業について、開発調整条例に基づく協議を行います。 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅地整備の可能性について、調査を行います。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	78%	39%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・民間住宅団地開発事業について開発調整条例に基づいた協議の実施 ・市街化調整区域内の各小学校区における住宅団地開発事業者の募集、決定 			・同左				
	経費(千円)	5,000			5,000				
備考									
(H30) 尾崎町北条高校前地区への定住促進補助を実施します。民間住宅団地開発に伴う市道整備負担金を交付します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★定住先の決まっていないカップルを対象に市内の不動産情報の提供等を通じて定住促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・まちづくり会社(仮)を創設し、民泊制度を活用して空き家対策を兼ねた移住制度を構築する。				—			
	経費(千円)	0				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★かさいふたリズム推進事業年間利用件数【1-29】		目標		6	6	6	6	10	10
		実績	—	6	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 現状6件の利用件数を5カ年で10件に増加させる		目標数値の達成度	単年度	100%	0%	0%			
			最終年度	60%	0%	0%			
H29取組状況	問い合わせはありませんでした。								
課題と今後の取組	2年続けて利用がなく、「出逢いサポートセンター」の活動に注力していくため、廃止します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	④廃止			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	—			—				
	経費(千円)	—			—				
備考									
空き家バンク登録者が利用できる「加西市お試し居住制度」を、加西市出逢いサポートセンターの支援で成立したカップルに情報提供を行います。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	13 周辺地域の定住促進								
到達目標	地縁者や新規居住者によって集落が維持され、次世代を担う子どもの笑い声が聞こえるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★近隣市町等と連携し情報発信の強化を図り、便利な田舎としての魅力のPRに努めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	きてみて住んで課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)			・同左				
	経費(千円)	220			220				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★出張相談会年間参加数【2-35】		目標		1	3	3	3	3	3
		実績	—	2	3	5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 移住希望者に対する相談・PRを神戸・大阪・東京の3箇所で開催することを想定		目標数値の達成度	単年度	200%	100%	167%			
			最終年度	67%	100%	167%			
H29取組状況	移住相談会は、カムバックひょうごセンターやひょうご田舎暮らし・多自然居住支援協議会の一員として、北播磨・西播磨合同移住相談会(7/2・大阪)、ひょうごの田舎暮らし臨時相談所(11/12・神戸)、子育て・移住応援フェア(1/28・大阪)、就農希望者向けセミナー・相談会(2/18・神戸)、田舎暮らしセミナー・相談会(2/25・神戸)の計5回参加しました。								
課題と今後の取組	出張相談会へは引き続き積極的に参加し、丁寧な対応に努めて参ります。また、イーナカサイ(冊子)やPR動画を効果的に活用し、京阪神地区を中心にPRし、加西市の魅力を発信してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	167%	167%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・移住相談会に参加(神戸・大阪・東京)			・同左				
	経費(千円)	220			220				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 都市核と地域核を結ぶ市内幹線路線の効率化を図ります。 2 市内幹線交通網へ接続する地域主体型公共交通の導入を進めます。 6 交通結節点(駅・バス停)の整備を進めます。 9 ★北条鉄道各駅へのアクセスの改善を図るため、コミュニティバスの再編等を実施し、公共交通ネットワークを構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西市公共交通活性化協議会において、コミバスの状況を確認・検証する。 ・公共交通網形成計画の策定検討。				・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援			
	経費(千円)	5,397				6,795			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%			
			最終年度	60%	76%	92%			
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%			
			最終年度	92%	89%	86%			
H29取組状況	コミバスや北条鉄道等の利用者を対象に交通調査を行い、利用状況の調査・分析を実施しました。 公共交通総合連携計画のフォローアップ計画となる地域公共交通網形成計画を前倒して策定しました。 地域主体型交通検討のためのアンケート調査を一地区で実施し、導入検討に向けた支援を行いました。								
課題と今後の取組	・地域主体型交通の導入検討に必要な支援を適宜行います。 ・地域公共交通網形成計画に定める目指すべき公共交通サービスの構築に向け施策事業を進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	125%	92%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	86%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・交通結節点の整備 ・地域主体型交通の導入支援			・同左				
	経費(千円)	3,000			3,000				
備考									
・地域主体型交通の導入支援事業を追加します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 民間事業者が運行する広域幹線路線バスを維持します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・バス対策費補助				・同左			
	経費(千円)	25,556				25,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 広域幹線のフィーダー路線となるコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%			
			最終年度	60%	76%	92%			
H29取組状況	民間路線バスを支援し、広域的な移動の確保を図りました。								
課題と今後の取組	・広域幹線バスのフィーダー路線となるコミバスの利用促進や地域主体型交通の導入を推進します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	125%	92%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・バス対策費補助			・同左				
	経費(千円)	25,000			25,000				
備考									
予算要求額へ変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共交通のわかりやすい情報提供に努めるとともに、利用促進を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・公共交通活性化協議会補助 ・総合時刻表の作成				・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進			
	経費(千円)	4,009				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度としてコミバスの利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%			
			最終年度	60%	76%	92%			
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公共交通の利用頻度として北条鉄道の利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%			
			最終年度	92%	89%	86%			
H29取組状況	公共交通ガイド「かさいおでかけナビ」を作成し、コミバス・北条鉄道・路線バス・高速バスなどの時刻表や京阪神・関西3空港への行き方や市内の公共施設・医療施設・商業施設などへの交通機関でのアクセスを掲載するなど、分かりやすい情報提供に努めました。 市内公共交通機関を使って観光地等を周遊するモデルルートを提案し「おでかけマップ」を作成しました。あわせて公共交通を使ったモニターツアーを実施し、利用促進を図りました。								
課題と今後の取組	・各交通機関の時刻改正にあわせて交通ガイドの更新を行います。 ・市内各施設に特化した時刻情報等の提供を行いより分かりやすい情報提供を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	125%	92%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	86%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・総合時刻表の作成 ・公共交通の利用促進			・同左				
	経費(千円)	1,500			1,500				
備考									
予算要求額へ変更します									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 北条鉄道の経営支援と利用促進策を実施します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・北条鉄道設備等整備補助				・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・公共交通相互連携事業 ・交差施設整備事業			
	経費(千円)	9,366				18,394			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328			
(指標及びH32目標値の設定理由) 北条鉄道の利用促進効果をはかるため利用者数を設定しました。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%			
			最終年度	92%	89%	86%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道安全輸送設備の整備に対する支援を行いました。 ・駅舎の改修など鉄道施設の整備に対する支援を行いました。 ・北条町駅、法華口駅および車両内のWiFi整備への支援を行い北条鉄道の利用促進を行いました。 								
課題と今後の取組	老朽化している鉄道施設や安全輸送設備を適切に整備更新していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	89%	86%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・北条鉄道設備等整備補助 ・駅舎等WiFi整備負担金 ・交差施設整備事業			・同左				
	経費(千円)	82,000			6,894				
備考									
交差施設整備事業を追加します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	14 公共交通網の構築								
到達目標	公共交通を利用することによって、誰もが行きたいところへ行けるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7・8 自動車を気軽に利用できない人の移動にかかる運賃軽減を実施します。 ★子育て世帯等の移動手段を確保するため、妊婦及び未就学の子ども保護者について、コミュニティバスの運賃を無料化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減				・同左			
	経費(千円)	2,703				1,800			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①コミバス等の年間利用者数(千人) 【1-1、4-71】		目標		19	20	22	24	30	30
		実績	14.7	18	22.8	27.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 運賃軽減による効果をコミバスの利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	95%	114%	125%			
			最終年度	60%	76%	92%			
②北条鉄道の年間利用者数(千人)【4-69】		目標		360	364	368	372	380	380
		実績	306	351	340	328			
(指標及びH32目標値の設定理由) コミバスの運賃軽減による北条鉄道への波及効果を利用者数で測ります。		目標数値の達成度	単年度	98%	93%	89%			
			最終年度	92%	89%	86%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子育て世帯を対象にコミバス等の運賃を無料化しました。 ・子育て世帯の利用を促進するため保育所・幼稚園・こども園において周知活動を実施しました。 								
課題と今後の取組	・コミバス利用者の新規開拓として対象者への利用促進を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	125%	92%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	89%	86%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)				H32 (予定額)			
	取組内容	・コミバス・路線バス運賃軽減				・同左			
	経費(千円)	1,800				1,800			
備考									
予算要求額へ変更します。									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり							
施策	15 住みよい住環境							
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 都市公園等の計画的な管理と保全により、活用を促進します。							
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))		
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 都市再生整備計画に基づく整備事業工事 イベント開催等 丸山総合公園整備工事(都市再生整備事業) 				<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 公園長寿命計画変更 丸山総合公園整備工事(都市再生整備事業) 		
	経費(千円)	40,195				75,267		
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
都市公園利用者数	目標		27,500	28,000	28,500	29,000	29,500	30,000
	実績	—	27,500	32,568	28,500			
(指標及びH32目標値の設定理由) 安心・快適な施設の目安としてH22年度の都市公園の利用者数を超えることを目標に設定した		目標数値の達成度	単年度	100%	116%	100%		
			最終年度	92%	109%	95%		
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協働しイベントを開催することで、利用者数増加に取り組みました。 指定管理者と協働し、適切な公園管理に努めました。 施設の経年劣化に対応した修繕を適時実施しました。 丸山総合公園において、都市再生整備事業交付金を活用し、大型遊具2基(グランドキャッスル、忍者ウォール)等を設置しました。 							
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協働し、利用者数の更なる増加に向けての取り組みを進めます。 遊具等の施設の経年劣化に対する迅速な修繕対応を行い、更新についても検討を進めます。 丸山総合公園において、都市再生整備事業交付金を活用し、LEDソーラー街灯・園路カラー舗装・グラスパーキング等の整備を行います。 丸山総合公園の老朽化したウッドデッキについて、撤去も視野に入れた対策を検討します。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	95%	B: 目標を達成	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 公園長寿命化計画に基づく実施設計策定 			<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の活用による適切な公園管理 イベント開催等 ウッドデッキ等改修工事(第1期) 			
	経費(千円)	31,000			82,000			
備考								
<p>(H30) 老朽化した公園施設の修繕を行うため、公園長寿命化計画の変更の検討を行います。都市再生整備事業を活用し、丸山総合公園整備工事を実施します。</p> <p>(H31) 丸山総合公園のウッドデッキ修繕工事委託を行う。</p>								

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 史跡を計画的に整備し、活用を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	笹塚古墳 ・史跡整備実施設計策定 ・第一期工事(伐採等)				笹塚古墳 ・第二期工事(本工事)			
	経費(千円)	5,607				32,201			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
史跡玉丘古墳群における整備する古墳の基数		目標		-	-	1	2	3	4
		実績	-	-	-	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づく		目標数値の達成度	単年度	-	-	100%			
			最終年度	-	-	25%			
H29取組状況	笹塚古墳整備の実実施設計を行いました。 笹塚古墳の樹木伐採(第1期工事)、併せて玉丘古墳の樹木伐採を行いました。								
課題と今後の取組	今後は、史跡整備基本計画による整備スケジュールに基づき整備を進めていく予定です。 補助事業のため、国・県の状況によりスケジュール変更の要が発生する可能性があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	25%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・玉丘古墳 史跡整備実施設計策定 第一期工事			・玉丘古墳 第二期工事				
	経費(千円)	6,018			28,000				
備考									
整備スケジュールの変更に伴い、取組内容・経費を変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 国道372号や主要幹線道をはじめとする道路網を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部				課名	土木課		
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、窪田吸谷線、山下鎮岩線、大村笠原線外				・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外			
	経費(千円)	412,789				357,320			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基幹道路網の整備延長距離(km)【4-70】		目標		0.2	1.0	1.7	2.5	4.0	4.5
		実績	—	0.2	0.3	0.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路の計画整備延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	30%	29%			
			最終年度	4%	7%	11%			
②集落道路の改良延長距離(km)【4-70】		目標		0.5	0.9	1.2	2.4	4.5	4.5
		実績	—	0.5	0.8	1.3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、集落道路の計画改良延長を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	108%			
			最終年度	11%	18%	29%			
H29取組状況	地域の生活や産業を支える基盤となっている基幹道路網整備と集落道路の改良工事に取り組みました。								
課題と今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に道路網整備を実施していくとともに、現道の適切な維持管理に努めてまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	29%	11%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	108%	29%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線、山下鎮岩線、大村笠原線、北条西上野線、段下4号線外			・同左				
	経費(千円)	190,500			400,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 自転車歩行者道やガードレール等の安全施設の整備を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線				・同左			
	経費(千円)	116,000				329,020			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
歩道設置総延長(m)		目標		34,500	34,820	35,140	35,460	35,780	36,100
		実績	32,808	34,500	34,699	34,699			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、基幹道路整備に伴う 計画歩道整備延長を目標値に設置		目標数値の 達成度	単年度	100%	100%	99%			
			最終年度	96%	96%	96%			
H29取組状況	基幹道路を利用する自転車歩行者の安全確保のため、歩道整備に取り組みました。								
課題と 今後の取組	「安心・安全で利便性の高い道路づくり」を目標に、計画的に歩道整備を実施していくとともに、交通反則金充当事業を活用し、ガードレール等の安全施設整備に積極的に取り組んでまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	99%	96%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線			・同左				
	経費(千円)	150,000			300,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 長寿命化計画を作成して計画的な維持補修を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・橋梁修繕(4橋)			・橋梁修繕(2橋)				
	経費(千円)	9,796			25,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
修繕工事を実施する橋梁数(橋)		目標		5	9	13	15	21	25
		実績	—	9	13	14			
(指標及びH32目標値の設定理由) 長寿命化計画に基づき、計画橋梁修繕工事箇所数を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	180%	144%	108%			
			最終年度	36%	52%	56%			
H29取組状況	橋梁利用者の安全確保のため、橋梁修繕工事に取り組みました。								
課題と今後の取組	長寿命化計画に基づき、計画的に橋梁修繕工事を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	108%	56%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・橋梁修繕(2橋)			・同左				
	経費(千円)	25,000			25,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 河川の維持管理の強化と未改修河川を整備します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・河川浚渫等				・同左			
	経費(千円)	1,000				500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
河川修繕工事及び河川浚渫の実施(箇所)		目標		2	3	4	5	6	7
		実績	—	2	5	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 標準的な年間浚渫要望箇所数を目標値に設定		目標数値の達成度	単年度	100%	167%	150%			
			最終年度	29%	71%	86%			
H29取組状況	河川修繕工事及び河川浚渫に取り組みました。								
課題と今後の取組	河川修繕工事及び河川浚渫を実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	150%	86%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・河川浚渫等			・同左				
	経費(千円)	1,000			1,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	4 都市の魅力と快適さを高めるまちづくり								
施策	15 住みよい住環境								
到達目標	誰もが地域の住環境について関心を高め合うことで、安心して快適な生活ができるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 公共施設等に関するわかりやすい案内表示板等、ユニバーサルデザイン の導入を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・案内表示版等の設置検討				・同左			
	経費(千円)	0				100			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
案内表示板等、ユニバーサルデザインの導入 (箇所)		目標		0	1	2	3	4	5
		実績	—	0	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 1箇所/年(必要に応じて適宜実施)		目標数値の 達成度	単年度	0%	100%	50%			
			最終年度	0%	20%	20%			
H29取組状況	案内表示版等の設置について検討した。								
課題と 今後の取組	必要に応じて、計画的に実施してまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	20%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・案内表示板等 1箇所			・同左				
	経費(千円)	100			100				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定年退職世代の技能を役立てる情報提供や就労講座を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実				・高齢者学級・講座の充実			
	経費(千円)	798				880			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者講座年間受講者数		目標		460	470	470	480	490	500
		実績	426	493	533	558			
(指標及びH32目標値の設定理由) 「かしの木学園」「生き生き元気塾」受講者実数。当初から2割増加と設定。		目標数値の達成度	単年度	107%	113%	119%			
			最終年度	99%	107%	112%			
H29取組状況	年々高齢者学級の受講者数は増加しています。 運営委員会の自主運営で事業を実施したり、企画に参画するなど、活性化が進んでいます。								
課題と今後の取組	引き続き、魅力ある講座の開催や情報提供を図るとともに、高齢者の知識や技能を活かし、社会参加や地域貢献の一助となる講座を開催し、学習や仲間づくりに終始しない学級運営を目指します。「生き生き元気塾」は参加者も増え、高齢者の健康増進に資する役割を果たしているが、ボランティアの確保が難しくなっています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	119%	112%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・高齢者学級・講座の充実			・同左				
	経費(千円)	880			880				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 シルバー人材センターとの事業連携を進め、高齢者の就業機会の開拓、拡充を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助				・同左			
	経費(千円)	11,501				9,541			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
シルバー人材センター会員数		目標		440	425	445	465	485	500
		実績	517	404	393	382			
(指標及びH32目標値の設定理由) H27年度の数値を基準として目標値を設定		目標数値の 達成度	単年度	92%	92%	86%			
			最終年度	81%	79%	76%			
H29取組状況	HPIによる積極的な情報発信を実施するとともに先進地視察等により会員ニーズの実態把握等を行いました。								
課題と今後の取組	人口減少社会における高齢者の活用とともに、多様化するニーズに応える運用が求められます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	86%	76%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・シルバー人材センター運営補助			・同左				
	経費(千円)	9,541			9,541				
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 9,641→9,541、 H31 9,641→9,541 に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 高齢者自身が企画運営を進める事業を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防リーダー養成講座 生活支援・介護サポーター養成講座 介護ボランティアポイント制運営 			<ul style="list-style-type: none"> 介護予防リーダー養成講座 生活支援・介護サポーター養成講座 生活支援サポートセンター運営 				
	経費(千円)	5,036			5,060				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者ボランティア数		目標		450	485	520	575	610	650
		実績	350	453	404	411			
(指標及びH32目標値の設定理由) 高齢者ボランティア数を当初の約倍増となる300人増を設定		目標数値の達成度	単年度	101%	83%	79%			
			最終年度	70%	62%	63%			
H29取組状況	住民同士の支え合い活動を広げ、また高齢者の社会参加により介護予防へ繋げるため、生活支援サポーター・介護予防リーダー養成講座を実施しました。								
課題と今後の取組	受講者が地域で活動を継続していくため、スキルアップ・フォローアップを定期的に行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	79%	63%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防リーダー養成講座 生活支援・介護サポーター養成講座 生活支援サポートセンター運営 			同左				
	経費(千円)	5,060			5,060				
備考									
・実施計画中、「経費」・・・H30 6,260→5,060、 H31 6,260→5,060 に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 障がい者団体の活動活性化と支援を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施				・同左			
	経費(千円)	560				700			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
障がい者サロン年間参加者数		目標		450	460	470	480	490	500
		実績	430	540	717	488			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業の浸透とともに参加者が徐々に増加しているため、さらに50人増を設定		目標数値の達成度	単年度	120%	156%	104%			
			最終年度	108%	143%	98%			
H29取組状況	年度当初、7事業所・団体により実施する予定であったが、1事業所が実施できなかったため、6事業所での実施となる。余暇活動、レクリエーションを中心に、障害を持つ人と持たない人が一緒になり実施しました。								
課題と今後の取組	例年開催の恒例事業になっているものもあり、新規参入も視野に入れながら継続実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	104%	98%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・障がい者社会参加促進事業(サロン事業)の実施			・同左				
	経費(千円)	700			700				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 社会参画機会の拡大と環境づくりを進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援				・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営			
	経費(千円)	26,802				26,802			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
就労系サービス利用者数(延月人数)		目標		1,445	1,520	1,640	1,800 (1,760)	1,824 (1,880)	1,872 (2,000)
		実績	—	1,445	1,627	1,681			
(指標及びH32目標値の設定理由) 就労系サービス人数を示すもので、H27年度から5年間で555人増の数値を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	107%	103%			
			最終年度	77%	87%	90%			
H29取組状況	障害者就労支援員と連携し、窓口での就労支援のほか、ハローワークや特別支援学校、関係事業所と連携しての就労支援、定着支援を行いました。また、市役所内外における職業訓練事業による就労支援や庁内バザーを継続して実施しました。								
課題と今後の取組	障害者雇用に不安を持つ企業も存在するため、そのような企業に対し、一般就労の拡大や雇用継続を図る支援を行っていきます。就労支援員と連携し、特別支援学校の生徒の進路指導を支援します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	90%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・企業や事業所への障害者雇用の啓発、相談支援 ・自立支援協議会の運営			・同左				
	経費(千円)	26,802			26,802				
備考									
第5期加西市障害福祉計画(H30.3月策定)を策定する際に指標における計画の見直しを行い、その目標数値と合わせるため。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	16 社会参加を通じた生きがいづくり								
到達目標	すべての高齢者や障がい者が社会参加により生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★シニア世代の定住化の推進の一環として、地域資源を活かした加西市に相応しいCCRC構想の具体化を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・調査研究			・同左				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★CCRC整備構想とりまとめ【3-61】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 構想推進のための基本構想のとりまとめが第1段階の目標となる		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	国の動向や他事例の把握に努めました。								
課題と今後の取組	中高齢者の人口移動状況だけでなく、既存ストックの活用方策、さらには民間活力の有効活用の可能性等についても十分に検証し、併せて、今後国が提示する予定の参考となるビジネスモデルや参考事例、経済効果・自治体財政への影響の分析結果等も踏まえながら、施策の検討を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・構想策定			—				
	経費(千円)	5,000			—				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 ころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 特定健診やがん検診、歯周疾患検診等の受診率向上のための制度を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課、国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・公民館・JAでの乳がん検診実施 			<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施 				
	経費(千円)	40,914			48,074				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①がん検診受診率(%)	目標		胃 9.3 大腸 23.4 肺 29.6 子宮 13.9 乳 16.0	胃 11.0 大腸 25.0 肺 30.0 子宮 13.9 乳 16.6	胃 13.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 14.0 乳 18.0	胃 15.0 大腸 25.5 肺 30.0 子宮 16.0 乳 20.0	胃 17.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 18.0 乳 22.0	胃 19.0 大腸 26.0 肺 30.0 子宮 21.0 乳 23.0	
	実績		胃 12.6 大腸 22.4 肺 28.2 子宮 13.3 乳 11.6	胃 9.4 大腸 23.8 肺 31.2 子宮 11.1 乳 14.9	胃 7.9 大腸 22.3 肺 30.7 子宮 14.4 乳 14.5	胃 6.7 大腸 22.7 肺 30.9 子宮 15.7 乳 17.0			
(指標及びH32目標値の設定理由)		健康かさい21計画(国の目標値に準拠)	目標数値の達成度	単年度	98%	93%	93%		
			最終年度	76%	76%	78%			
②★がん検診の無料クーポン利用率(%)【5-80】	目標		男14.8 女36.0	男15.0 女37.0	男16.5 女38.0	男18.0 女39.0	男20.0 女40.0	男20.0 女40.0	
	実績		男15.8 女45.5	男15.7 女45.6	男17.5 女55.5				
(指標及びH32目標値の設定理由)		市重点事業として5%の増を目指す	目標数値の達成度	単年度	120%	118%	134%		
			最終年度	87%	102%	122%			
③特定健診受診率	目標		—	—	40.0	44.0	48.0	52.0	
	実績		29.7	—	34.5	39.1			
(指標及びH32目標値の設定理由)		特定健診受診率の向上を図るため、年4%増を設定	目標数値の達成度	単年度	—	—	98%		
			最終年度	—	66%	75%			

平成29年度評価

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 こころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
H29取組状況	41歳(男3がん、女5がん)、子宮がん(21、26、31、36歳)、乳がん(46、51、56、61歳)にクーポンを送付し受診勧奨するとともに、未受診者には再勧奨を行いました。平成29年度より特定健診の無料化を実施し、併せて、老人会と連携した戸別訪問や電話勧奨による受診促進を行ったほか、9月には、未受診者全員に対して積極的な受診勧奨を行いました。その結果、約5%の受診率の向上に繋げることができました。					
課題と今後の取組	今後がん検診が受診しやすい体制を整備していく。がん検診無料クーポン券の配布と共に、がんや健診について啓発し、継続して受診してもらえるよう取り組みます。 主な未受診理由が「医療機関で日常的に受診しているから」であったことから、定期受診と健診の違いや受診方法について、今後も丁寧に説明する等、目標達成に向けて積極的な未受診者対策を実施していきます。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H29)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	93%	78%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	134%	122%		
③	②実行中	B: 予定より遅延	98%	75%		
実施計画						
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診無料クーポン券発行と未利用者への受診勧奨 ・土日の町ぐるみ健診で託児を実施 ・国保加入者の特定健診料金の無料化 ・39歳以下で国保加入者以外の特定基本健診の無料化 ・胃がんリスク検診の実施 	同左			
	経費(千円)	48,074	48,074			
備考						
平成30年度より一部を除き、乳がん検診での視触診を実施しません。 平成29年度より指標として「特定健診受診率」を追加しています。						

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 予防接種の助成制度を拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・アンケート結果を踏まえ助成対象の予防接種種類や助成の方法などを検討 ・医師会との調整				・定期外の乳幼児ワクチン助成の実施			
	経費(千円)	0				991			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★接種助成制度の創設数【1-2】		目標		-	-	-	1	1	1
		実績	-	-	-	-			
(指標及びH32目標値の設定理由)当面は、種類の追加を目指す		目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
			最終年度	-	-	-			
H29取組状況	高齢者肺炎球菌ワクチンの任意予防接種者への助成を引き続き実施しました。乳幼児健診参加者の一部へのアンケート実施や医師会との調整を実施しました。平成30年度からおたふくかぜ任意予防接種費用の一部助成を開始します。								
課題と今後の取組	接種数やニーズについて調査し、継続実施について検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	-	-	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・定期外の乳幼児ワクチン助成の継続実施			同左				
	経費(千円)	991			991				
備考									
助成対象ワクチンの決定と対象者数より経費を再算出しています。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 健診後の結果を生活に活かせるように食生活、運動の相談支援体制を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 23回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・病態別教室の実施 ・運動短期教室での実施 ・運動ポイント事業の開始 			<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 24回/年 ・健診結果説明会 2回/年 ・運動短期教室での実施 				
	経費(千円)	2,530			2,530				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①運動を心がけている人の割合(%)		目標		31.4	(5年に1回の調査)				35
		実績	34	-	-	-			
(指標及びH32目標値の設定理由) 第2次健康かさい21		目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
			最終年度	-	-	-			
②健康相談事業の利用者数		目標		574	1,000	1,025	1,050	1,075	1,100
		実績	-	574	962	791			
(指標及びH32目標値の設定理由) スマイル健康相談、町ぐるみ健診結果説明会、町ぐるみ健診個別相談利用者数		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	77%			
			最終年度	52%	87%	72%			
H29取組状況	運動ポイント事業を実施し、運動への意識の向上と習慣化について取り組むことができました。健康相談や健康教育についても、チラシや広報等でPRし、多くの方に参加していただくことができました。町ぐるみ健診会場では、特定健診受診者の内、一定条件を満たした方を対象に個別相談を実施し、健康づくりについての助言を行いました。また、短期教室でも参加者に季節に合わせたテーマで健康教育を実施しました。								
課題と今後の取組	今後も継続的に取り組み、市民一人ひとりの健康意識を高めるとともに、家族・地域の健康づくりにつながるよう取組めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	-	-	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	77%	72%					

平成29年度評価

政策・施策				
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり			
施策	17 こころとからだの健康づくり			
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。			
実施計画				
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「健診のお知らせ」(全戸配布)に健診後の健康相談場の情報提供 ・町ぐるみ健診会場での個別相談 ・スマイル健康相談の実施 23回/年 ・健診結果説明会 1回/年 ・運動短期教室での実施 	・同左	
	経費(千円)	2,530	2,530	
備考				

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 ころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の健康づくりを目的とした自主的な地区組織活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続				・同左			
	経費(千円)	91				91			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自主組織(いずみ会・ゆうゆう会)による健康づくり普及実績数(健康課との共同実施した事業)		目標		2,499	2,550	2,600	2,650	2,700	2,750
		実績	—	2,499	2,851	2,849			
(指標及びH32目標値の設定理由) 健康づくり普及実績数の増減がみられるため維持向上を目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	112%	110%			
			最終年度	91%	104%	104%			
H29取組状況	小学性・成人男性・高齢者など幅広い年齢層に、地域での出前講座や料理教室、また毎月の食育の日(19日)にバランスのとれた食事(朝食)の内容や摂取の大切さを普及啓発しました。								
課題と今後の取組	第2次食育計画に基づき、継続して食育を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	110%	104%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・いずみ会による地域での活動において、より多くの方へのバランスのとれた朝食の摂取を普及啓発 ・ゆうゆう会による健康福祉まつりでの運動普及を継続			・同左				
	経費(千円)	91			91				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 健康づくりのための拠点施設を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・運動事業の推進 ・保健事業の実施				・同左			
	経費(千円)	55,500				61,851			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
運動事業参加者実人員		目標		364	380	400	420	440	460
		実績	—	364	403	390			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	106%	98%			
健康福祉会館事業のため。毎年5%の利用者増			最終年度	79%	88%	85%			
H29取組状況		H29年度は健康づくり運動の基礎となるストレッチ、筋カトレーニング、ウォーキングを身につけるための教室内容に一新し、健康づくりの推進に取り組みました。運動事業参加者の健康づくりに対する自主性を育むため、利用歴が3年以上の方については、半年間のみ運動教室に参加できる前期・後期システムを導入しました。導入により健康福祉会館の運動器具を使用し、自主的に健康づくりに取り組む「自主トレーニング」の利用者は増加しました。また、地域で集まって自主的に健康づくりに取り組むグループも立ち上がりました。							
課題と今後の取組		運動事業参加者実人員についてはH29年度の目標値を下回る結果となりました。前期・後期システムの導入により、通年の教室参加が出来なくなったことも実人員の低下の理由と考えられます。H30年度は引き続き自主的な健康づくりの必要性を普及啓発するとともに健康福祉会館でも自主的な健康づくりに取り組みやすい環境整備をすすめ、自主トレーニング利用者の増加を図ります。また、運動ポイント事業の参加者や健診受診者などに対してもアプローチし新たな利用者の獲得を目指します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	98%	85%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・運動事業の推進、保健事業の実施			・同左				
	経費(千円)	61,851			61,851				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 こころの健康についての理解を深め、こころの問題を早期に対応できるよう、支援体制を整えます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間の普及啓発に庁外にも場を設ける。 睡眠・休養の講座でこころの健康づくりについて周知する。 				<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間の庁外への普及啓発 睡眠・休養講座でこころの健康づくりを周知 加西市自殺対策計画の策定 			
	経費(千円)	520				3,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
自殺率の減少(3か年・人口10万対) 【減少指標】		目標		24.7	24.0	23.0	22.0	21.0	20.0
		実績	29.5	24.7	18.7	18.8			
(指標及びH32目標値の設定理由) ・加西市は自殺率が県下でも高く推移していた。現在は減少傾向にあるが、動向を確認していく必要がある。 ・自殺率は3か年ごとに評価。1年前のデータが最新となるため1年前の数値とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	122%	118%			
			最終年度	77%	107%	106%			
H29取組状況	自殺予防週間や予防月間に合わせ、横断幕の設置、庁内、図書館等への普及啓発冊子等の設置を行いました。また、こころの健康をテーマに臨床心理士によるセミナーの開催や、「こころの体温計」システムによりこころの健康への普及啓発を行いました。こころの体温計の最後には相談窓口を掲載し、また、相談窓口を掲載した啓発物を配布し、窓口の周知に努めました。また、若い世代にも成人式を利用し、普及啓発を行いました。								
課題と今後の取組	自殺率は低下傾向にありましたが、微増している状況であり、今後も引き続き自殺対策の取組が必要です。平成30年度中に自殺対策計画の策定を予定しており、全庁的な取り組みとして、庁内横断的に、関係者との連携・協働によりさらに対策を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	118%	106%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 自殺対策強化週間・月間での庁外への普及啓発 睡眠・休養講座等でこころの健康づくりの周知 			・同左				
	経費(千円)	600			600				
備考									
自殺対策基本法の改正により市町に自殺対策計画の策定が義務づけられたため、H30年度に策定する事とし、内容を追加します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 ころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 健診や教室を通じて各世代に望ましい食習慣確立のための支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代への正しい食習慣についての教育等を継続。 加西市野菜を食べようプロジェクトは料理教室を実施。 食育に関する市民意識調査アンケート実施・食育計画改訂 				<ul style="list-style-type: none"> 加西市第2次食育推進計画に基づき実施 			
	経費(千円)	6,700				982			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①朝食を欠食する人の割合(%)	目標			20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代27 30歳代15 40歳代14	20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代20 30歳代10 40歳代8
	実績			20歳代32.8 30歳代18.1 40歳代16.9	20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代— 30歳代— 40歳代—	20歳代15 30歳代6.7 40歳代5.0		
	(指標及びH32目標値の設定理由) 若い世代での朝食欠食者が増えているため、減少を目指す。(加西市食育推進計画の目標値)	目標数値の達成度	単年度	—	—	155%			
			最終年度	—	—	132%			
②★野菜を毎食食べる人(%)の割合	目標			13.3	—	15	—	—	18
	実績			—	—	18.5			
	(指標及びH32目標値の設定理由) 生活習慣病予防に欠かせない野菜の摂取量の増加を目指す。(健康かさい21の目標値)	目標数値の達成度	単年度	—	—	81%			
			最終年度	—	—	97%			
③栄養相談実施人数	目標			545	570	600	630	660	700
	実績			—	545	559	601		
	(指標及びH32目標値の設定理由) 望ましい食習慣確立のためには個別の相談で食生活の助言をしていく必要がある。	目標数値の達成度	単年度	100%	98%	100%			
			最終年度	78%	80%	116%			
H29取組状況	大学生や子育て中の母親など若い世代に、正しい食習慣や野菜摂取についての啓発活動を行った。また、健康福祉まつりにおいても、一般市民に必要な野菜の量や毎食野菜を取り入れることなどの啓発の取り組みを行いました。								
課題と今後の取組	第2次食育計画に基づき、野菜摂取を含め正しい食習慣を啓発していきます。								

平成29年度評価

政策・施策						
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり					
施策	17 こころとからだの健康づくり					
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H29)	最終(H32)		
①	②実行中	S: 予定より早く進行	155%	132%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	B: 予定より遅延	81%	97%		
③	②実行中	A: 予定通り進行	100%	116%		
実施計画						
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)		/	
	取組内容	加西市第2次食育推進計画に基づき実施	・同左			
	経費(千円)	982	982			
備考						
平成29年度策定の加西市第2次食育推進計画をもとに、現状に応じた取り組みを実施していきます。						

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 ころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 ★特定不妊治療に対する支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受けられる夫婦に対し、医療費の助成を行う。(上限5万円)			・体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)の医療費助成(上限5万円) ・不育症(2回以上の流産や死産などがあること)の治療費助成(上限15万円)				
	経費(千円)	2,617			3,306				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★特定不妊治療助成年間件数【1-19】		目標		45	48	51	54	60	60
		実績	—	44	40	56			
(指標及びH32目標値の設定理由) 補助実績件数による推計(約25%増)		目標数値の達成度	単年度	98%	83%	110%			
			最終年度	73%	67%	93%			
H29取組状況	兵庫県指定医療機関で体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)を受け、兵庫県特定不妊治療費の助成を受けている夫婦に対し、その治療費から県の1回あたりの助成額を控除した額の助成を行いました。(上限5万円) また、不育症(2回以上の流産や死産等があること)の治療費助成を行いました。(上限15万円)								
課題と今後の取組	引き続き特定不妊治療、不育症の治療助成について広報等で周知を図り支援を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	110%	93%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・体外受精及び顕微授精(特定不妊治療)の医療費助成(上限5万円) ・不育症(2回以上の流産や死産などがあること)の治療費助成(上限15万円)			・同左				
	経費(千円)	3,306			3,306				
備考									
取組内容に不育症助成を追加。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	17 こころとからだの健康づくり								
到達目標	住民一人ひとりが自主的な健康づくりに関心を持ち、家族や地域の健康づくりの輪を広げ、誰もがこころもからだも健康で元気なまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 ★歩くまちづくりの推進のため、市民の誰もが歩いて暮らす健康づくりの環境整備を進めます。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・ポイント付与システムを導入し、歩くことでポイントが付与され、ポイントと電子マネーや地元商品券等と交換できる。			・運動ポイント事業の実施・拡充				
	経費(千円)	14,132			18,355				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★健幸ポイント事業参加者数【5-79】		目標		250	500	750	1,000	1,000	1,000
		実績	—	250	500	1,000			
(指標及びH32目標値の設定理由) 500人定員とし、徐々に増やし倍増を想定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	133%			
			最終年度	25%	50%	100%			
H29取組状況	H29年度参加者500人を新たに募集し、H28年度からの継続者と合わせた1,000人で10月から2月の5か月間、事業を実施しました。県立フラワーセンターの入園や北条鉄道の利用をポイント付与対象に加えたほか、ウォーキングイベントなどのポイント付与イベントも充実させました。ポイントの交換については、電子マネーとの交換を廃止し、地元商店連合会の商品券との交換のみに変更しました。								
課題と今後の取組	H30年度は事業実施期間が約10か月間の長期実施となり、ポイント設定がH29年度より低くなることなど参加者の意欲の低下が予想されます。長期間、意欲的に取り組んでもらうために更なるイベントの充実を図ります。また、事業の実施期間外も事業実施期間と同様の健康づくりが自然に取り組めるよう、健康づくりの習慣化を目指した事業展開を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	133%	100%	S: 目標を大きく上回って達成	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・事業の在り方について見直しの実施			・事業の継続実施				
	経費(千円)	10,000			10,000				
備考									
ポイント事業参加者をH30年度も500名募集し、1500名で実施します。実施方法の変更を検討します。									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり							
施策	18 地域医療体制の充実							
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 医療者の確保と安全な医療体制を構築し、新病院改革プランの策定と着実な病院の運営を実施します。							
主管部課	部名	加西病院			課名			
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの医療講習会への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。積極的に医師確保を図る。・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の育成。病院改革プランの策定			・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。・電子カルテ更新事業			
	経費(千円)	40			390,080			
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域医療市民フォーラムの参加者数	目標	/	230	250	280	300	320	350
	実績	—	232	110	359			
(指標及びH32目標値の設定理由) 一人でも多くの市民の方々に興味を持ってもらい、愛着をもって病院を応援して頂く方を増やすため。	目標数値の達成度	単年度	101%	44%	128%			
		最終年度	66%	31%	103%			
H29取組状況	地域医療フォーラムの共催し、北嶋院長が参加。小・中学生向けの救急救命講習を今年も4中学で実施。住民向けの病院出前講座を8団体で実施した。ワークライフバランスWGを開催して仕事と生活の両立を推進。看護師・研修医の就職説明会へ参加し(計7か所)、実習・見学者も積極的に受け入れた。医師確保については、30年度に向けて、神大派遣以外に消化器内科医1名、泌尿器科医1名、産婦人科医1名、麻酔科医1名を追加で確保できた。・地域多機能型病院を目指して地域包括ケア病棟を2病棟化。新内科専門医研修プログラムの認可により平成30年度に向けて専門医を1名採用した。病院改革プランについては、地域多機能型病院を目指すため、内容・目標を一部変更して実施した。							
課題と今後の取組	平成29年度に地域多機能型病院を目指すこととして、いろんな取組を行ってきた。今後更に、地域にとって必要な病院、地域にとって必要な医療の提供を進めてゆく。 また、平成29年度に地域の方々で構成された、加西病院サポーターの会が結成され、病院内でのボランティア活動や院外での病院認知度向上の活動をしてもらっており、当院も積極的に協力して親しまれる・選ばれる病院づくりを進めたい。 病院の方針として救急患者の受け入れ増を図るため、平成30年度から指標に「救急患者受入数」を追加します。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
	②実行中	S: 予定より早く進行	128%	103%	A: 目標を上回って達成	②継続		

平成29年度評価

政策・施策				
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり			
施策	18 地域医療体制の充実			
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。			
実施計画				
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)	/
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療フォーラムの共催、小・中学生向けの救急救命講習の実施。住民向けの病院出前講座への医師等の派遣。ワークライフバランスの推進。就職説明会へ参加、実習・見学者の受入。緊急的な医師確保の実施。 ・地域包括ケア病棟の運営、医療制度改革への対応、新内科専門医研修プログラムによる専門医の募集・育成。新病院改革プランの着実な実施と適時見直しの実施。 	・同左	
	経費(千円)	80	80	
備考				

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 高度医療の充実と、近隣病院、診療所との連携を強化します。								
主管部課	部名	加西病院			課名				
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの検討・実施。近隣市開業医・病院訪問、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新。照会患者の受け入れ促進と逆紹介の促進			・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(カルテシステム含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進				
	経費(千円)	100,033			420,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西病院への年間紹介患者数		目標	6,900	7,000	紹介率43%、 逆紹介率55% (7,100)	紹介率45%、 逆紹介率60% (7,200)	紹介率47%、 逆紹介率65% (7,500)	紹介率50%、 逆紹介率70% (7,900)	
		実績	6,100	6,782	紹介率53%、 逆紹介率61% (6,166)				
(指標及びH32目標値の設定理由) 診療所等から加西病院への紹介患者数を後期5カ年で1,000人増を目指す		目標数値の達成度	単年度	98%	92%	87%			
			最終年度	86%	82%	78%			
H29取組状況	開業医へのホットライン、開業医・救急への循環器内科のホットラインを運用。循環器ホットラインについては、救急救命士と活用のルール化について意見交換等を行った。近隣市開業医・病院へは、院長以外に消化器内科医、循環器内科医、泌尿器科医も訪問を実施し顔の見える関係づくりを行った。きずなネットの運用継続、予算の範囲内での医療機器の着実な更新、開業医訪問等により紹介患者の受け入れ増、逆紹介患者の増を図った。								
課題と今後の取組	紹介率、逆紹介率ともに目標を上回ったが、全体の患者数の減少に伴い紹介患者数が減少した。今後開業医等との連携を強化して入院患者数の増を図る。 病院の機能を、地域多機能型病院とし、高度急性期医療は大病院との連携により対応、身近な急性期医療の提供と救急の受け入れ及び地域包括ケア病棟の活用に向けて、開業医・近隣の病院との連携をより深めてゆく。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	78%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・開業医へのホットラインの運用継続と循環器内科のホットラインの運用。近隣市開業医・病院訪問の促進、近隣市診療所への情報提供、きずなネットの利用促進。近隣消防署の訪問。医療機器の着実な更新(CT含む)。紹介患者の受入促進と逆紹介の促進			・同左				
	経費(千円)	253,000			230,000				
備考									
目標数値について、新病院改革プランでは、地域中核病院として地域医療支援病院を目指すため、患者紹介率、逆紹介率を数値目標として設定。そのため、目標数値を変更。(地域医療支援病院の認定には、かかりつけ医から紹介を受ける患者紹介率50%以上、治療の終了した患者さんをかかりつけ医に紹介する逆紹介率70%以上)									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 県、医師会、病院との連携を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課・福祉企画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催				・同左			
	経費(千円)	20				20			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病院・診療所数		目標		32	32	32	33	34	35
		実績	27	32	32	32			
(指標及びH32目標値の設定理由) 地域医療の維持の観点から設定。医療機関が不足しているため。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	91%	91%	91%			
H29取組状況	地域医療フォーラムを開催して、地域医療の課題を共有しました。 保健事業検討会を開催して、連携強化に努めました。								
課題と今後の取組	既存の取組を継続しつつ、医師会と連携し他の効果的な取り組みを検討していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	91%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・地域医療市民フォーラムの継続開催 ・保健事業検討会の継続開催			・同左				
	経費(千円)	20			20				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 保健、医療、福祉、介護等との連携を密にし、これらのサービスが適切に受けられる体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	福祉企画課、健康課、長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会の設置				・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置			
	経費(千円)	409				3,461			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域医療市民フォーラム参加者数		目標		320	340	360	380	400	420
		実績	—	320	110	400			
(指標及びH32目標値の設定理由) 保健、医療、福祉、介護等各サービスの現状や課題、展望についてフォーラムにて周知を行うため。		目標数値の達成度	単年度	100%	32%	111%			
			最終年度	76%	26%	95%			
H29取組状況	地域包括ケアシステム推進部会ワーキンググループを立ち上げ、保健・医療・福祉・介護等が包括的に提供される体制構築に向けての検討を行い、介護医療連携マップの作製及び多種職連携情報共有システムの導入、H30年2月には在宅医療介護連携相談室の設置を行いました。また、地域医療市民フォーラムを開催し、地域医療の現状や課題を共有しました。								
課題と今後の取組	医療介護連携相談窓口はH29年度は設置後2か月と短期間であったこともあり、周知が十分にできませんでした。H30年度はさらに周知に努め、医療と介護のスムーズな連携に向けて支援ができるように引き続き推進部会において医療と介護の連携のあり方について協議し、施策の具体化を図っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	111%	95%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・保健福祉推進協議会の開催及び地域包括ケアシステム推進部会における医療介護連携等の推進 ・医療介護連携相談窓口の設置			・同左				
	経費(千円)	3,461			3,461				
備考									
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年2月から加西病院に医療介護連携相談窓口を設置したことによる増額。 ・医療フォーラム(医療・介護フォーラム)に専門講師を呼び、広く市民への広報を図る。 ・598→3,461千円 									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 医師会、歯科医師会による休日や年末年始の医療体制を確保します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知				・同左			
	経費(千円)	4,880				4,880			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
休日及び年末年始の医療体制・加西市医師会・加西市歯科医師会2団体の維持		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	1	2	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 医療体制確保の実績のため		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	前年度と同様加西市医師会による休日診療及び加西市歯科医師会による年末年始の医療体制の確保を行いました。								
課題と今後の取組	平成27年度より開始した、年末年始休日歯科診療の市民への普及が必要です。体制を維持しつつも、適正な受診行動を市民に促すため「医療のかかり方」を周知する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・休日・年末年始の診療体制の維持 ・医療のかかり方、及び小児救急について、医療電話相談センターの周知			・同左				
	経費(千円)	4,880			4,880				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	5 誰もが最期まで元気に暮らせる健康づくり								
施策	18 地域医療体制の充実								
到達目標	地域の中核病院である加西病院とかかりつけ医の連携体制の強化により、地域全体で医療体制を整備し、安心して医療にかかれるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★開設費用に対する補助を行うことにより、市内に新たに産婦人科医院等を誘致し、安心して出産できる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・産婦人科医院等の誘致				・誘致検討			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産婦人科医院等の開設【1-4】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 産婦人科医院等の開設数が指標として適当であり、現在市内にない産婦人科医院をまず1施設開設させることが必要である。		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	平成28年度の庁内プロジェクトチームでの検討の後は、新たな他団体の取組みなどの把握に努めている。								
課題と今後の取組	市立加西病院産婦人科の医師確保及び利用状況並びに今後の出生者数の動向等を踏まえ、民間の産婦人科医院等の開設の必要性及び費用対効果等を念頭に置きつつ検討を進める必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	—	—	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・誘致協議			—				
	経費(千円)	0			—				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 高齢者や障がい者、及びその介護者を支援するため、総合的な支援体制を強化します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護サービスの充実 一時相談窓口業務委託 協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案 			<ul style="list-style-type: none"> 生活介護サービスの充実 一時相談窓口業務委託 協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案 				
	経費(千円)	64,199			45,534				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①生活介護サービス利用者数(延月人数)		目標		1,547	1,560	1,620	1,680	1,740	1,800
		実績	—	1,547	1,639	1,871			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生活介護サービスの利用者数を示すもので、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	105%	115%			
			最終年度	86%	91%	104%			
②一時相談窓口寄せられた相談者数		目標		2,235	2,300	2,370	2,440	2,510	2,580
		実績	—	2,235	2,692	2,169			
(指標及びH32目標値の設定理由) 一時相談窓口への年間延べ相談者を指標とし、H27年度の数値を基準として設定		目標数値の達成度	単年度	100%	117%	92%			
			最終年度	87%	104%	84%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 一時相談窓口は実績が減少しているが、訪問件数では昨年度と顕著な変化はなく、電話相談件数が減少しました。 第一層生活支援コーディネーターは地域のサロン等で地域の現状把握と(実態調査と関係性構築)必要に応じて、他機関へつなぐためのサポートを行いました。また、関係機関との会議等でネットワークづくりに取り組み、今後は第二層コーディネーターと共に地域のインフォーマルなサービスの発見やニーズに対するマッチングを行う必要があります。 障がい者の日中の居場所提供となるサービスにおいて、地域活動支援センターに対して支援を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 一時相談窓口は引き続き福祉を中心に安心して地域生活を送るための総合的な相談窓口であることを周知していく必要があります。地域包括支援センターと一時相談窓口との連携を密にしていきます。 中学校圏域に第二層コーディネーターを配置し、相談と相談解決の一体化を図ります。 障がい者の重度化、高齢化に伴い、安心して生活し続けることができるようなシステム構築が必要です。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	115%	104%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	92%	84%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護サービスの充実 一時相談窓口業務委託 協議体・生活支援コーディネーターによる生活支援サービスの企画立案 			同左				
	経費(千円)	45,534			45,534				
備考									
<ul style="list-style-type: none"> 実施計画書中、「経費」・・・長寿介護課分について、H30 13,922→18,732、H31 13,922→18,732 に変更します。 地域福祉課分については、26,802で変更ありません。 									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ひとり暮らしや高齢者夫婦世帯へ地域に密着した配食サービスを拡充します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・配食サービス				・同左			
	経費(千円)	8,107				8,715			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
配食サービス配食数		目標		400	400	400	400	400	400
		実績	—	295	305	347			
(指標及びH32目標値の設定理由) 理論上最大配食数を目標値として設定		目標数値の 達成度	単年度	74%	76%	87%			
			最終年度	74%	76%	87%			
H29取組状況	概ね65歳以上の高齢者で調理が困難なひとり暮らし及び高齢者世帯を対象に調理・配達ボランティアの協力を得て定期的に、栄養バランスのとれた食事を配達するとともに、対象者の安否確認を実施しました。休止者やキャンセル等があるため目標値の達成が難しい。								
課題と今後の取組	H30年度、民間企業や介護事業所への委託を計画して予算を計上している。地域包括ケアシステムの中で多様なサービスを提供していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	87%	87%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・配食サービス			・同左				
	経費(千円)	8,715			8,715				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 要援護高齢者の通院等外出支援のために移送サービスを充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課、地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス				・同左			
	経費(千円)	941				1,711			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者外出支援サービス事業年間利用延べ件数		目標		300	300	300	300	300	300
		実績	—	291	237	235			
(指標及びH32目標値の設定理由) 開庁日稼働件数を目標値として設定		目標数値の 達成度	単年度	97%	79%	78%			
			最終年度	97%	79%	78%			
H29取組状況	加西市社会福祉協議会に委託し、おおむね65歳以上の車イスを利用している高齢者や障がい者の方で、一般の交通機関では移動が困難で、他の支援を受けることができない方を対象に、リフト付ワゴン車で通院や買い物等の送迎を、有償ボランティアの協力により行いました。								
課題と今後の取組	公共交通施策を含めた移送サービス事業を視野に入れ、利用者の拡大を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	78%	78%	C: 目標を下回っている		③見直し		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・高齢者等外出支援サービス			・同左				
	経費(千円)	1,711			1,711				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域の介護予防リーダーの養成とその活動を支援します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・前期、後期それぞれ4回コースの講座を開催予定			・4回コースの講座を開催予定				
	経費(千円)	36			60				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
介護予防リーダー養成数		目標		300	340	380	420	460	500
		実績	73	301	301	378			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	100%	89%	99%			
前期、後期にそれぞれ4回コースの講座を開催			最終年度	60%	60%	76%			
H29取組状況	社会福祉協議会と共催により、これまで年2度(前期4回、後期4回、通算8回)の講座を開催してきましたが、平成29年度より生活支援サポーター養成講座と共通講座(2回)を設けて、年に1度全4回の講座を実施しました。								
課題と今後の取組	地域活動の発展に繋がっていないことが課題です。生活支援コーディネーターを軸に介護予防に活躍していくシステムを構築していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	99%	76%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・4回コースの講座を開催予定			・同左				
	経費(千円)	60			60				
備考									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし							
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	5 ★大学等との連携による高齢者の介護支援(介護予防)を進めます。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援				・同左		
	経費(千円)	150				40		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	H31
★連携カフェ年間開催数【5-81】		目標	-	2	4	8	16	16
		実績	-	0	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 大学生や子育て中の母親と連携したカフェをH32に16回開催を目指します。		目標数値の達成度	単年度	-	0%	50%		
			最終年度	-	0%	13%		
H29取組状況		連携カフェ年間開催数は開催カフェ数として計上。 1か所は、夜間営業により夕食を提供、地域の高齢者から20代等の若い世代も来店し交流があります。 1か所は、お菓子教室を実施し、子育て中のママ友も集い地域の方とも交流をもつことができました。 認知症カフェは6か所になり、昨年度より1施設増加している。また、認知症カフェ連絡会を立ち上げ、2回実施しました。						
課題と今後の取組		市内に大学がないことから、小中学校と連携を図りながら教育現場と認知症施策を実施していく必要があります。 カフェ連絡会を継続し、他のカフェにも情報提供や情報共有を図り、高齢者や認知症の方だけでなく地域のさまざまな世代の交流の場としていく必要があります。						
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	13%	C: 目標を下回っている	②継続		
実施計画								
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)			
	取組内容	・認知症カフェやサロンへの大学生や子育て中の母親などの連携を支援			・同左			
	経費(千円)	45			50			
備考								
・実施計画中、「経費」・・・H30 300→40、 H31 300→45 に変更します。								

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	19 地域で支え合う安心の暮らし								
到達目標	地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進め、すべての高齢者や障がい者が、住み慣れた地域で心身ともに自立し、健康でいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★あったか声かけ作戦を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	長寿介護課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施			・同左				
	経費(千円)	330			330				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
あったか声かけ作戦の実施地区数		目標		8	11	11	11	11	11
		実績	—	10	11	11			
(指標及びH32目標値の設定理由) 全校区においてあったか声かけ作戦を実施		目標数値の達成度	単年度	125%	100%	100%			
			最終年度	91%	100%	100%			
H29取組状況	各小学校区ごとに1町ずつモデル町を選出し、声掛け作戦を実施しました。、認知症の方へのかかわり方について学び実際に道に迷われた方に対応された方に対応し、安全に自宅へ帰っていただくことができたという声を聴くこともできました。								
課題と今後の取組	認知症高齢者等への声かけについて学んだ方(認知症サポーター)は増えてきていますが、さらに知識を高めていただいたり実践的な活動をしていただくためにはどうすればよいか、関係機関と話し合い、今後の取り組みを考えていく時期が来ています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・あったか声かけ作戦の実施			・同左				
	経費(千円)	330			330				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 災害時要援護者の登録推進を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定			・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定				
	経費(千円)	360			360				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
災害時要援護者台帳登載率(%)		目標		61.5	63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
		実績	—	61.5	61.1	54.7			
(指標及びH32目標値の設定理由) 支援希望の有無について回答のない方198名のうち2/3を台帳に搭載すると想定		目標数値の達成度	単年度	100%	97%	85%			
			最終年度	92%	91%	82%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護度3以上及び重度障がい者で災害時要援護者でない者に対して申請書類を送付しました。 ・社会福祉協議会に委託して福祉委員(民生委員)により訪問調査を実施しました。 ・災害時要援護者台帳を作成し、自治会、民生委員、社会福祉協議会及び消防署に配布しました。 								
課題と今後の取組	H30.2時点で災害時要援護者数1,159名(-192)、支援不要と回答があった未登録要援護者728名(+35)、支援希望の有無について回答がない潜在要援護者231名(+64)と、災害時要援護者が減少する一方で、指標の対象である潜在的な要援護者が増加している。今後、福祉委員(民生委員)の協力も得ながら、支援希望の回答のない方にアプローチしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	85%	82%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・要援護者台帳の更新 ・個別支援計画の策定			・同左				
	経費(千円)	360			360				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 北はりま消防組合との連携や自主防災組織、消防団を支援により強化し、地域防災力の向上に努めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 ・図上訓練 			<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 				
	経費(千円)	1,996			2,643				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
① ★防災訓練・研修年間開催数【5-89】	目標			35	44	53	62	71	71
	実績		—	34	37	30			
(指標及びH32目標値の設定理由) 自主防災組織が2年に1度は訓練実施するように設定		目標数値の達成度	単年度	97%	84%	57%			
			最終年度	48%	52%	42%			
② ★資器材補助団体数	目標			10	12	14	16	18	20
	実績		—	26	51	41			
(指標及びH32目標値の設定理由) 資器材補助団体数の倍増		目標数値の達成度	単年度	260%	425%	293%			
			最終年度	130%	255%	205%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資器材整備補助制度を見直し、毎年50,000円を上限に補助(1/2)することとし(H28.1から)消防関係の資器材を中心に補助申請が増えています。 ・出水期前に土のう作り訓練を実施(2回)しました。 ・地震発生を想定した図上訓練を3小学校区で実施しました。 								
課題と今後の取組	訓練を実施する自主防災組織が固定化しているため、実施していない地域への普及啓発を行いたいと考えます。ただ、土のう作り訓練は2回で27町、図上訓練は3回で39町が参加しており、訓練補助申請町25町と合わせて、延べで91町、重複を省いても70町が訓練を実施しています。資器材補助団体数は、補助制度を見直したこともあり、当初の目標を既に達成していますが、今後も維持又は増加するように啓発していきたいと考えます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	57%	42%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	293%	205%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練費補助40地区 ・資器材整備費補助3地区 ・土のうづくり訓練 			・同左				
	経費(千円)	2,700			2,700				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 通学路防犯灯を増設し、児童の安全対策を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置します。				・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置			
	経費(千円)	16,000				16,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
LED防犯灯設置数		目標		3,700	3,800	3,900	4,000	4,100	4,200
		実績	—	3,776	3,915	4,013			
(指標及びH32目標値の設定理由) 通学路のLED防犯灯を増設して児童の安全を図るために各中学校区に100灯程度を目標に設置		目標数値の達成度	単年度	102%	103%	103%			
			最終年度	90%	93%	96%			
H29取組状況	自治会申請、通学路設置を含めて98灯を設置した。 また、既設置防犯灯においても不具合が生じ、取替えという事態が発生してきています。								
課題と今後の取組	まだまだ、通学路においても必要な場所があるので、積極的に設置していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	103%	96%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・地元の要望に対応しつつ、通学路に積極的に設置			・同左				
	経費(千円)	16,000			16,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 青色防犯パトロールによる巡回活動を充実します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
年間のパトロール実施回数		目標		190	190	190	190	190	190
		実績	—	190	190	190			
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎日計画的に青色防犯パトロールを実施します。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	小中学生の下校時の見守り、また不審者情報を基に当該付近の監視を行いました。								
課題と今後の取組	今後も、警察と協力し、不審者情報等に気を付けながら小中学生の下校時の見守り活動を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・登下校時の見守り ・防犯パトロール			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 警察や交通安全協会等との連携を強化し、免許返納制度を推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発する				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
高齢者における人身事故加害者率(%) 【減少指標】		目標		0.44	0.43	0.43	0.43	0.43	0.43
		実績	0.49	0.44	0.43	0.43			
(指標及びH32目標値の設定理由) 高齢者の運転免許保持者が人身事故を起こす割合を現在の水準より上げない		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	98%	100%	100%			
H29取組状況	前年度に高齢者運転免許自主返納サポート協議会へ加盟して以来、市内業者様に返納特典付与をお願いし、自主返納の推進を行いました。								
課題と今後の取組	警察、交通安全協会等と連携し、免許の自主返納を推進していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・免許更新時、交通安全講習会の際に啓発			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★老朽危険空き家問題に取り組み、安全安心のまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策計画策定 ・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助 				<ul style="list-style-type: none"> ・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助 ・老朽危険空き家のデータベース作成 			
	経費(千円)	0				10,220			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
老朽危険空き家所有者への年間助言・指導数		目標		5	5	5	5	5	5
		実績	—	5	3	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 危険空き家の増加を抑制する。		目標数値の達成度	単年度	100%	60%	40%			
			最終年度	100%	60%	40%			
H29取組状況	2件の指導を行ったが、老朽危険空家の解体の申請はありませんでした。								
課題と今後の取組	平成31年度に空家等対策計画の策定を予定しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	40%	40%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助 ・老朽危険空き家対策計画策定 			<ul style="list-style-type: none"> ・所有者への助言・指導 ・自治会への除却補助 				
	経費(千円)	2,000			2,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	20 防犯・防災のまちづくり								
到達目標	災害対策や地域ぐるみの防犯活動により、地域の安全は地域で守るまちづくりをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 ★防犯カメラの設置により、犯罪の未然防止に努めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	危機管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助				・同左			
	経費(千円)	3,186				3,200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
防犯カメラ設置台数		目標		7	15	20	30	40	50
		実績	—	8	22	44			
(指標及びH32目標値の設定理由) 主要な交差点20カ所 30団体の設置を支援		目標数値の 達成度	単年度	114%	147%	220%			
			最終年度	16%	44%	88%			
H29取組状況	市設置防犯カメラが11基、自治会設置防犯カメラが予定していた数から倍増の11基を設置した。								
課題と 今後の取組	H30年度から市の補助額を倍増したことにより、自治会設置の防犯カメラ数が増加する見込みのため、十分な予算の対応を行います。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	220%	88%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・主要交差点に重点的に設置し、必要とする自治会に設置補助			・必要とする自治会(県の補助を受けたことを前提)に設置補助				
	経費(千円)	5,000			5,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 ★加西市の子ども・子育てでの総合的な拠点施設として、未来型児童館を設置します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ひろば事業の集約 ・利用者支援事業の実施				・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施			
	経費(千円)	40,704				16,206			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値の達成度	単年度	100%	83%	67%			
			最終年度	100%	100%	80%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各ひろばで季節の催事等、親子交流の場を設け、地元の高校や福祉団体と連携し、参加者の拡大と交流を図りました。一方、少子化の影響や低年齢から保育所に入る子どもが増加しており、ひろばの年間延べ利用者は、H28年25,674人からH29年20,350人に大きく減少しました。 ・ねひめキッズについては平成30年3月末に閉園し、類似する事業やイベントの整理を図り、子育てひろばの集約を行いました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の集約を行い、公立の広場は3か所から2か所に縮小しました。その上で、残る2箇所の広場は、これまでの登録制度から、誰もが自由に来訪できる方式に改めました。今後においては、各ひろばが、客待ちの姿勢ではなく、出張広場などのように他施設や地域に積極的に出向いて、働きかける必要があります。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	80%	C: 目標を下回っている	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ひろば事業の充実 ・利用者支援事業の実施			・同左				
	経費(千円)	16,206			16,206				
備考									
<p>低年齢から保育所に入所する児童が増えており、ひろば来園者は減少傾向にあります。新たな施設をさらに増やすよりも、既存施設の集約や活用を図ることが課題となっています。</p> <p>平成30年度予算から療育事業にかかる経費を除きます。(基本計画3と重複するため)</p>									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 健やかな発達の支援のため、乳幼児健診や相談を充実します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ 				<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成 ・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ ・新生児聴覚検査等の費用助成 			
	経費(千円)	28,430				38,581			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★妊婦健診の年間受診延べ件数【1-20】		目標		3,664	3,682	3,699	3,716	3,750	3,750
		実績	—	3,493	3,620	3,183			
(指標及びH32目標値の設定理由) 妊婦数及び妊娠期の健康管理の状況を示すもので、増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	95%	98%	86%			
			最終年度	93%	97%	85%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・周知、利用していただくために母子手帳交付時、乳幼児健診等において、チラシを用いてすくすく相談窓口やプレママ・パパママクラブのPRを行いました。 ・プレママ教室・パパママクラブ、すくすく相談窓口を活用し継続的な支援を行いました。 								
課題と今後の取組	継続的な支援を必要とする妊産婦は依然増加傾向であるため、引き続き支援を行っていきます。H30年度より新生児聴覚検査の助成も開始となるため、検査後異常があった場合早期に支援を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	86%	85%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦健診費用の助成 ・すくすく相談窓口の充実 ・プレママ教室、パパママクラブ ・新生児聴覚検査等の費用助成 			・同左				
	経費(千円)	38,581			38,581				
備考									
新生児聴覚検査を新規に実施します									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 教育と福祉、保健部門とのネットワークを活かした子育て支援や療育相談の機能を高めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化				・同左			
	経費(千円)	20,527				20,527			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子育てひろば事業・児童館の充実【1-6】		目標		5	6	6	6	5	5
		実績	—	5	5	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子ども・子育て支援事業計画に基づく数値 H28年からひろば1ヶ所増		目標数値の 達成度	単年度	100%	83%	67%			
			最終年度	100%	100%	80%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・発達相談等のあった園児42名を対象に、個々の実態調査を行い、支援担当職員を27名配置しました。私立園には加配職員配置助成措置を4件講じて、園児の生活の様子や保護者との対応に関する相互理解を図りました。 ・発達支援児の指導計画を基に個々の支援ファイルを作成し、保幼小職員間で支援ファイルをもとに情報の共有化を進めました。特に就学前の児童については保育者、関係機関が保護者との相談を重ねながら、体験入学等、円滑な接続に取り組みました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブ教育を進めていくために、職員は研修に参加して特別支援教育の専門知識と実践力を高め、個々の園児に合った支援の方法を探っていく必要があります。 ・支援を必要とする園児数が年々増加しており、加配職員の確保が厳しい状況であります。丁寧な関わりがもてる環境を整えるため、引き続き職員の確保と育成に努めていきます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	80%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・児童療育室と他部署との連携強化			・同左				
	経費(千円)	20,527			20,527				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 地域ぐるみの子育て支援により児童虐待防止を推進します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 				<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 			
	経費(千円)	9,392				9,980			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
相談窓口啓発カードの配布枚数		目標		350	400	500	600	700	800
		実績	29	350	360	1270			
(指標及びH32目標値の設定理由) 相談窓口の周知は早期発見・対応に不可欠であり、配布枚数は啓発の進捗状況を示す。		目標数値の達成度	単年度	100%	90%	254%			
			最終年度	44%	45%	159%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードをすべての新生児がいる家庭への訪問時と健康福祉まつり等で配布し、普及啓発を図りました。 児童福祉法の改正に合わせて、加西市虐待防止対応マニュアルを改訂しました。 こんにちは赤ちゃん事業を通じて、民生委員児童委員に早期発見・早期対応、予防の重要性を知っていただくよう努めました。また民生委員児童委員から対応を依頼された家庭に専門職が延121回訪問等により育児相談を実施しました。 								
課題と今後の取組	普及啓発により相談の重要性は周知されてきたように思いますが、市民がどこへ相談されても、スムーズに支援が受けられる体制になっていない現状です。今後は相談窓口啓発カードや虐待防止対応マニュアルの活用等により、関係機関の協力連携を図り、育児支援や虐待の早期発見・早期対応に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	254%	159%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口啓発カードの作成・配布 相談体制整備、充実 要保護児童対策地域協議会の充実 			・同左				
	経費(千円)	9,980			9,980				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 学校との連携を強化し、学童保育を充実します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・11園の運営				・富合学童保育園分園 15園(各校1園、北条・北条東・ 富田・富合各2園)			
	経費(千円)	70,450				80,891			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
学童保育受入率(%)【1-23】		目標		100	100	100	100	100	100
		実績	82.9	100	97	81			
(指標及びH32目標値の設定理由) 11園で運営し受入枠を拡充		目標数値の 達成度	単年度	100%	97%	81%			
			最終年度	100%	97%	81%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安全に生活できるよう富田学童保育園舎を拡充するなど環境整備に努めました。 ・計画的に指導員の研修会を開催し、毎月の連絡会とともに指導員の共通理解を深めました。また、県の資格認定研修に指導員6名が参加し、研修を終えました。 								
課題と今後の取組	・今後も学童保育指導員の計画的な採用と育成支援に努めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	81%	81%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・富合学童保育園分園 15園(各校1園、北条・北条東・ 富田・富合各2園)			・同左				
	経費(千円)	80,891			80,891				
備考									
平成30年度の予算要求額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 認定こども園の整備による幼保一体化を促進し、民間活用も含めた保育・教育の拡充を進めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・加西こども園の開設 ・北条ならの実こども園の整備 ・(仮称)泉こども園の用地取得			・北条ならの実こども園の開設 ・(仮称)泉こども園の整備				
	経費(千円)	581,514			210,976				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
認定こども園の普及(園)【1-22】		目標		5	5	6	7	7	7
		実績	—	5	5	6			
(指標及びH32目標値の設定理由) H29年に1ヶ所、H30年に1ヶ所認定こども園を開設		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	71%	71%	86%			
H29取組状況		<ul style="list-style-type: none"> 平成29年4月に加西こども園を開設しました。次いで3番目の公立認定こども園となる北条ならの実こども園が完成しました。さらに、(仮称)泉こども園の建設用地を確保するため、地権者、関係機関と交渉し、用地を取得しました。 泉中学校区のこども園整備計画について、小学校区ごとに説明会を開催し、待機児童の抑制と保育と教育の一体的な提供や人的体制の必要性を訴え、計画を決定しました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 新たなこども園整備については待機児童の解消、保育士の確保等、預かる側からの説明になりがちであり、こども園の魅力や新たな特色となる内容に関しては、大いに保護者にPRしていく必要があります。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	86%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・(仮称)泉こども園の整備			—				
	経費(千円)	914,460			—				
備考									
工事内容の変更をします。泉こども園の整備に着手します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 保育料の無料化等、保護者の負担軽減を図ります。								
主管部課	部名	教育委員会 ふるさと創造部			課名	こども未来課 人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券の配布			・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討				
	経費(千円)	172,206			172,206				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★保育料等の無料化対象年齢【1-12】		目標	—	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳	4・5歳
		実績	—	4・5歳	4・5歳	4・5歳			
(指標及びH32目標値の設定理由) 4・5歳児保護者の負担軽減を維持する		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
②★子育て応援券制度対象者数【1-7】		目標	—	—	—	900	1,300	1,300	1,500
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て応援券制度対象者の増加を図る		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	・保育料の無償化は、平成28年度から加西市、小野市で実施しており、平成29年度には三木市、西脇市、加東市、多可町も加わり、北播全市町で4、5歳児の保育料が無償になっています。そのうち三木市は3歳児まで無料にしており、加東市は保育料を軽減するための補助金として3歳児までを対象に月額6千円を補助することで軽減を図っています。平成29年度も前年同様、4・5歳を対象に負担軽減を実施しています。								
課題と今後の取組	・保育料の無料化については国の動向を注視します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	—	—					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・4・5歳児の保育料の無料化 ・子育て応援券制度の検討			・同左				
	経費(千円)	172,206			172,206				
備考									
<p>保育料の無料化に伴う経費は財政負担額を明確にするため、予算トピックスのとおり提示しています。</p> <p>保育料の無料化に伴う経費は予算要求とならないため削除します。また、子育て応援券制度について引き続き検討を行います。</p>									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	8 子育てひろば事業や病児・病後児保育等の利用を促進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・病児保育の実施				・同左			
	経費(千円)	14,738				12,606			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
病児病後児保育施設年間利用者数【1-13】		目標		300	400	400	400	500	500
		実績	—	411	475	623			
(指標及びH32目標値の設定理由) H27年の実績を基に目標を設定する		目標数値の 達成度	単年度	137%	119%	156%			
			最終年度	82%	95%	125%			
H29取組状況	・病児・病後児保育事業の利用が広がり、29年度は開設から3年目で目標であった600人を上回ることができました。								
課題と今後の取組	・周知が進み、年々、利用者が増えています。今後も事業者と制度に対する保護者の評価を高めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	156%	125%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・病児保育の実施			・同左				
	経費(千円)	12,606			12,606				
備考									
平成30年度の予算要求額に変更します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	9 地域の保育サポーターやプレイリーダーを養成します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知				・同左			
	経費(千円)	2,906				3,851			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ファミリーサポートセンター協力会員数【1-21】		目標		60	61	62	63	65	65
		実績	29	60	61	57			
(指標及びH32目標値の設定理由) 協力会員数は、地域の保育サポーターを示すもの。現状より会員増(約1人/年)を設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	92%			
			最終年度	92%	94%	88%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会報(ファミサポだより)を全ての会員に郵送し、活動状況等の周知に努めました。 ・安心して活動が行えるよう会員養成講座を開催し、協力会員の資質向上を図りました。また、ファミサポ活動への理解と会員増、利用増を図るため、会員交流会を開催しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポートクラブ活動の周知・啓発に努めます。 ・現在は協力会員の協力により、利用者の要望にほぼ対応できる体制になっていますが、今後は新たな要望にも対応できるよう普及啓発により協力会員の増を図ります。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	92%	88%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・会員養成講座、会員交流会の充実 ・会報発行等を通じた活動の周知			・同左				
	経費(千円)	3,851			3,851				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	10 中学3年生までの医療費自己負担無料化について、継続して実施します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	国保医療課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施				・同左			
	経費(千円)	159,021				174,675			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
中学3年生までの医療受診件数【1-18】		目標		82,496	83,000	83,500	84,000	84,500	85,000
		実績	—	81,456	84,042	83,119			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子どもの増加に伴い、受診件数が増えることが予想されるため、受診件数を評価指標としています。		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	100%			
			最終年度	96%	99%	98%			
H29取組状況	<p>中学3年生までの医療費無料化を継続して実施するとともに、公費負担医療助成については、制度が周知されてきたことにより申請件数が増加しました。また、出生や転入者などの新規対象者について、受給者証交付時に使用方法の丁寧な説明を行い、確実に助成をうけていただけるように案内しました。</p>								
課題と今後の取組	<p>県内では、所得制限を撤廃する自治体が増加傾向にあり、今後も他市町の動向に注視していきます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	98%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・中学3年生までの医療費無料化及び公費負担医療助成事業の継続実施			・同左				
	経費(千円)	174,675			174,675				
備考									
直近約2年間の実績を踏まえ、経費を見直したものです。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	11 ★妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談や産後ケア等の支援体制を整備します。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	健康課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・産後ケア事業の継続				・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続 ・産婦検診費用の助成			
	経費(千円)	362,500				4,814			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★産後ケア事業の利用率(%)【1-3】		目標		—	3.0	6.0	8.0	10.0	10.0
		実績	—	—	16.7	9.3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業についての周知が広がることで利用者が 増加することを見込む		目標数値の 達成度	単年度	—	557%	155%			
			最終年度	—	167%	93%			
H29取組状況	H28年度に引き続き、妊娠期から支援の必要な妊婦に介入をしました。 産後に協力者がおらず、心身の不調や強い負担がある方に対し、産後ケアの利用を勧奨しました。 また、早期介入により、家族内での協力体制の構築を促すような支援にも力を入れています。								
課題と 今後の取組	妊娠期から継続した介入を行うことで必要な対象者を産後ケア利用につなぐことができました。 今後も継続し、産後ケアを実施していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	155%	93%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・産後ケア事業の継続 ・乳房ケア事業の継続 ・産婦検診費用の助成			・同左				
	経費(千円)	4,814			4,814				
備考									
新規に産婦検診費用の助成を実施します。									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり							
施策	21 安心できる子育て支援							
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	12 ★ひとり親家庭の支援を行います。							
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備 			<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備 			
	経費(千円)	1,458			2,785			
指標名	区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
		当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ひとり親家庭の支援制度のメニューの充実【1-5】	目標		-	-	-	-	1	1
	実績	-	-	-	-			
(指標及びH32目標値の設定理由) ひとり親家庭の支援施策整備のための追加メニュー数	目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
		最終年度	-	-	-			
H29取組状況	・H28児童扶養手当現況時に実施したニーズ調査の結果、中高生の入学時の補助の増額、学用品のリサイクル希望、医療費や家賃の補助等の助成希望が多いことがわかりました。結果を踏まえ、必要な支援を検討しました。							
課題と今後の取組	・ニーズ調査では金銭的な補助の要望が多いため、関係課や財政課等と協議を行い、具体的に制度の整備を行います。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針	
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
	②実行中	A: 予定通り進行	-	-	B: 目標を達成		②継続	
実施計画								
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現行事業(児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付、母子家庭等自立支援給付金事業、ファミリーサポートクラブ利用料助成事業)の実施 ・ニーズ調査を踏まえ、支援制度整備 			・同左			
	経費(千円)	2,785			2,785			
備考								

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	13 ★子育て応援企業の支援を行います。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	産業振興課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・セミナーの実施				・同左			
	経費(千円)	50				50			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★子育て応援企業セミナー年間参加者数【1-8】		目標		-	-	30	30	30	30
		実績	-	-	-	81			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て応援に取り組む企業の支援数で、年間30名の参加を目標設定。		目標数値の達成度	単年度	-	-	270%			
			最終年度	-	-	270%			
H29取組状況	2/23(参加者29名)、3/16(参加者52名)に実施したワークライフバランスセミナーと併せて「くるみん認定」(子育て応援企業)の説明を実施しました。								
課題と今後の取組	子育て世帯にやさしいサービスの実施や、子育てしやすい職場の環境整備に取り組む企業を支援するため、関係機関と連携し、育休等の取得を促進するセミナー等を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	270%	270%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・セミナーの実施			・同左				
	経費(千円)	50			50				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	14 ★「赤ちゃんの駅」の指定を行い、子育て支援を行います。								
主管部課	部名	健康福祉部			課名	地域福祉課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定 ・民間施設への協力依頼				・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。			
	経費(千円)	10				25			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「赤ちゃんの駅」設置数【1-9】		目標		—	5	7	10	13	15
		実績	—	—	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 子育て家庭の外出支援の充実を図るもの。		目標数値の達成度	単年度	—	0%	0%			
			最終年度	—	0%	0%			
H29取組状況	・公共施設の授乳室、おむつ交換台等の設置状況調べをもとに各施設へ依頼準備をしました。								
課題と今後の取組	・「赤ちゃんの駅」の指定に向け、所管課と早急に協議を行い、整備します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	0%	0%	D: 目標を大きく下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・公共施設の「赤ちゃんの駅」指定。 ・民間施設への協力依頼及び指定。			・同左				
	経費(千円)	25			25				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	15 ★遊びながら学べる屋内遊具施設を誘致し、雨の日でも遊べる環境を整備します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・調査研究				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★屋内遊具施設の誘致【1-10】		目標		—	—	—	—	1	1
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由) 屋内遊具施設の誘致数が指標に適している。		目標数値の 達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	市内大手ショッピングセンターに屋内遊具施設等の設置について協議をしました。								
課題と今後の取組	屋内遊具については集客力のある店舗等での設置が最も効果的であることから、市内大手ショッピングセンターに継続して協議する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	—	—	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・誘致			—				
	経費(千円)	0			—				
備考									
民間活力を活かした調査とするため									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	16 ★空き家を活用した子育て支援を行います。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集			・同左				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★空き家を活用した子育て支援施設数【1-11】		目標		-	-	-	-	1	1
		実績	-	-	-	-			
(指標及びH32目標値の設定理由) 必要が生じた時点で目標年度を設定する		目標数値の達成度	単年度	-	-	-			
			最終年度	-	-	-			
H29取組状況	地域交流拠点施設における子育て支援の用途利用について検討した。								
課題と今後の取組	空き家に限定せず、子育て施設の活用を図るため、保育事業者を広く公募を行う予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	①未着手	-	-	-	C: 目標を下回っている	③見直し			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ニーズや受け皿に関する情報収集			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	17 ★子育て情報の発信に努めます。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	こども未来課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信				・同左			
	経費(千円)	713				713			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★「子育てNAVII」1日平均閲覧数【1-14】		目標		60	60	100	150	300	300
		実績	—	50	273	1,397			
(指標及びH32目標値の設定理由) 登録数により5倍増を設定		目標数値の 達成度	単年度	83%	455%	1397%			
			最終年度	17%	91%	466%			
H29取組状況	・子育て専用掲示板の設置、ハンドブックの配布、メール配信サービス等を活用し、子育て全般に関する情報発信の強化に努めました。 ・「子育てNAVII」というウェブページの利用が広がり、年間閲覧数は、99,000件から510,000件(1日平均1,397件)に伸びました。								
課題と今後の取組	・加西市ならではの子育て支援情報を発信し、引続き登録者の増加に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	1397%	466%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・子育てNAVIIによる子育て情報の発信			・同左				
	経費(千円)	713			713				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	18 ★多子世帯及びひとり親家庭の下水道基本料金を減免し、子育ての経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免。				・同左			
	経費(千円)	10,665				12,206			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★下水道基本料金の減免年間世帯数【1-15】		目標		560	590	620	650	700	700
		実績	—	630	624	615			
(指標及びH32目標値の設定理由) 様々な子育て支援策を講じることにより多子世帯数を年々30名程度増加させる。		目標数値の達成度	単年度	113%	106%	99%			
			最終年度	90%	89%	88%			
H29取組状況	就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金を減免しました。								
課題と今後の取組	加西市における多子世帯の状況を踏まえ、第3子以降が適当なのか、第2子以降が適当なのか等を考慮しながら、制度の見直しや減免の範囲等について検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	99%	88%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・就学前の子どもがいるひとり親家庭及び第3子以降が小学生以下の家庭の下水道基本料金減免			・同左				
	経費(千円)	12,500			12,500				
備考									
減免対象者の増加によりH30及びH31年度の経費を増額しました。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	6 身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり								
施策	21 安心できる子育て支援								
到達目標	家庭や仕事の条件に関わらず、誰もが安心して子どもを産み育てられるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	19 ★乳幼児のいる世帯等に市指定ごみ袋を配布し、経済的負担の軽減を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給				・同左			
	経費(千円)	1,058				1,380			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★ごみ袋年間支給枚数(万枚)【1-16】		目標		12	12.5	13	13.5	15	15
		実績	—	10	11.2	8.9			
(指標及びH32目標値の設定理由) 様々な子育て支援施策等の実施により乳幼児保護者世帯を年々増加させ、支給枚数を2割増加させる。		目標数値の達成度	単年度	83%	90%	68%			
			最終年度	67%	75%	59%			
H29取組状況	乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対し指定ごみ袋の支給を行いました。								
課題と今後の取組	ごみ処理の広域化等によるごみ袋の販売金額、出生者数の状況及び生活保護世帯への支援内容等を踏まえながら制度の見直しを行う必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	68%	59%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・乳幼児保護者世帯(3歳未満の乳幼児と生計を一にする世帯)や生活保護世帯等に対する指定ごみ袋支給			・同左				
	経費(千円)	1,500			1,500				
備考									
想定していたより対象者が減少したため、H30及びH31年度の経費について減額します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 住民参加による地域の里山整備を支援します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理			・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理				
	経費(千円)	1,000			1,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
里山整備箇所数(毎年)		目標		10	10	10	10	10	10
		実績	0	8	9	10			
(指標及びH32目標値の設定理由) 予算の範囲内で小学校区に1つ程度の整備を想定		目標数値の達成度	単年度	80%	90%	100%			
			最終年度	80%	90%	100%			
H29取組状況	集落共有林等の山林を整備することにより美しい里山の再生を図るため、10団体に対し補助金を交付しました。								
課題と今後の取組	集落の住環境と里山との共生を図り、美しい里山を整備していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・里山の雑木等の皆伐、間伐などによる維持管理			同左				
	経費(千円)	1,000			1,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 企業や都市住民を募り、里山ふれあいの森、企業の森として都市部との相互交流を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・企業による森づくり活動				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
企業の森面積(ha)		目標		4	8	8	8	8	8
		実績	0	0	8	8			
(指標及びH32目標値の設定理由) 市内の活動フィールド候補地面積		目標数値の 達成度	単年度	0%	100%	100%			
			最終年度	0%	100%	100%			
H29取組状況	企業と連携し、都市住民参画により里山の整備を行います。								
課題と今後の取組	都市住民との交流を促進し、里山整備を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・企業による森づくり活動			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 市内の自然環境に生息する多様な生物を調査、把握し、保全、回復と利活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> あびき湿原の保全活動及び地域活性化への活用への支援 兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業 				<ul style="list-style-type: none"> 動植物生態調査検討 普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成) 			
	経費(千円)	6,260				991			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
兵庫県立人と自然の博物館と連携した普及啓発事業の参加人数(親子向けに夏休み等に実施している環境を学ぶバスツアー)		目標		108	54	54	54	54	54
		実績	—	108	54	54			
(指標及びH32目標値の設定理由) ・自然環境の保全の関心を喚起した人数としました。目標値は参加可能人数としています(マイクロバス2台分)。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	200%	100%	100%			
H29取組状況	<p>【あびき湿原関係】来場者より要望が多いため、市と県が補助を行い、あびき湿原内に保存会がバイオトイレを設置しました。また、保全活動を推進するため、ソフト面の支援を行いました。</p> <p>【兵庫県立人と自然の博物館関係】夏休みに「環境ものづくりと光る鉱物を見るバスツアー」を実施しました。博物館で特注セミナーを受講、環境に配慮した配ものづくりを行っている工場の見学を行いました。</p>								
課題と今後の取組	<p>【あびき湿原関係】あびき湿原だけでなく、他の地域の自然資源についても保全・活用を推進する仕組みが必要となっています。他地域の自然環境を把握するため、H30年度より動植物生態調査の検討に入ります。</p> <p>【兵庫県立人と自然の博物館関係】毎回、参加希望者が参加希望人数を大幅に超過し、抽選となっています。子ども対象だけでなく、中高生、大人まで、様々な層に知的関心をもって頂く企画の検討・工夫に取組みます。</p>								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 動植物生態調査実施 普及啓発事業(人と自然の博物館へのバスツアー、パンフレット作成) 			・同左				
	経費(千円)	991			991				
備考									
あびき湿原へのハード整備はH29年度バイオトイレ整備補助完了をもって終了とします。H30年度より市内の動植物の生態調査を行うための検討に入り、本格実施に向けて取組むため、増額となっています									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 老朽化による決壊等、危険度の高いため池を順次改修します。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・県営ため池改修 4池着工			・県営ため池改修 3池着工				
	経費(千円)	27,922			15,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ため池改修箇所数(件)		目標		1	4	8	11	13	15
		実績	—	1	2	8			
(指標及びH32目標値の設定理由) 危険ため池が21箇所あり、H32までに半数以上を改修する。		目標数値の達成度	単年度	100%	50%	100%			
			最終年度	7%	13%	53%			
H29取組状況	事業着手(三口町、坂本町、田谷町)5池、調査設計(西笠原町、下若井町)3池を実施しています。								
課題と今後の取組	防災の観点から引き続きため池改修を行っていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	53%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・県営ため池改修 2池着工			・同左				
	経費(千円)	204,400			28,700				
備考									
県営ため池事業費の経費について、県計画に基づき変更									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 有害鳥獣対策による農作物の被害を防ぐために関係機関との連携を図ります。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業 				・同左			
	経費(千円)	36,699				33,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
有害鳥獣年間被害額(千円) 【減少指標】		目標		25,000	24,000	23,000	22,000	21,000	20,000
		実績	27,284	18,963	17,819	13,587			
(指標及びH32目標値の設定理由) 農業被害額を5年間で2割削減を目指す。		目標数値の達成度	単年度	124%	126%	141%			
			最終年度	105%	111%	132%			
H29取組状況	市南部に重点を移し防護柵10.4kmを設置し、猟友会と連携しながら有害鳥獣の駆除を実施しました。								
課題と今後の取組	被害軽減を進めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	141%	132%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害防護柵の設置 ・有害鳥獣駆除委託事業の強化 ・シカ緊急捕獲対策事業 			・同左				
	経費(千円)	33,000			33,000				
備考									
北部被害地区の獣害防護柵の設置が完了し、南部へと移行したことにより施工延長減となったため、経費を33000千円にしたものです。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	22 自然と共生する里地里山づくり								
到達目標	地元住民や都市住民によって整備された里山をはじめ、田畑、ため池、河川に様々な生き物が溢れる自然環境をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 耕作放棄地の解消と農地の有効利用を進めます。								
主管部課	部名	地域振興部			課名	農政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地利用集積円滑化事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 			<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地中間管理事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
耕作放棄地面積(ha) 【減少指標】		目標		10	10	9	9	8	8
		実績	16	11	11	7			
(指標及びH32目標値の設定理由) 農地パトロールの結果と営農組合組織率から設定。		目標数値の達成度	単年度	90%	90%	122%			
			最終年度	63%	63%	113%			
H29取組状況	放棄地の発生を未然に防ぐため、集落営農組織化及び法人化、新規参入等を積極的に推進しました。								
課題と今後の取組	果樹参入希望者の増に伴う耕作放棄樹園地の再整備を検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	122%	113%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地調査の実施 農地中間管理事業 農業委員会耕作放棄地解消活動 			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
農地利用円滑化団体事業から農地中間管理事業へ移行となったものです。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 市内の観光資源をガイドブック化して、周知を強化します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西ふーど記Ⅳの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等				・定住自立圏ガイドブックの作成等 ・多言語パンフレットの作成			
	経費(千円)	1,500				2,250			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
観光関連パンフレット、ガイドブック作成数		目標		5	6	7	8	9	10
		実績	—	5	6	7			
(指標及びH32目標値の設定理由) 毎年一種類は新しく掘り起こしたガイドブックを作成することを目標とする。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	50%	60%	70%			
H29取組状況	北はりまサイクルマップの作成、加西ハイキングマップの更新、加西四季彩マップ(多言語)の作成を行った。								
課題と今後の取組	多言語案内の整備や市街地ガイドマップの作成を検討する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	70%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西グルメガイドの作成 ・定住自立圏ガイドブックの作成等			・定住自立圏ガイドブックの作成等 ・フラワーツーリズムガイドブックの作成等				
	経費(千円)	1,250			1,250				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ふるさと加西の魅力再発見事業を展開します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	文化・観光・スポーツ課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・テーマを決めて、年3回フォトコンテストを開催するとともに、カレンダーを作成する。				・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座			
	経費(千円)	500				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
フォトコンテストへの出品数		目標	/	190	200	210	220	230	240
		実績	-	190	173	104			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市の良さを発見してもらうフォトコンテストを行い、出品数の3割増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	87%	50%			
			最終年度	79%	72%	43%			
H29取組状況	ふるさと加西フォトコンテストを実施、優秀作品を集めたカレンダーを作成								
課題と今後の取組	多くの方に関心を持ってもらい、出品数を増加させるために、イオン加西北条で展示を行う。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	43%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・テーマを決めた年3回フォトコンテストの開催 ・カレンダーの作成 ・こども狂言塾の支援 ・播磨国風土記探訪講座			・同左				
	経費(千円)	1,500			1,500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 広告物の表示については、景観との調和に努めます。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時に、屋外広告物条例に基づく指導により、景観との調和に努める				・同左			
	経費(千円)	5,084				5,311			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
屋外広告物手続き件数		目標		40	100	60	120	80	140
		実績	95	55	97	61			
(指標及びH32目標値の設定理由) 手続き件数を増加することで広告物と景観との調和を図ることを目標に設定		目標数値の達成度	単年度	138%	97%	102%			
			最終年度	39%	69%	44%			
H29取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物の違反広告物/パトロールを北播磨地区合同で実施しました。 ・屋外広告物の新規申請及び更新申請を遅滞なくおこないました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・建築物の許可及び確認申請を利用し、屋外広告物の新規申請数の増加に努めます。 ・違反広告物の是正指導に努めます。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	44%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・屋外広告物の新規申請時及び更新手続き時の屋外広告物条例に基づく指導			・同左				
	経費(千円)	5,100			5,100				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 開発調整条例に基づく景観に配慮した適正な土地利用を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・開発調整条例に基づき、実態に即した適切な指導と助言により、景観や環境に配慮した土地利用に努める			・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
開発調整条例に基づく事前協議件数		目標		30	30	30	30	30	30
		実績	—	35	38	35			
(指標及びH32目標値の設定理由) 近年の協議件数の動向から設定		目標数値の 達成度	単年度	117%	127%	117%			
			最終年度	117%	127%	117%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業の事前調整を図ることで、周辺住民とのトラブルの防止に努めました。 ・関係部署への手続きの照会等、各種法令上の手続きと連携を迅速に行いました。 								
課題と今後の取組	・継続して、事前協議と適切な指導に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	117%	117%	A: 目標を上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・開発調整条例に基づく実態に即した適切な指導・助言			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	7 自然環境の保全と特色ある景観づくり								
施策	23 加西の風土を活かした景観づくり								
到達目標	地域固有の生活文化や豊かな自然環境を守り育て、住民が誇りを持って次の時代に受け継いでいくまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 花咲くまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成				・同左			
	経費(千円)	2,300				2,200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
住民ボランティアによる植栽ポット数(万ポット)		目標		11	11	11	11	11	11
		実績	11	11	11	11			
(指標及びH32目標値の設定理由) 配布し花を植えられる施設数より設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーセンター、播磨農高での育苗を行い、公共施設や老人会花壇等に植栽を行うことで、加西市の美しい環境を更に推進する花咲くまちづくりに努めました。 ・育苗作業に取り組む花づくりボランティアや老人会会員の生きがいや交流の場を創出しました。 								
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・資材単価が高騰していますが、目標とする花の配布数の確保に努めます。 								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・花づくりボランティア(フラワーセンター)にて花苗5万ポット、市老連(播磨農高)にて花苗6万ポットを育成			・同左				
	経費(千円)	2,100			2,100				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 公共施設の新築、改築の計画、設計等に省エネルギー基準やガイドラインを設け、適用します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・デマンド監視システムの運用				・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市庁舎の電気使用量(kwh) 【減少指標】		目標		906,925	897,856	888,877	879,988	871,189	862,477
		実績	953,664	900,100	852,000	825,105			
(指標及びH32目標値の設定理由) ・デマンド監視システムを運用している市庁舎の電気使用量を指標としました。目標値は省エネ法に基づき年1%削減となる数値としています。		目標数値の達成度	単年度	101%	105%	107%			
			最終年度	96%	101%	104%			
H29取組状況	デマンド監視システムを適切に運用し、夏場、冬場の空調の際に、一度に全空調稼働させずに、順次移動させて、電力負荷が上がらないように努めました。特に議会会期中は、空調稼働が集中することから市庁舎の稼働を控えるなどの対策を講じました。また、ヒートポンプチャラーの温度を夏場は高め、冬場は低めに設定することで、加熱・冷却に要する消費電力量の削減に努めました。								
課題と今後の取組	現行の取組を継続していきます。ただし、気候によって電気使用量が増加することもあります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	104%	S: 目標を大きく上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・デマンド監視システムの運用 ・環境マネジメントシステムの運用と自治体間相互環境監査の実施			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 民間による環境技術、新製品研究開発及び環境産業を行うための施設整備への助成、融資を行います。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	都市計画課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・新たな制度設計の検討				—			
	経費(千円)	0				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
グリーンハウス建築促進補助金受付件数		目標		10	28	28	28	28	28
		実績	—	10	25	27			
(指標及びH32目標値の設定理由) グリーンエナジーシティ構想に基づいた住宅 団地における建築の見込み件数にて設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	89%	96%			
			最終年度	36%	89%	96%			
H29取組状況	・グリーンハウス建築促進補助金の受付・支払いの業務を滞りなく行いました。								
課題と 今後の取組	・H29年度で事業完了しました。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	96%	96%	B: 目標を達成	①完了			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	—			—				
	経費(千円)	—			—				
備考									
※ヴェルデ下里着工に伴うため、H29で事業完了予定									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	24 省エネ・蓄エネ・創エネの推進								
到達目標	温室効果ガスの削減等、環境負荷を軽減する取り組みと、加西で生産した再生可能エネルギーを加西で蓄え、加西で消費する「エネルギーの地産地消」が進められるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 住宅用太陽光発電システム、電気自動車、蓄電池等の導入を促進支援します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西市住宅用太陽光発電システム設置補助金 ・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金				・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金			
	経費(千円)	2,867				2,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
加西市内の太陽光発電導入容量(kw)		目標		37,285	55,000	60,000	65,000	70,000	75,000
		実績	—	52,758	63,099	64,317			
(指標及びH32目標値の設定理由) ・創エネの指標として導入が続いている太陽光発電の導入容量としました。目標値は、経済産業省発表の導入予定量の半分程度を見込んだ数値としました。		目標数値の達成度	単年度	141%	115%	107%			
			最終年度	70%	84%	86%			
H29取組状況	H29年度より住宅用太陽光、電気自動車とともに住宅用蓄電池に対する設置補助金を創設しました。実績は住宅用太陽光に18件、電気自動車に9件、蓄電池に7件の補助金を交付しました。また、大規模太陽光発電施設の設置について、地域の住環境に配慮した創エネの導入になるように、事業者に指導、助言を行いました。								
課題と今後の取組	創エネ施策である住宅太陽光への補助は一定の成果が得られたので、平成29年度をもって終了しました。平成30年度よりは、引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施し、蓄エネ・節エネをより一層推進する施策へシフトします。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	107%	86%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西市住宅用蓄電池設置補助金 ・加西市電気自動車・PHEV等導入補助金			・同左				
	経費(千円)	2,000			2,000				
備考									
・平成29年度に住宅用太陽光とともに、新たに蓄電池の設置補助金を創設しました。しかし住宅太陽光への補助は一定の成果が得られたので、平成29年度をもって終了します。平成30年度よりは、引続き住宅用蓄電池設置補助金と電気自動車・PHEV等導入補助金を実施します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 上下水道の施設や設備について費用の平準化を図り、計画的に整備を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・配水管の耐震化 L=3,000m			・配水管の耐震化 L=1,400m				
	経費(千円)	160,000			213,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水道管路耐震化率(%)		目標		82	82.6	83.2	83.8	84.4	85
		実績	78	82	82.4	82.6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 上水道施設アセットマネジメントによる		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	99%			
			最終年度	96%	97%	97%			
H29取組状況	配水管布設 4地区 L=1.92Km (網引町・鴨谷町・中野町)								
課題と今後の取組	・市域の配水計画の見直しによる新配水地整備及びその関連工事に係る建設事業に要する経費により、非耐震管の耐震管への更新スケジュールが当初計画からは遅延するため、H28年度に計画の見直しを行いました。H32年度に新配水地整備事業が完了すれば非耐震管更計画を見直す必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	99%	97%	B: 目標を達成		③見直し		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・配水管の耐震化 L=800m			・配水管の耐震化 L=250m				
	経費(千円)	131,000			50,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 下水道の接続促進や合併浄化槽の普及を促進し、水洗化率を高めます。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付				・同左			
	経費(千円)	7,600				17,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
水洗化率(%)		目標		87.5	88.4	89.3	90.2	91.1	92
		実績	76.1	87.9	89.2	90.5			
(指標及びH32目標値の設定理由) 過去5年間の水洗化率の伸び率を勘案して設定		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	101%			
			最終年度	96%	97%	98%			
H29取組状況	水洗化補助金の交付制度について制度を拡充し、合併浄化槽世帯も補助の対象としました。併せて、制度拡充のお知らせを合併浄化槽設置家庭と、設備工事指定工事店へ配布し、制度拡充の周知に努めました。								
課題と今後の取組	戸別訪問の実施と、水洗化促進補助金制度の周知を継続します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	101%	98%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・職員による戸別訪問の実施 ・水洗化促進補助金の交付			・同左				
	経費(千円)	17,000			17,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 効率的な生活排水処理計画を策定し、計画的な施設の統廃合や改修を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・公共下水道接続工事				・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事			
	経費(千円)	54,113				70,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
統合施設数 (x / 3)		目標		0	1	1	1	2	3
		実績	—	0	1	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生活排水処理計画による		目標数値の 達成度	単年度	0%	100%	100%			
			最終年度	0%	33%	33%			
H29取組状況	コミプラ(加西北部地区)、農集(芥田地区)統合事業工事を完了しました。								
課題と今後の取組	生活排水処理計画に基づき公共下水道と生活排水処理施設の接続及び生活排水処理施設の統廃合事業を実施します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	33%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・公共下水道接続実施設計業務 ・公共下水道接続工事			・同左				
	経費(千円)	205,000			260,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 企業努力による上下水道事業の効率化、安定化、適正化を進め、持続可能な経営を行います。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	上下水道管理課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
給水原価(円/m ³) 【減少指標】		目標		208.9	208.4	207.9	207.4	206.9	206.5
		実績	—	208.9	204.8	198.4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 有収水量あたりの給水にかかる費用の割合、 H28年から大規模事業が始まるためH32目標 値はH27の約1%減とする。		目標数値の 達成度	単年度	100%	102%	105%			
			最終年度	99%	101%	104%			
H29取組状況	工場用等にかかる有収水量の伸びに加えて、配水管や配水池にかかる修繕費や委託料等、維持管理費用の削減を行いました。								
課題と今後の取組	責任水量は年度ごとに受水状況を見ながら協議することになっていることから、引き続き受水費の削減につながるよう交渉を継続します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	104%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・兵庫県企業庁への値下げ要望 ・市川町からの受水単価引き下げ交渉			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	25 水環境のまちづくり								
到達目標	安全安心で安定した水道水の供給と美しい水のある良好な環境で、人が元気に暮らせるまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 公道の透水性舗装を推進します。								
主管部課	部名	都市整備部			課名	土木課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線				・同左			
	経費(千円)	11,600				32,902			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
透水性舗装の実施(m)		目標		229	1,000	1,700	2,500	3,200	4,000
		実績	—	229	823	823			
(指標及びH32目標値の設定理由) 事業実施計画に基づき、透水性舗装の計画 整備延長を目標値に設定		目標数値の 達成度	単年度	100%	82%	48%			
			最終年度	6%	21%	21%			
H29取組状況	歩道施微に伴い、透水性舗装整備に取り組みました。								
課題と 今後の取組	計画的に透水性舗装整備に取り組んでまいります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	48%	21%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・西谷坂元線、鶉野飛行場線、豊倉日吉線			・同左				
	経費(千円)	600			1,500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 レジ袋の有料化や無料配布の中止、グリーンコンシューマーを推奨する事業者の割合を増やします。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発			・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発				
	経費(千円)	450			432				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
レジ袋削減協力事業者数 (量販店のみ)		目標		9	9	9	9	9	10
		実績	9	9	9	9			
(指標及びH32目標値の設定理由) 新規量販店協力依頼は経営に影響を及ぼすため10を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	90%	90%	90%			
H29取組状況	播磨風土記をデザインしたマイバッグ(エコバック)を作成配布し、消費者側からのレジ袋削減への取組を実施しました。 平成29年度はマイバッグを450枚を補充作成しました。また、配布実績は出生が254枚、転入が70枚でした。								
課題と今後の取組	新規出店の量販店への協力依頼とマイバッグ(エコバック)を利用してもらう啓発を併せて実施する。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	90%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・新規量販店への協力依頼 ・マイバッグ(エコバック)作成 ・チラシ等による啓発			・同左				
	経費(千円)	432			432				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 ごみの分別(現23分類)、リサイクルを推進し、ゴミ処理の効率化、適正化を進めます。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・リサイクルプラザ運営業務 			<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充 				
	経費(千円)	8,710			10,500				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①住民1人1日あたりのゴミ 排出量(g) 【減少指標】	目標			783	780	776	773	769	766
	実績		794	793	776	760			
(指標及びH32目標値の設定理由) 当初値より、ごみ排出量500tの減量を設定		目標数値の達成度	単年度	99%	101%	102%			
			最終年度	96%	99%	101%			
②ゴミのリサイクル率(%)	目標			21	21	21	21	21	22
	実績		20	20	20	22			
(指標及びH32目標値の設定理由) ごみ搬出量を減量し、搬入リサイクル量を増加		目標数値の達成度	単年度	95%	95%	105%			
			最終年度	91%	91%	100%			
H29取組状況	ペットボトル、トレイの回収事業に加え、剪定枝リサイクル事業、古繊維リサイクル事業、小型家電の委託収集を実施している。 特に剪定枝のリサイクル事業については想定を上回る廃棄物を処理しており、加西市が再資源化した培養土等を販売している。								
課題と今後の取組	3Rの啓発(リデュース「廃棄物の発生の抑制」・リユース「再使用」・リサイクル「再資源化」)に努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	S: 予定より早く進行	102%	101%	A: 目標を上回って達成	②継続			
②	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	100%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝リサイクル事業継続 ・古繊維リサイクル事業継続 ・小型家電収集委託業務継続 ・新規リサイクル事業の拡充 			・同左				
	経費(千円)	12,000			12,000				
備考									
$\text{住民1人あたり1日のごみ排出量(g)} = \frac{\text{処分ごみ} + \text{リサイクルごみ}}{\text{9月末の人口}} = \frac{(10,994\text{t} + 1,409\text{t})}{44,705\text{人}} \div 365\text{日} \times 1,000,000 = 760.1\text{g}$									
$\text{リサイクル率} = \frac{\text{再生業者直接搬入量} + \text{中間処理で資源化量} + \text{集団回収量} + \text{ごみの総処理量} - \text{資源回収量}}{\text{ごみの総処理量}} = \frac{(362\text{t} + 912\text{t} + 1,409)}{(10,994 + 1,409)} = 21.63\%$									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やリサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 剪定枝や廃食用油等のバイオマス資源を回収し、薬用ハンドソープやリサイクル堆肥等の原料として有効活用を推進します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続 				・同左			
	経費(千円)	825				848			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
廃食用油の回収量(千L)		目標		13.0	13.3	13.6	13.9	14.2	14.5
		実績	—	12.6	10.8	10.6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 一般家庭で手軽に実行できて、水環境の改善につながるので指標として設定し、1割増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	97%	81%	78%			
			最終年度	87%	74%	73%			
H29取組状況		家庭用の廃食用油を回収し、リサイクル会社へ販売する事業を実施しました。H29年度の回収実績は10,550L、廃食用油売捌収入は27,918円でした。「与作プロジェクト」の一環としては、間伐材玉切運搬業務(16t)の委託を行い、搬入先の善防園の就労支援と薪割会を実施し、薪等の利用促進を図りました。「かぐや姫プロジェクト」では、放置竹林の整備の実施に伴い、樹木粉碎機の貸出しを行いました(10団体)。							
課題と今後の取組		H25年度をもって市外回収、BDF生産を終了した結果、回収量が減少しました。しかし、一方で市内の一般家庭からの廃食用油の回収は市民に浸透しており、リサイクル意識の啓発にも繋がっているため、継続して実施していきます。今後、広報、回収方法の再検討が必要であると思われます。							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	78%	73%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・放置竹林を間伐しチップ・炭等への活用 ・広葉樹等を間伐し、薪等へ利用促進 ・一般家庭からの廃食用油回収の継続 			・同左				
	経費(千円)	848			848				
備考									
H29年度より薪等の利用促進に係る事業として間伐材玉切・運搬委託に取組んだため、増額となっています。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	26 ゴミ減量と資源リサイクルの推進								
到達目標	資源再利用の手段が住民に情報提供され、ゴミ発生の抑制やりサイクルが当たり前になっているまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 美バスへの補助金を継続します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続				・同左			
	経費(千円)	2,500				1,500			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
資源物集団回収登録団体による年間回収量(t)		目標		1,506	1,510	1,515	1,520	1,525	1,530
		実績	—	1,506	1,451	1,409			
(指標及びH32目標値の設定理由) 資源物集団回収物の減少傾向に歯止めをかけ、資源物回収の増量(毎年5t増)を目指す。		目標数値の達成度	単年度	100%	96%	93%			
			最終年度	98%	95%	92%			
H29取組状況	資源物(新聞、雑紙、古繊維、空き缶、ペットボトル、古鉄等)に対して、「1kgたり1円」及び「売り払い金額が5円未満の場合は、5円との差額」を回収量に応じて交付し事業の促進を図りました。								
課題と今後の取組	市内全域に新聞雑紙ダンボールの無料回収BOXが多数設置され、美バス事業での回収量が年々減少傾向にあり、リサイクル率が下がる要因になっています。引き続き本事業の啓発に努め、地域におけるゴミ減量とリサイクルの推進を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	93%	92%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・改正後単価での奨励金の交付を継続			・同左				
	経費(千円)	1,725			1,725				
備考									
資源ゴミ集団回収量は年々減少傾向にあり、平成30年度についても回収量の減が見込まれ、引取り単価も安定している状況であるため、実績に照らして補助金予算を減額しました。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 親子で参加できる環境学習を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・こども環境講座の実施				・こども環境講座の実施			
	経費(千円)	6				50			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館におけるこども環境学習の受講者数		目標		100	130	160	190	220	250
		実績	51	25	93	88			
(指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館のこども対象の環境学習講座延受講者数。当初の5倍と設定。		目標数値の達成度	単年度	25%	72%	55%			
			最終年度	10%	37%	35%			
H29取組状況	公民館等で子供向け環境学習講座を実施しました。								
課題と今後の取組	公民館講座だけでは講座数の確保が困難なことから、引き続き公民館以外の施設や地域と連携した環境講座を開催していきます。また、親子での参加となると開催日が休日に限定されており、開催日に苦慮しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	55%	35%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・こども環境講座の実施			・同左				
	経費(千円)	50			50				
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 環境学習リーダーを養成し、その活動を推進します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	生涯学習課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・環境講座の開催 ・リーダー養成講座の開催				・環境講座の開催			
	経費(千円)	108				60			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公民館における環境学習リーダー養成講座の受講者数		目標		200	210	220	230	240	250
		実績	123	115	317	517			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公民館の環境学習の延受講者数。当初の倍増と設定。		目標数値の達成度	単年度	58%	151%	235%			
			最終年度	46%	127%	207%			
H29取組状況	高齢者学級で環境学習を開催し、338人が身近な環境問題を学習しました。地域と連携し、貴重な自然環境を守る環境保全ボランティア養成講座「あびき湿原レンジャー養成講座」を開催。29人が6回にわたり、環境講座や視察、保全活動実習を学習しました。								
課題と今後の取組	今後も継続して、毎年異なるテーマで環境講座を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	235%	207%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・環境講座の開催			・同左				
	経費(千円)	60			60				
備考									
リーダー養成講座として開催した「あびき湿原レンジャー養成講座」は、地域住民や受講生があびき湿原の地域環境保護団体の自主活動を始めたため、平成29年度で終了し、今後は市民の団体活動への参画を推進します。また関係機関と連携し、環境講座を開催していきます。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 様々な組織や団体により取り組まれた環境学習のノウハウを他の学校や団体が活用できるよう支援します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)				・同左			
	経費(千円)	1,852				1,942			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
環境学習実施学校数		目標		15	15	15	15	15	15
		実績	—	15	15	15			
(指標及びH32目標値の設定理由) 環境学習を実施している学校数を示しており、全小・中学校の学校数で設定。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	100%	100%	100%			
H29取組状況	市内小中学校全15校で環境体験学習を実施しました。校区の特性を生かした里山保全活動、希少生物調査活動、稲作等農業体験などを通して、身近にある自然やそれを取り巻く環境について、充実した学習を展開することができました。特に、小学校全校で「あびき湿原」を中心として、加西市の自然について環境学習に取り組み、ふるさとの環境について考えることができました。また、地域人材を活用し、人・地域とつながる研究を進めるなど、新たな試みを行う学校の取組もありました。								
課題と今後の取組	兵庫県教育委員会が推進する「兵庫県体験学習」の一環として、小学校3年生での環境体験学習を中心に、事業が継続されています。今後は、これまでの実績に加え、小中9年間を見通した環境学習の実施、各校区の特色を踏まえたカリキュラムの整備、人材バンク等、実績の蓄積と改善が必要な時期となってきています。そして、各校区での体験をとまなう新たな学習教材の開発、地域人材の発掘に努め、さらに意味ある環境体験学習を目指しています。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・環境体験学習(小学3年生) ・環境学習(小・中学校)			・同左				
	経費(千円)	1,942			1,942				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 環境に配慮したまちづくりに資するテーマで、住民や小学生を対象に、定期的な学習会を開催します。								
主管部課	部名	生活環境部			課名	環境課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言				・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ISO14001、エコアクション21取得企業団体数		目標		53	53	53	53	53	53
		実績	32	52	46	44			
(指標及びH32目標値の設定理由) ・普及啓発の効果として環境経営に努める事業者の数としました。目標値は取得できる事業者が限られていることから、現状維持の数値としました。		目標数値の達成度	単年度	98%	87%	83%			
			最終年度	98%	87%	83%			
H29取組状況	エコアクション21地域事務局ひょうごEMSセンターと連携して実施してきたエコアクション21自治体イニシャティブプログラムが、平成28年度に広域実施の方針となったことから、加西市で実施されなくなかったことも、減少傾向の一因かと思われます。								
課題と今後の取組	環境経営システムは、認証取得に数十万から百数十万円の費用がかかることから、取り組める事業者が限られています。また、一度認証を受けても、次回更新しない事業者が増えています。このため、実績として認証事業の総数が横ばい・減少傾向になってきています。エコアクション21地域事務局と協議・調整のうえ、市HP、広報紙などを活用した新たな普及啓発の方法を検討する必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	83%	83%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・事業者が環境経営システムの認証を受けるための助言 ・環境普及啓発			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	8 循環型社会をめざす生活環境づくり								
施策	27 環境学習の推進								
到達目標	誰もが普段の生活の中で当たり前のように環境問題を意識し、行政と住民、企業等が連携して環境を保全するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 教員を対象とした環境学習に関する研修を実施します。								
主管部課	部名	教育委員会			課名	学校教育課、総合教育センター			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実				・同左			
	経費(千円)	15				15			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
教員を対象とした環境学習に関する研修の年間開催数		目標		2	2	3	4	4	5
		実績	—	2	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 教員を対象とした環境学習に関する研修講座の回数を示し、当初値の倍増を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%			
			最終年度	40%	40%	40%			
H29取組状況	・「余剰食品のリサイクル施設」の見学を実施し、食の循環型社会についての理解を深め、教科化について考える機会としました。 ・「あびき湿原」を見学し、守り伝えるべきふるさとの自然に触れ、教科化について考える機会としました。								
課題と今後の取組	各学校の環境教育担当者以外にも広く受講を促すとともに、地域と連携した研修内容を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	67%	40%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・教職員研修講座における環境教育講座の充実			・同左				
	経費(千円)	15			15				
備考									

平成29年度評価

政策・施策								
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西							
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり							
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。							
基本計画・主管部課								
基本計画	1 自立的な地域づくりのために、地域おこし協力隊等の採用を進めます。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課		
評価検証								
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))		
	取組内容	・地域おこし協力隊を採用し、地域活性化に取り組ませる				・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用		
	経費(千円)	10,043				11,628		
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値					
			当初	H27	H28	H29	H30	H31
①地域づくりコーディネーター数	目標		2	2	4	4	4	4
	実績	—	0	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 地域おこし協力隊の活動の内、コーディネーターとして配置する人員数。		目標数値の達成度	単年度	0%	100%	50%		
			最終年度	0%	50%	50%		
②★地域おこし協力隊員数【6-91】	目標		2	4	6	6	6	6
	実績	—	2	4	4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 最大6名体制を2年取り組んだ後、事業の収束をはかる。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	67%		
			最終年度	33%	67%	67%		
H29取組状況	H27年度・28年度に委嘱した4名の隊員とともに、積極的に地域おこし活動に取り組んでいただきました。また、H27年度に委嘱した2名の隊員は、H29年度で3年間の任期を終え、内1名の隊員については、そのまま地域に残り合同会社を設立。現在は、北条のまちなか活性化に寄与いただいているほか、もう1名はライターとして県内で活動中。							
課題と今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ■課題:①隊員のミッションの明確化、②隊員とのコミュニケーション強化 ■今後の課題:地域からの課題を吸い上げ、地域課題に沿った隊員の活動・採用 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)				
①	②実行中	B: 予定より遅延	50%	50%	C: 目標を下回っている	②継続		
②	②実行中	B: 予定より遅延	67%	67%				
実施計画								
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)			
	取組内容	・地域活性化に取り組む地域おこし協力隊の採用			・同左			
	経費(千円)	11,628			11,628			
備考								

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 社会活動の促進を図るため、各種法人や個人起業家の育成を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・若者ターミナルスポット運営事業 ・起業支援				・同左			
	経費(千円)	1,650				1,809			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①NPO法人数		目標		21	20	25	25	25	35
		実績	11	19	20	20			
(指標及びH32目標値の設定理由) NPO法人立ち上げ支援等により着実に増えており、今後は、ふるさと創造会議の受け皿としても期待できるため当初の3倍を想定。		目標数値の達成度	単年度	90%	100%	80%			
			最終年度	54%	57%	57%			
②★加西サポーター登録者数【6-90】		目標		24	100	150	200	300	300
		実績	—	24	50	81			
(指標及びH32目標値の設定理由) 総務省とともに行ったマチホメコミュニティによる都市部のファンづくりが好評で毎年50名のコミュニティが期待できるため。		目標数値の達成度	単年度	100%	50%	54%			
			最終年度	8%	17%	27%			
H29取組状況	若者ターミナルスポット「ココカラ」をカフェやレストランを起業したい人のためのビジネススクールとし、5名を対象にココカラカレッジを開校した。起業に向けてのセミナーに加え、2か月の実習を行いました。さらに起業に向けて商工会議所と連携しました。								
課題と今後の取組	若者ターミナルスポットにおいて、引き続きカフェ等の起業に向けたビジネススクールを開校するとともに、空いている時間帯を起業希望者に対する支援に活用できるよう検討します。NPO法人に加え、2008年の中間法人の制度改革が進み、一般社団・一般財団法人の台頭が目立つようになってきたため、指標を中間法人数に変更する事を検討します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
①	②実行中	B: 予定より遅延	80%	57%	C: 目標を下回っている	②継続			
②	②実行中	B: 予定より遅延	54%	27%					
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)				H32 (予定額)			
	取組内容	・若者ターミナルスポット事業 ・起業支援				・同左			
	経費(千円)	1,809				1,809			
備考									
若者ターミナルスポットをカフェなどの起業に向けたスクールにし、起業支援を行う。また、空いた時間や空いたスペースの効果的な利用を検討する。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 ボランティア活動希望者と支援を受けたい人との調整を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・ボランティアサポート				・登録団体による市民対象の活動を行う			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ボランティア活動希望登録者数		目標		—	20	100	200	200	200
		実績	—	—	—	263			
(指標及びH32目標値の設定理由) ボランティア活動の充実を図るため登録者数の増加を目指す。		目標数値の達成度	単年度	—	—	263%			
			最終年度	—	—	132%			
H29取組状況	地域交流センターにて市民や地域の問い合わせに関して登録団体等のマッチングをしています。								
課題と今後の取組	今後は地域交流センターの登録団体を増やし、団体間同士でコラボしたイベント等を開催することによって、市民の方に活動の場を提供して、増やしていく取り組みを行っていくことを目標とします。また、登録団体による出前講座が市民に周知できるよう、呼びかけをしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	263%	132%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・登録団体による市民対象の活動を行う			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
当初、ボランティア活動の人材バンクを設置する予定で、その登録者数をカウントする予定であったが、H29より指標の数値を地域交流センターに登録するボランティア団体の会員数を反映する。 登録団体による市民対象のワークショップやセミナーをボランティア活動とする。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 ふるさと創造会議の立ち上げとともに小規模多機能自治への発展を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・立ち上がっている創造会議には、引き続き地域担当職員と共に支援し、立ち上がっていない地域については、担当課が積極的に関わる				・創造会議の運営及び立上支援			
	経費(千円)	10,800				17,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
ふるさと創造会議設置数【4-73】		目標		7	9	11	11	11	11
		実績	—	8	9	11			
(指標及びH32目標値の設定理由) 小学校区の数。ただし、北条は2校区を一本化。		目標数値の達成度	単年度	114%	100%	100%			
			最終年度	73%	82%	100%			
H29取組状況	H29年度に全小学校区にふるさと創造会議を設立済(北条地区は、2校区で1会議/計10地区) また、創造会議立ち上げからH29年度で5年が経過したことから、これまで一律120万円の交付金を人口や面積規模に応じた新交付金制度を創設し、さらなる創造会議の促進に向けて支援していきます。								
課題と今後の取組	各地区の設立時期や課題等も違うことから、地区ごとによって進捗状況が異なります。 よって、全地域での標準化を図るとともに、自立して継続していける体制づくりをサポートしていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	③完了	A: 予定通り進行	100%	100%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・創造会議の運営及び立上支援			・同左				
	経費(千円)	17,000			17,000				
備考									
創造会議に取組み始めた団体が、5年目を迎え、新しい交付金制度を作成します。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 住民から寄せられる提案、要望、意見に対する回答について、ウェブ情報等を活用して住民との情報共有を図ります。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	秘書課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
HP掲載件数		目標		2	2	2	2	2	2
		実績	—	2	2	1			
(指標及びH32目標値の設定理由) タウンミーティングが2回程度/年開催されるため		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	50%			
			最終年度	100%	100%	50%			
H29取組状況	平成29年6月27日から7月27日にかけて、市内11小学校区を巡回し、経営悪化した加西病院をテーマに「かさい地域づくりミーティング2017夏『市民が求める病院、地域に必要な医療とは ～岐路に立つ地域の医療 安全安心な医療をめざして～』」を開催しました。平成29年度は市制50周年記念式典や記念事業があり、1回のみで開催となりましたが、代わりに住民企画型タウンミーティングを下里地区と富合地区の2ヶ所で実施しました。								
課題と今後の取組	地域の課題を地域住民自らで話し合う機会を作る住民企画型タウンミーティングの申請が少ないことが課題と考えます。区長会での広報活動や広報紙での呼びかけを実施予定です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	50%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・タウンミーティングでの意見・回答のホームページへの掲載			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	28 情報公開と住民自治のまちづくり								
到達目標	地域を構成する多様な住民が、自らのまちの良さを認識し結集することで、それぞれが得意分野を活かして活動するまちをめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 ★集落支援員の配置を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・ふるさと創造会議運営交付金の中に、集落支援員(創造会議内での事務局職員等)の経費を計上する。			・ふるさと創造会議運営交付金による集落支援員(創造会議内での事務局職員等)の経費支援				
	経費(千円)	0			0				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★集落支援員数【4-72】		目標		0	9	11	11	11	11
		実績	—	0	0	0			
(指標及びH32目標値の設定理由) 各小学校区に1名を配置する計画		目標数値の達成度	単年度	—	0%	0%			
			最終年度	—	0%	0%			
H29取組状況	集落支援員としての進展はありませんが、市内全地区でふるさと創造会議が設立され、地区ごとに事務局長を配置。事務局長が、創造会議内において、支援員に似た活動を実施いただいています。								
課題と今後の取組	支援員の配置と同時並行して、地域で活躍できる人材の育成に取り組みます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	①未着手	B: 予定より遅延	0%	0%	C: 目標を下回っている		③見直し		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・ふるさと創造会議運営交付金による集落支援員(創造会議内での事務局職員等)の経費支援			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									
各地区のふるさと創造会議において、受入等の体制が整っていない為、平成30年度の導入は見合わせます。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 男女共同参画社会に関する学習機会を拡充します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・女性・若者起業調査助成金制度				・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度			
	経費(千円)	150				310			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
男女の労働力率の格差是正 女性の労働力率(%)		目標		50	50	50	50	50	60
		実績	—	24	24	24			
(指標及びH32目標値の設定理由) 加西市は第二次産業が多く、女性が働く場はある。子育てが終わった女性の就業を想定した。		目標数値の達成度	単年度	48%	48%	48%			
			最終年度	40%	40%	40%			
H29取組状況	市民全体の男女共同参画の意識向上のために、有名な講師を呼んで講演会を開催しました。そして、女性の労働人口を増やすため、子育て世代の再就職を進めるため、ハローワークと共催でセミナーを開催しました。また、女性、男性、父子それぞれを対象にしたセミナーを開催しました。女性の起業調査助成金の利用は1名あり、その後起業しています。								
課題と今後の取組	男女共同参画の意識向上、女性活躍の周知、などのため、テーマを変えてセミナーを開催します。また、図書コーナーを整備するなど、意識づけに努めます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	48%	40%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・男女共同参画セミナーの開催 ・女性・若者起業調査助成金制度			・同左				
	経費(千円)	310			310				
備考									
助成金の補助だけでなく、男女共同参画社会の実現に向け、女性の就労支援に関するセミナーや男女の働き方を見直すためのセミナーを開催することにより、女性の社会進出を促すことに取り組みます。									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 女性の声を地域の組織や団体に反映させる制度を構築します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・女性チャレンジ事業				・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業			
	経費(千円)	0				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の女性管理職登用率(%)		目標		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
		実績	7	3.4	3.9	7.4			
(指標及びH32目標値の設定理由) 政府目標数値30%に対して、加西市は第二次産業が多く、自治会でも男性中心で慣例があるため、政府目標の半分の数値を目標とした。		目標数値の達成度	単年度	34%	39%	74%			
			最終年度	23%	26%	49%			
H29取組状況	女性のコミュニティ助成事業を利用し、女性による地域活性化を期待し、助成案内を配布したけれど、応募はありませんでした。								
課題と今後の取組	男女共同参画意識の向上に、まず市役所の職員の意識改革が必要なため、女性職員に対して研修の機会を設けます。また、同時に男性職員の意識改革についても検討していきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	74%	49%	C: 目標を下回っている		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・市職員向けの研修開催 ・女性チャレンジ事業			・同左				
	経費(千円)	200			200				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 在住外国人のための学習支援や生活情報の多言語化を推進するとともに、教育分野との連携を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成				・同左			
	経費(千円)	200				200			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における日本語講座の実施教室数		目標		2	3	4	4	5	5
		実績	—	2	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 今後市内に外国人の増加が見込まれるため、受け入れ教室を増やす必要がある。		目標数値の達成度	単年度	100%	67%	50%			
			最終年度	40%	40%	40%			
H29取組状況	外国人親子のための学習サポート教室と支援者人材育成のため研修会を実施しました。								
課題と今後の取組	教育機関との連携を強め、外国人親子への学習サポートや支援者の増員と研修を充実させます。外国人親子を対象とした日本語支援教室を開催します。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	B: 予定より遅延	50%	40%	C: 目標を下回っている	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・外国人児童の学習サポート ・支援者育成			・同左				
	経費(千円)	200			200				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 国際交流協会のNPO化により活動範囲を広め、市民レベルの交流を進めます。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	ふるさと創造課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 プルマン市からの中学生等の受入 スワン市への高校生等の派遣 			<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 プルマン市への中学生等の派遣 スワン市への高校生等の派遣 				
	経費(千円)	5,800			6,000				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市内における各種外国文化関係団体の会員数		目標		30	33	35	40	45	50
		実績	—	13	30	91			
(指標及びH32目標値の設定理由) NPO法人に委託すると同時に会員が激減し、再度PRをし、会員増を目指す。		目標数値の達成度	単年度	43%	91%	260%			
			最終年度	26%	60%	182%			
H29取組状況	会員の獲得に取り組み、予想を超える会員数となりました。 新たな活動として、国際理解講座「世界のとびら」を開催しました。 外国人のための無料生活相談会、通訳、翻訳など、外国人が暮らしやすいサービスをきめ細かく提供しました。								
課題と今後の取組	さらなる会員増と、会員を巻き込んだ国際交流事業を行います。 国際理解の促進。外国人サービスの充実を図っていきます。 今年度はプルマン市からの受け入れの年なので、ホストファミリー向けに国際理解に力を入れます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	260%	182%	S: 目標を大きく上回って達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 プルマン市からの中学生等の受入 スワン市への高校生等の派遣 スワン市からの高校生等の受入 			<ul style="list-style-type: none"> 国際理解と情報発信 プルマン市への中学生等の派遣 スワン市への高校生等の派遣 				
	経費(千円)	6,000			6,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	9 住民参画・男女参画で地域を元気にする加西								
施策	29 自己実現と共生のまちづくり								
到達目標	家庭、学校、地域、職場において、住民一人ひとりが持つ個性と能力を十分に発揮できるこころ豊かな社会をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 家庭や学校、地域、職場等、あらゆる場と機会を通じて、人権尊重の理念を踏まえ、様々な人権課題に対する教育、啓発を進め、お互いを認め合い、差別を許さないまちづくりを推進します。								
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人権推進課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 			<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催 				
	経費(千円)	9,271			9,500				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
人権学習会参加者数		目標		2,400	2,600	2,700	2,800	2,900	3,000
		実績	2,700	2,592	3,787	3,841			
(指標及びH32目標値の設定理由) 住民一人ひとりがお互いの人権を尊重するまちづくりのため、様々な人権課題を学習する機会を広げていきます。		目標数値の達成度	単年度	108%	146%	142%			
			最終年度	86%	126%	128%			
H29取組状況		<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどいを開催し、人権ポスター・標語の表彰や講演会を実施しました。(参加者560人) ・地区人権学習会(6地区)、まちかどフォーラム(48町)を開催し、合計1,086人が参加しました。 ・自主参加型の学習機会として、公民館コラボ事業や加西市人権教育協議会と連携した太鼓作り教室や人権フィールドワーク、人権問題を扱った映画上映会などを開催し、671人の参加がありました。 ・自治会、事業所、団体等が自主開催する研修会に講師派遣、資機材の貸出等の実施援助をおこない、1,019人の参加がありました。 ・その他、公民館活動グループや市職員等を対象に人権研修会を実施し、505人の参加がありました。 							
課題と今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・地区人権学習会、まちかどフォーラム(町別学習会)の内容、進行について、参加者から「マンネリ化している」「意見発表を求められるので参加したくない」などの意見がだされたり、町の役員の責任出席化している状況などから、内容、進行方法等について音楽を取り入れるなど、楽しみながら学習できる手法を取り入れる等の工夫をしています。 ・自主参加型の学習機会を多く実施し、また、事業所、団体等による自主的な研修会実施に対する講師派遣、資機材貸出などの支援策を充実し、市民自らが人権について関心をもち、考えていただけるよう努めていきます。 							
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	142%	128%	A: 目標を上回って達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権文化をすすめる市民のつどい ・地区人権学習会、まちかどフォーラム ・公民館コラボ講座 ・加西市人権教育協議会や公民館と連携した講演会、映画上映やフィールドワーク等 ・企業、団体等での人権学習会 ・自主参加型学習会の開催 			・同左				
	経費(千円)	9,500			9,500				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	1 定員適正化計画に基づき、必要な部門に職員を重点配置します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用				・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市役所の正規職員総数 (消防、医療職員除く) 【減少指標】		目標		332	332	330	330	328	326
		実績	350	332	332	329			
(指標及びH32目標値の設定理由) 組織の見直しや必要な部門に職員を重点配置しつつ、職員数の純減(△6名)に取り組む。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	98%	98%	99%			
H29取組状況	新規採用を抑制し、再任用制度により新規5名を含む計16名の任用を行うこと等により、正規職員数を1名減としました。								
課題と今後の取組	地方分権一括法による地方への権限移譲や、新たな行政ニーズへの対応などから、行政職を中心に業務量は年々増大しており、ワークライフバランスに配慮した人員体制の確保が必要です。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	99%	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・早期退職勧奨の実施 ・再任用制度の活用			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	2 職員の能力や士気を向上させる職員研修を拡充します。								
主管部課	部名	総務部			課名	総務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
職員研修成果発表回数		目標		2	2	2	2	3	3
		実績	2	2	2	2			
(指標及びH32目標値の設定理由) 人事評価による成果発表会の実施対象の拡大を図る。		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	67%	67%	67%			
H29取組状況	人事評価の結果に基づく管理職員による成果発表会を実施しました。 また、加西市行政及び議会活動報告会においても、市民に向けて管理職員の成果発表を行いました。								
課題と今後の取組	管理職員を対象に実施している成果発表会の、監督職(課長補佐・係長級)への拡大を図ります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	67%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・職員研修成果発表会の開催 ・内部研修の充実			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10	健全な行財政運営の確立							
施策	30	行政サービスの向上と効率経営							
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	3 8	民間活力の導入と広域化を推進し、行政サービスの質的向上に努めます。 ★定住自立圏において圏域内の暮らしを整備するとともに、連携中枢都市に基づいて広域的な視点から地域の活力向上に努める等、事務処理の共同化を進めることにより関係団体と連携・協力して効率化を図ります。							
主管部課	部名	ふるさと創造部			課名	人口増政策課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
★定住自立圏構想の連携事業年間件数【6-95】		目標		28	28	28	29	30	30
		実績	—	28	28	28			
(指標及びH32目標値の設定理由) 広域的に連携協力し効率的な行政サービスを推進するため連携事業数の増加を設定		目標数値の達成度	単年度	100%	100%	100%			
			最終年度	93%	93%	93%			
H29取組状況	第5次総合計画及び地域創生戦略の評価検証を行うため、地域の産学官金労言老若女の有識者による加西市元気なまちづくり市民会議を設置し、計4回の会議を開催しました。 定住自立圏においては、7月に北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催し、外部委員による評価検証を行いました。								
課題と今後の取組	加西市元気なまちづくり市民会議においては、H29年度の会議にて指摘があった事項(評価方法等)について充実させ、実りある市民会議の運営に取り組めます。 定住自立圏においては、次期計画の策定(平成31年度末)に向けて連携事業の評価・見直し等を進めていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	100%	93%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催(共生ビジョン改定) ・次期総合計画策定に向けたアンケート調査 ・総合計画審議会の設置準備			・加西市元気なまちづくり市民会議の開催 ・行財政改革プランの策定 ・共生ビジョン懇談会の開催 ・次期総合計画の策定作業 ・評価手法の再検討				
	経費(千円)	0			0				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	4 公共施設等総合管理計画を作成し、公共施設のあり方について検討を進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)			H30 (予算額(補正含む))				
	取組内容	・維持管理実施			・維持管理実施				
	経費(千円)	648			648				
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
市の公有財産の把握と管理運営方針の策定		目標		計画策定	計画策定	維持管理			
		実績	—	—	—	—			
(指標及びH32目標値の設定理由)		目標数値の達成度	単年度	—	—	—			
			最終年度	—	—	—			
H29取組状況	乳牛育成センターの廃止・(仮称)泉こども園・北部公民館整備事業用地の取得等の公共財産の増減を把握できるよう固定資産台帳システムによるデータ管理が可能となりました。今後は、導入したデータ管理システムの保守およびデータ更新等を委託し、正確な情報処理と業務の効率化を進めていきます。								
課題と今後の取組	総合管理計画方針に沿った実施計画を策定し、維持管理を行う必要があります。固定資産台帳データ管理及び更新(入力)のマニュアル化を図る必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度		今後の方針		
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	—	—	B: 目標を達成		②継続		
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・維持管理実施			・同左				
	経費(千円)	648			648				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	5 行財政改革プランの見直しを行い、持続可能な財政運営に向けて取り組みを進めます。								
主管部課	部名	総務部			課名	財政課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営				・同左			
	経費(千円)	—				—			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
①基金残高(財政調整+減債)(億円)		目標		26	23	24	24	24	24
		実績	18	26.5	21	21			
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持		目標数値の達成度	単年度	102%	91%	88%			
			最終年度	110%	88%	88%			
②全会計市債残高(億円) 【減少指標】		目標		435	436	443	439	433	423
		実績	457	427	422	420			
(指標及びH32目標値の設定理由) 公債費負担適正化計画に基づき、最終年度においてH26の市債残高を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	102%	103%	105%			
			最終年度	99%	100%	101%			
③実質公債費比率(%) 【減少指標】		目標		10.5	9.5	8	8	8	8
		実績	20.3	10.3	9.3	未確定			
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の実質公債費比率を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	102%	102%				
			最終年度	71%	84%				
④★将来負担比率(%)【6-94】 【減少指標】		目標		70	70	70	70	67	65
		実績	—	61.6	68.6	未確定			
(指標及びH32目標値の設定理由) 行財政改革プランに基づき、最終年度においてH26の将来負担比率を下回る数値設定		目標数値の達成度	単年度	112%	102%				
			最終年度	105%	94%				
H29取組状況	行財政改革プランの見直しに基づき、公債費の抑制、財政調整基金の一定水準の確保に取り組みました。ふるさと納税推進事業の更なる強化をはじめ、引き続き、歳入の確保・歳出の適正化に努めましたが、医師不足に伴い悪化した市立加西病院の経営を支援するため、H29年度も追加で2.5億円の繰り出しを行ったことで、新たな基金積立はできず基金残高は前年と同額のままであり、目標を下回る結果となりました。								
課題と今後の取組	※目標数値の変更時は、理由も含めて記入 今後、人口減少・高齢化が進行するなか、社会保障、子育て支援、教育、社会資本整備など、多様化し増大する住民ニーズに対する的確な対応が求められています。歳出の重点化・効率化に取り組み、最終年度において標準財政規模の2割程度の基金を維持することで、持続可能な財政運営を目指します。								

平成29年度評価

政策・施策						
基本政策	10 健全な行財政運営の確立					
施策	30 行政サービスの向上と効率経営					
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。					
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針
		区分	単年(H29)	最終(H32)		
①	②実行中	B: 予定より遅延	88%	88%	B: 目標を達成	②継続
②	②実行中	S: 予定より早く進行	105%	101%		
③	②実行中	未確定				
④	②実行中	未確定				
実施計画						
実施計画	区分	H31 (予定額)	H32 (予定額)		/	
	取組内容	・長期財政収支見通しに基づく計画的な財政運営	・同左			
	経費(千円)	—	—			
備考						

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	6 自主財源確保のため、市税及び公共料金の収納体制を強化し、収納の向上を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	税務課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納向上対策 市県民税特別徴収の推進 口座振替推進 滞納処分の強化 				・同左			
	経費(千円)	4,046				8,000			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
収納率 上段:現年分 下段:過年分		目標		98.8 18.0	98.8 18.0	98.8 18.1	98.8 18.2	98.8 18.3	98.8 18.4
		実績	—	98.8 17.9	98.8 17.6	98.8 18.6			
(指標及びH32目標値の設定理由) 現年分は高い収納率を保ちつつ、過年分の率0.1%/年を伸ばす。		目標数値の達成度	単年度	100%	98%	103%			
			最終年度	97%	96%	101%			
H29取組状況	催告書の送付、一斉徴収、夜間電話催告、分納誓約者の履行状況の監視等の取組強化、事業所訪問指導等による特徴推進、口座振替推進事業、高額滞納者に対する家宅搜索等積極的な差押などを実施しました。								
課題と今後の取組	兵庫県整理回収チーム受け入れにより重点処理ケースへの取組を実施。差押等取組手法を今後の収納の向上へ繋げていきます。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	A: 予定通り進行	103%	101%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市税等収納向上対策 市県民税特別徴収の推進 口座振替推進 滞納処分の強化 			・同左				
	経費(千円)	8,000			8,000				
備考									

平成29年度評価

政策・施策									
基本政策	10 健全な行財政運営の確立								
施策	30 行政サービスの向上と効率経営								
到達目標	次世代への負担を増やさない納税者の視点に立ち、住民満足度の高い市政運営をめざします。								
基本計画・主管部課									
基本計画	7 国・県の動向を踏まえ、入札制度について随時見直しを実施し、適正かつ効率的な事務の執行を図ります。								
主管部課	部名	総務部			課名	管財課			
評価検証									
実施スケジュール	区分	H29 (決算額)				H30 (予算額(補正含む))			
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導				・同左			
	経費(千円)	0				0			
指標名		区分	目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値						
			当初	H27	H28	H29	H30	H31	H32
一般競争入札の割合(%)		目標		19.2	21.0	22.0	22.0	22.0	22.0
		実績	—	19.2	21.2	29.3			
(指標及びH32目標値の設定理由) 入札制度の改正により一般競争入札割合の3%増を目指す		目標数値の達成度	単年度	100%	101%	133%			
			最終年度	87%	96%	133%			
H29取組状況	建設業者研修会の開催や、工事成績等を重視した入札加点制度の実施により、市内事業者の育成を図りました。また、公契約条例に基づく調査を行い、適正価格での応札と、公共事業従事者の労働環境の両立に努めました。								
課題と今後の取組	最低制限価格の算出係数は、平成29年3月に更新されているため、その適用時期について調整を図る必要があります。								
自己評価	進捗状況	目標数値の達成度			事業の到達度	今後の方針			
		区分	単年(H29)	最終(H32)					
	②実行中	S: 予定より早く進行	133%	133%	B: 目標を達成	②継続			
実施計画									
実施計画	区分	H31 (予定額)			H32 (予定額)				
	取組内容	・事業者への立ち入り調査、指導			・同左				
	経費(千円)	0			0				
備考									